

平成 30 年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業

国立教員養成系大学・学部における 教科教育カリキュラム実態調査分析

～中高教科教育コアカリキュラムの策定に向けて～

東京学芸大学教育内容構成学開発研究機構

目 次

I 調査研究の目的・概要	1
II 調査研究の結果	7
1. 一般的包括的内容を含む科目の事項立て	9
1-1.国語	13
1-2.社会	26
1-3.数学	45
1-4.理科	61
2. 教職課程に係るアンケート調査	77
3. カリキュラム分析	90

I 調査研究の目的・概要

東京学芸大学では、平成29年度より機能強化経費の配分を受けて、教育内容構成学開発研究機構を立ち上げ、教科ごとに教育内容構成学の見地から、教員養成教育の在り方を再考し、研究開発を行いながら、本学の学生教育の改善を図り、さらには、成果発信により、我が国の教員養成教育の充実の一翼を担いたいと考えてきました。この項の最後に、教育内容構成学開発研究機構員の名簿を掲載します。

昨年度は、教員養成大学・学部にあふさわしい授業づくりを目指し、教科内容学あるいは教科内容構成学という先行する営みに学びながら、文部科学省の「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」の一つのテーマであった「教科の内容と指導法が統合した科目」に応募受託し、研究開発を進めました。

今年度は、やはり文部科学省の「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」の実施テーマのひとつ、「教科教育コアカリキュラムの研究」に応募受託し、教員養成の教育内容にかかる調査研究に取り組みました。昨年の授業づくりに関する一定の成果を受けて、本年度は、授業で行う教育内容に関する知見を広げようとししました。行った作業は、収集した履修の手引き等に基づくカリキュラムの実態調査、コアカリキュラムに含まれるべき事項を探るためのシラバス分析、教員組織や教育職員免許法上の問題点の認識等を問うアンケート調査、そして、こうした調査を補うために、実際に大学・学部へ赴く訪問調査などです。

さて、大学の教職課程におけるコアカリキュラムの必要性については、少なくとも、国立の教員養成系大学・学部の在り方に関する懇談会「今後の国立の教員養成系大学学部の在り方について（報告）」（以下、「在り方懇報告」）において、

「教員養成学部についても、日本教育大学協会を中心として速やかに教員養成のモデル的なカリキュラムを作成し、各大学はそれらを参考にしながら、自らの学部における特色ある教員養成カリキュラムを作成していくことが求められる。」

と述べられているところまで遡ることができると思われます。近年では、中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」（2015年12月21日）において、

「大学が教職課程を編成するに当たり参考とする指針（教職課程コアカリキュラム）を関係者が共同で作成することで、教員の養成、研修を通じた教員育成における全国的な水準の確保を行っていくことが必要である。（同答申49頁）」

と述べられています。

そして、直接的には後者の提言を受ける形で、2016年8月に文部科学省に「教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会」が設置され、2017年11月に「教職課程コアカリキュラム」が制定されました。この「教職課程コアカリキュラム」は、中学校教諭の場合を例にとれば、2017年11月に制定された教育職員免許法施行規則において定められている教科及び教職に関する科目の単位の履修方法として提示される表の第二欄「教科及び教科の指導法に関する科目」のうちの「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」に関する科目、第三欄「教育の基礎的理解に関する科目」、第四欄「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、第五欄「教育実践に関する科目」の各科目について定められたものです。この「教職課程コアカリキュラム」は、先行定められていた外国語(英語)に関する教職課程のコアカリキュラムとあわせて、2019年4月の大学入学者から適用される教職課程の再課程認定に際し、教職課程上の当該科目の授業内容の設計のため参照すべきとされたことはよく知られていることだと思います。

本事業は、このように整備が進められている教職課程のコアカリキュラムのうち、教員免許施行規則における第二欄「教科及び教科の指導法に関する科目」のなかの「教科に関する専門的事項」(従来、「教科に関する科目」と呼ばれていた科目群に相当するもので、本事業では、中等教育段階の学校種のための教職課程におけるそれを調査の対象としました)についてのコアカリキュラムの作成に資する調査を行うものです。

中学校や高等学校の教員養成教育において、この「教科」についての教育のあり方は、これまであまり留意されることはなかったのではないのでしょうか。上述した在り方懇報告において、中学校の養成課程における「教科」の授業の在り方について、教員養成を目的とする大学学部のと、他の学部で設けられた教職課程のそれとは内容が異なって然るべきとする指摘はみられましたが、それはあくまでも国立教員養成大学学部への期待や改革の必要性の一部として述べられたものであって、中等教育を担う教員の養成のために必要な「教科」についての学修という視点は不十分であったように思われます。

戦後の教員養成教育の原則の一つに「大学における教員養成」があり、教員養成教育における「教科」についての学修について言えば、その「教科」の土台となる諸科学の内容を学術的観点から学びその方法論を身につけさえすれば、自動的に教員養成に資するという考え方に安住してきたように見受けられます。もちろん諸科学の内容を身に付けることは大切であり、教員養成教育にとって重要なことですが、一方で、それを重視するあまり、教員養成教

育を受けている学生が将来中学校ないし高等学校で教えなければならない教育内容を十分に教職課程では学べないというような事態になっては本末転倒であるようにも思われます。

本事業では、差し当たって教職大学院を有する国立大学の教育学部等に設けられた中学校の教職課程における、「教科」についての「一般的包括的内容を含む科目」を分析の対象としました。学習指導要領で定められている教科内容と、その学術的背景とをバランス良く扱っている大学もあれば、授業担当者の専門的嗜好を重視するあまりに、「一般的包括的内容を含む科目」でありながら、将来教育現場に立った時に身に付けておかなければならない専門的知識や考え方が十分に扱われていない事例も散見されました。本事業での調査結果を踏まえ、教職課程におけるあるべき「教科」についての授業内容の在り方等が、引き続き検討されることを願ってやみません。

東京学芸大学教育内容構成学開発研究機構長 國分 充

副機構長 小嶋 茂稔

教育内容構成学開発研究機構 名簿

(平成31年3月)

氏 名	所 属 等	選出根拠	任期
◎ 國分 充	特別支援科学講座	第4条第1項第1号	職指定
中村 和弘	日本語・日本文学研究講座	第4条第1項第3号	29.05.18～32.03.31
荒井 正剛	人文科学講座	第4条第1項第3号	29.05.18～32.03.31
○ 小嶋 茂稔	人文科学講座	第4条第1項第3号	29.05.18～32.03.31
清野 辰彦	数学講座	第4条第1項第3号	29.05.18～32.03.31
高橋 修	広域自然科学講座	第4条第1項第3号	29.05.18～32.03.31
坂口 謙一	技術・情報科学講座	第4条第1項第3号	29.05.18～32.03.31
西村 德行	美術・書道講座	第4条第1項第3号	29.05.18～32.03.31
佐藤 節夫	学長室長	第4条第1項第4号	職指定
小林 聡	埼玉大学 社会講座	(研究協力員)	—
森田 真吾	千葉大学 国語教育学	(研究協力員)	—
茨木 貴徳	横浜国立大学 数学教育	(研究協力員)	—
阿武木 啓朗	愛知教育大学 理科教育講座	(研究協力員)	—

◎：機構長 ○：副機構長

II 調査研究の結果

1. 一般的包括的内容を含む科目の事項立て
2. 教職課程に係るアンケート調査
3. カリキュラム分析

1. 一般的包括的内容を含む科目の事項立て

1. 調査の対象とねらい

本事業では、「教科教育コアカリキュラム」の調査の一環として、個々の大学の教職課程における「教科に関する科目」（新法では、「教科及び教科の指導法に関する科目」の中の「教科に関する専門的事項」に該当する）の授業内容の詳細についてシラバス分析による調査を行った。なお、この調査で対象とするのは「教科に関する科目」の全てではない。教育職員免許法施行規則で定められている各教科の科目区分（中学校社会科を例にとれば、①日本史・外国史、②地理学（地誌を含む。）、③「法律学、政治学」、④「社会学、経済学」、⑤「哲学、倫理学、宗教学」の5科目群）において、それぞれの区分（以下、「科目区分」という。）ごとに必ず含まなければならない「一般的包括的な内容」を含むとされる科目（以下、「一般的包括的内容を含む科目」という。）となる。この「一般的包括的内容を含む科目」の授業内容等を把握することで、「教科教育コアカリキュラム」を構想していく上で参考になる点が多く見出されるだろうと推測されたからである。

2. 調査の進め方

（1）各大学の「一般的包括的内容を含む科目」の抽出

今回の調査では、中学校国語・社会・数学・理科の認定課程を有し、教職大学院を設置している46の国立大学に対し、調査への協力を依頼し、それぞれの大学での教職課程の内容を把握するために、学生に配布している履修のための手引書（以下、『履修の手引き』等）という。）の提供を依頼し、各大学から送付していただいた。提供された『履修の手引き』等から、個々の大学の認定課程の状況について分析を行い、各教科の科目区分における「一般的包括的内容を含む科目」を抽出することとした。ただし、学生向けのガイダンス資料である『履修の手引き』等には、「一般的包括的内容を含む科目」は明記されていないため、次の方針によって「一般的包括的内容を含む科目」を抽出することとしたものである。

- ・当該教科を副免許として取得する学生のための必修科目であれば、認定課程上の「一般的包括的内容を含む科目」である蓋然性が高い。そこで、『履修の手引き』等の中の副免許取得のために設けられている箇所等において必修とされている科目を、当該大学の当該教科における「一般的包括的内容を含む科目」と見なすこととした。
- ・大学によっては、『履修の手引き』等の中に副免許取得希望学生のための説明箇所を設けていない大学もある。そのような一部の大学については、当該教科を主免許とする学生向けの箇所において必修科目とされる科目を「一般的包括的内容を含む科目」とみなすことと

した。

（２）「一般的包括的内容を含む科目」に含まれるべき内容の設定

はじめに、教員養成を主目的とする単科の国立大学（北海道教育大学札幌校、北海道教育大学旭川校、北海道教育大学釧路校、宮城教育大学、東京学芸大学、上越教育大学、愛知教育大学、京都教育大学、大阪教育大学、奈良教育大学、兵庫教育大学、鳴門教育大学、福岡教育大学、以下「教員養成系単科大学」という。）の「一般的包括的内容を含む科目」を分析の対象とし、抽出された個々の科目の内容を概観し、それぞれの特徴を把握した。つづいて、中学校や高等学校での実際の教育内容に即して、どのような内容が「一般的包括的内容を含む科目」のなかでとりあげられるべきかを検討した。そのため、中学校学習指導要領（平成２９年告示）第２章、高等学校学習指導要領（平成３０年告示）第２章にそれぞれ記載される各教科の内容を精査し、教職課程段階で教員志望の学部学生が身に付けるべきと考えられる内容を抽出した。なお、高等学校の学習指導要領も参照したのは、認定課程において、中学校の教科に関する科目と高等学校における教科に関する科目は、教職課程認定基準において同一の科目として良いこととされているため、「一般的包括的内容を含む科目」としての妥当性を判断するためには、高等学校の内容も反映されていることが必要と判断したからである。内容の抽出に際しては、１つの「一般的包括的内容を含む科目」が１５回で実施されるであろうことを前提に、その身に付けるべき内容を整理し、１つの「一般的包括的内容を含む科目」につき７～８程度に集約することとし、その一つ一つを適切な語句で表すこととした。例えば、中学校社会科の「法律学」の場合であれば、「労働基本権」などが該当する（以下、こうした語句を「事項」という。）。なお、各教科の中の科目区分ごとに事項数には大きく隔たりがでないように留意したが、社会科の場合には、中学校において、学習指導要領上示されている授業時間数が、地理的分野が１１５単位時間、歴史的分野が１３５単位時間、公民的分野が１００単位時間とされ、高等学校においては、地理歴史科の必修科目が「歴史総合」２単位、「地理総合」２単位、公民科の必修科目が「公共」２単位とされていることを踏まえ、日本史・外国史及び地理（地誌を含む）の科目区分における事項数を増加させている。

あわせて、事項の立項に当っては、教員養成系単科大学のそれぞれの「一般的包括的内容を含む科目」の状況も踏まえ、学習指導要領に記載のない内容であっても、「一般的包括的内容を含む科目」の土台にあたる個別の学問領域の基礎的な概念など「一般的包括的内容を含む科目」として必須と判断できるものについては、事項に含めることとした。

（３）各大学のシラバスの分析

（２）で立項した事項の内容が、個々の「一般的包括的内容を含む科目」のなかでどの程度含まれているかを、まず教員養成系単科大学のシラバスを対象に分析を進めた。そのうえで、

分析の結果を踏まえ、当初立項した事項の妥当性を確かめつつ、必要に応じて事項に対し修正を加えたうえで、教員養成系単科大学以外の調査対象大学のシラバス分析を進めていくこととした。

立項した事項が調査対象の「一般的包括的内容を含む科目」に含まれているかどうかを、事項ごとに「○」「△」「×」で表すこととしたが、その判断の目安とするために、事項ごとに判断の基準となる「キーワード」を複数設定することとした。シラバスの中に設定したキーワードが概ね含まれるようであれば「○」、一部しか含まれていないような場合は「△」、全く含まれていない場合は「×」とし、科目区分ごとに一覧表に集約したものである。

なお、教員養成系単科大学以外の調査対象大学の分析を通して、より妥当性のある事項に設定し直した科目区分もあったため、教員養成系単科大学以外の調査対象大学の分析を終えたのち、改めて教員養成系単科大学のシラバスの調査を行っている。

以上の分析の結果は、後掲の科目区分ごとの一覧表に集約してある。また、個々の科目区分ごとの事項立項の方法や理由、分析の結果等についても、科目区分ごとにコメントとして、この後に掲載したところである。

3. 表の見方（各教科の科目区分についてのコメントの中に挿入されている表及び一覧表）

- ・各教科の科目区分についてのコメントの中に挿入されている表の一番左の列の数字は、事項の数である。これを、単科 11 大学と教育学部の全体での数と、それぞれに分けた数とが記してある。例えば、国語学の最左列 5 というところを見ると、これは、国語学で挙げられている事項数 7 のうち、5 つを含んでいることが確認された大学・学部が 10 あり、そのうち、単科大学は 2 で、教育学部は 8 ということである。
- ・各教科の科目区分についてのコメントに続く一覧表では、調査大学の名称は伏せ、番号のみを記してある。そのうち①～⑬は教員養成系単科大学、1～3 5 は教員養成系単科大学以外の調査対象大学（教職大学院を設置する国立大学における教育学部等）である。なお、北海道教育大学については、札幌校、旭川校、釧路校ごとにカリキュラムが異なっているため、別々に『履修の手引き』等やシラバスを分析している。
- ・「一般的包括的内容を含む科目」のうち、選択必修科目については、表の中で、（○○学概論）のように科目名に括弧を付してある。1 つの大学で、括弧の付されない複数の科目が示されている場合は、その全てが当該教科の免許取得のための必修科目であることを示す。また、『履修の手引き』等には必修科目等として提示されていながら、シラバスを確認できないものも存在した。そうした科目については表の中で網掛けしてある。
- ・集計に当たっては、「○」が付された数を数え、「△」印は数えなかった。一覧表のキーワー

ドから下の3行は、全大学・学部についての（いわば、縦の）集計欄である。右端の2列は科目にかかる（いわば、横の）集計欄で、「大学全体」に記してあるのは、当該大学・学部で開設している科目全体で（いわば、科目をまたいで）いくつ〇を数えることができたかを記してある。

- ・調査対象大学の中には、教科によっては認定課程を有しない大学もあるため、教科間の大学数は一致しない可能性がある。

4. 一覧表の要約

一覧表の最後には、一覧表の要約（粗々のまとめ）をつけた。記したのは、各教科の各科目区分ごとの事項数、事項のうちで全大学・学部でもっとも含まれている数が多かった事項（最頻値）と、もっとも含まれている数が少なかった事項（最稀値）、一番右の列には、それぞれの科目について、調べた大学・学部の半数以上の大学・学部で含んでいると言える事項の数である。参考にされたい。

（小嶋 茂稔 記）

【国語学】

国語学に関する内容については、音声・語彙・文法・文体・文字・敬語・方言に関する事項立てを行い、それぞれが各科目の中でどのように扱われているのかについて検討を行った。免許法施行規則に定める科目区分の名称が「国語学（音声言語と文章表現を含む。）」とあることから、論文作成など文章表現法やディベートなどを扱った科目を設けている大学が散見さ

【国語学（事項数：7）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	3	6.4%	1	7.7%	2	5.9%
1	3	6.4%	1	7.7%	2	5.9%
2	2	4.3%	1	7.7%	1	2.9%
3	6	12.8%	2	15.4%	4	11.8%
4	4	8.5%	0	0.0%	4	11.8%
5	10	21.3%	2	15.4%	8	23.5%
6	10	21.3%	5	38.5%	5	14.7%
7	9	19.1%	1	7.7%	8	23.5%
	47		13		34	

れるなどの問題点も指摘できようが、それ以外は概ね網羅的にそれぞれの事項立てに関する内容が扱われようとしている。今回の調査で検討を行ったおよそ7割の授業科目において事項立てを行った半数以上の内容を扱うことができている。ただその中にあり、実際の言語使用状況をふまえた内容である「敬語」「方言」などの内容がカバーし切れていない傾向にある。中学校ならびに高等学校における指導内容との関連に照らし合わせて考えるのであれば、実際の言語生活の中での言葉の扱いについて考えを深める授業内容をいかに構築していくべきかが課題の一つとして浮かび上がってくるであろう。

【国文学】

国文学は、中学校・高等学校の学習指導要領で扱われている内容と、該当科目のシラバス内で多く扱われている内容の両者の視点から、7つの事項立てを行い分析した。

事項立ては、まず、文学論や文学史などを扱った事項を「国文学全般」として一つ目に立項し、続いて、近代文学に関係する内容を、①明治から戦前期、②戦後期および児童文学、③近代詩やよび短歌・俳句に3分類した。

また、古典文学に関係する内容を、①上代から中世までの作品、②近世の文学や芸能、③和歌や俳諧など、同じく3分類した。

各大学の事項の扱いを見ると、複数の科目が開設されている場合は、近代文学を中心に扱う科目と、古典文学を中心に扱う科目とに分けて行われるケースが多い。ただし、特定の作家や作品のみを扱う傾向があり、教育内容構成の点から偏りがあると捉えられる。また、学習指導要領に記載のある、論理的な文章や創作などについての扱いがほとんど無い点も課

【国文学（事項数：7）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	2	4.3%	1	7.7%	1	2.9%
1	3	6.4%	1	7.7%	2	5.9%
2	6	12.8%	1	7.7%	5	14.7%
3	11	23.4%	2	15.4%	9	26.5%
4	5	10.6%	2	15.4%	3	8.8%
5	9	19.1%	3	23.1%	6	17.6%
6	9	19.1%	3	23.1%	6	17.6%
7	2	4.3%	0	0.0%	2	5.9%
	47		13		34	

題である。

【漢文学】

漢文学に関する内容については、漢文そのものの理解を深めるために必要な知識である漢文法・漢字・辞典・版本に関する内容と、扱われるジャンルとしての史伝・思想・漢詩・散文に関する事項とに大きく分けて検討を行ったが、すべての事項を網羅的に押さえつつ一つの授業科目を形成しているものはほとんど見られなかった。網羅的というよりも漢詩なら漢詩のみ思想なら思想のみを

扱うといったように、扱う内容を絞り込んで授業内容が設定されているという点に特徴が見られる。各大学の授業担当者の専門領域を反映してのことと思われるが、コア・カリキュラムの発想に立つのであれば果たして単一の授業科目ですべての内容を扱うことが現実的に可能かどうかという点も含め、今後大いに検討の余地がある領域といえるかもしれない。また昨今の各大学における人員削減のあおりを受け、非常勤が担当する科目のみあるいは集中講義のみとなっているのが漢文学の領域に関しては少なからず見られる。その内容を教えるのに適した教員が適切な状態で配置されているのかという問題を抜きにして教科専門科目のコア・カリキュラム化は論じきれないようにも感じる。

【漢文学（事項数：7）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	3	6.4%	1	7.7%	2	5.9%
1	10	21.3%	3	23.1%	7	20.6%
2	6	12.8%	2	15.4%	4	11.8%
3	4	8.5%	0	0.0%	4	11.8%
4	14	29.8%	3	23.1%	11	32.4%
5	6	12.8%	2	15.4%	4	11.8%
6	3	6.4%	2	15.4%	1	2.9%
7	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
	47		13		34	

【書写】

書写（書道）は、学習指導要領における中学校国語科の書写及び高等学校芸術科の書道で扱われている内容と、該当科目のシラバス内で多く扱われている内容の両者の視点から、6つの事項立てを行い分析した。

事項は、書法として楷書と行書をまず立項し、続いて、漢字や仮名の書き方の項目、書き方を生かして手紙を書いたり書き初めを行ったりする生活化の項目、書の歴史などを扱う文字文化の項目、最後に授業にどう生かすかという学習指導の項目を立てた。

各大学の事項の扱いを見ると、実技の基本となる楷書と行書はほとんどの大学で扱われ、それと関連して漢字の構成や許容の問題などについて触れているケースも多い。特徴的な

【書写（事項数：5）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
1	3	6.4%	0	0.0%	3	8.8%
2	3	6.4%	1	7.7%	2	5.9%
3	13	27.7%	4	30.8%	9	26.5%
4	14	29.8%	7	53.8%	7	20.6%
5	10	21.3%	0	0.0%	10	29.4%
6	3	6.4%	1	7.7%	2	5.9%
	47		13		34	

のは、実技に止まらず、教科書や授業の研究など学習指導の内容を扱うシラバスが複数あることである。実際の書写・書道の指導場面から、大学で扱う内容を構成しているシラバスも見られ、これは国語科の他の科目でも有効であると考えられる。

(森田真吾、中村和弘 記)

＜事業No＞＜事業＞	1 言語	2 読解	3 文法	4 文意 読解 語彙 構文 意文 和訳漢文	5 文学・表記 平仮名 片仮名 漢字 ローマ字 ひらがな カタカナ 読点 敬体 文意	6 敬語 言葉遣い 敬語表現 敬語表現 敬語表現	7 方言 地域方言 社会方言	その他 国語教育への言及など	備考	科目番号	大学全体
＜キーワード＞											
事項を含む科目数	53	49	55	22	41	26	23				
事項を含む科目を1科目以上置いている大学数	41	37	41	19	31	23	22				
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数	82	82	82	82	82	82	82				
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数	82	82	82	82	82	82	82				
※シラバスなし科目を除く											
① 日本語学概論Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○			1	1
② 国語表現	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	0	0
③ 国語表現Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	3	3
④ 国語学概論Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	0	0
⑤ 日本語学概論Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	3	3
⑥ 日本語学概論Ⅱ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	5	5
⑦ 日本語学概論Ⅲ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	7	7
⑧ 国語学概論Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	2	2
⑨ 国語学概論Ⅱ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	4	4
⑩ 国語学概論Ⅲ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	6	6
⑪ 国語学概論Ⅳ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	8	8
⑫ 国語学概論Ⅴ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	10	10
⑬ 国語学概論Ⅵ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	12	12
⑭ 国語学概論Ⅶ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	14	14
⑮ 国語学概論Ⅷ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	16	16
⑯ 国語学概論Ⅸ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	18	18
⑰ 国語学概論Ⅹ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	20	20
⑱ 国語学概論Ⅺ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	22	22
⑲ 国語学概論Ⅻ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	24	24
⑳ 国語学概論Ⅼ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	26	26
㉑ 国語学概論Ⅽ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	28	28
㉒ 国語学概論Ⅾ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	30	30
㉓ 国語学概論Ⅿ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	32	32
㉔ 国語学概論ⅰ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	34	34
㉕ 国語学概論ⅱ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	36	36
㉖ 国語学概論ⅲ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	38	38
㉗ 国語学概論ⅳ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	40	40
㉘ 国語学概論ⅴ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	42	42
㉙ 国語学概論ⅵ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	44	44
㉚ 国語学概論ⅶ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	46	46
㉛ 国語学概論ⅷ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	48	48
㉜ 国語学概論ⅸ	○	○	○	○	○	○	○		※シラバスなし	50	50
㉝ 国語学概論											

<事項No.> <事項>	1 音声	2 語彙	3 文法	4 文体	5 文字・表記	6 教語	7 方言	その他	備考	科目 目録	大学 全体
	音韻 記号 アクセント 五十音図 音素 イントネーション 母音・子音	対義語 多義語 オノマトペ 和語・漢語・外来語 混雑語 比喩 隠喩 形態論	品詞論 構文論 構文 ボイス アスペクト テンンス モダリティ 活用	文章 修飾 話し言葉・書き言葉 レトリック 言文一致体 和漢混交文 変体漢文	平仮名 片仮名 漢字 ローマ字 いろは 仮名遣い 万葉仮名 変体仮名	言葉遣い 敬語 学術文・ドネス 語用論	地域方言 社会方言	国語教育への言及など			
12 (国語学概論 I) (国語学概論 I)	x	x	x	x	○	○	○	※シラバスなし		3	3
13 国語学概論	x		○	x	○	x	x	※シラバス未入力		3	0
14 国語学概論 (音声学を含む。)	○	○	○	x	○	○	x	※シラバス未入力		5	5
15 国語学概論 (国語学概論 I)	○	○	x	x	x	x	x	すべて音声学		1	5
16 国語学概論 (音声学及び文章表現を含む。)	△	x	○	x	△	x	x	※源氏物語の文章論		0	0
17 国語学概論 (音声学及び文章表現を含む。)	○	x	○	x	○	x	x	※文法中心 (少しだけ音韻・文 学)		1	1
18 国語学概論	○	x	○	x	x	x	○	※シラバス未入力		0	0
19 国語学概論 (音声学を含む。)	○	x	x	x	x	x	x	言葉の仕組み 語用と正用 語彙上の発展 語彙・関・話し合い 多文化間コミュニケーション		3	3
20 国語学概論 (音声学を含む。)	x	○	○	x	x	○	○	学習形式		5	5
21 国語学 I	○	○	x	x	x	x	x	※日本国語教育の内幕		0	0
22 国語学 II	○	○	x	x	x	x	x	上代の音声・音韻、文学 中世語、 上代・中古・中世の文法		3	4
23 国語学概論 (音声学及び文章表現を含む。)	○	○	○	x	○	○	x	社会言語学 ことばの歴史		1	5
24 国語学概論 (音声学及び文章表現を含む。)	○	○	○	○	○	x	○	日本語史		6	7
25 国語学概論 (音声学及び文章表現を含む。)	○	○	○	x	○	○	x	シラバスなし		0	0
26 国語学概論 (音声学及び文章表現を含む。)	○	○	○	x	○	○	x	シラバスなし		0	0
27 国語学概論 I	○	○	○	x	○	x	x	言語の歴史・発達		5	5
28 国語学概論 II	○	○	○	x	○	x	○	ことばの歴史 日本語の歴史		3	5
29 国語学概論	○	○	○	○	○	x	○	基礎論 I と同一内容		6	6
30 国語学概論 (音声学及び文章表現を含む。)	○	○	○	○	○	x	x	基礎論 I と同一内容		6	6
31 国語学概論 I	○	○	x	x	○	x	x	※文章作法・テキストカッショ ンの方法		0	6
32 国語学概論 II	○	x	○	x	○	x	○	※文章作法・テキストカッショ ンの方法		6	6
33 国語学概論 (音声学及び文章表現を含む。)	○	○	○	x	○	x	○	※文章作法・テキストカッショ ンの方法		6	6
34 国語学概論 (音声学及び文章表現を含む。)	○	○	○	x	○	x	○	※文章作法・テキストカッショ ンの方法		6	6
35 国語学概論	○	○	○	x	○	x	x	※文章作法・テキストカッショ ンの方法		6	6

【国語：国文学】

＜事項No.＞ ＜事項＞	1 国文学全般 国文学史、国文学概論、文学論一般、文学評論など										2 近代文学① 明治・大正・昭和（戦前）の作品、漱石、鴎外、芥川、横光、太宰など		3 近代文学② 昭和（戦後）・現代の文学作品、児童文学、三島由紀夫、村上春樹、宮澤賢治など		4 近代文学③ 近代詩、近代短歌、俳句、正岡子規、与謝野晶子、萩原三郎など		5 古典文学① 上代、中古、中世の文学、枕草子、源氏物語、徒然草など		6 古典文学② 近世の文学、井原西鶴、能、狂言、浄瑠璃、歌舞伎、落語など		7 古典文学③ 和歌、俳諧、三和歌集、百人一首、松尾芭蕉など		科目毎	大学全体		
	＜キーワード＞																									
事項を含む科目数	56										49		34		8		50		25		39			5		
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	35										35		24		8		32		20		27					
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数	129										129		129		129		129		129		129				3	0
※シラバスなし科目を除く																										
①	日本文学史Ⅰ	△									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	明治期の小説のみ	3			
	日本文学史Ⅱ	○									○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	卒論用授業？詳細不明	2			
②	近代文学研究法	△									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	卒論用授業？詳細不明	0			
	（日本文学概論（古典））	○									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	卒論用授業？詳細不明	0			
	（日本文学概論（近代））	△									△	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	詳細は不明	4			
③	日本文学概論Ⅰ																					該当シラバス無し	0			
	日本文学史Ⅰ	△									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	詳細は不明	3			
	国文学概論	△									△	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	詳細は不明	0			
④	（国文学史A）	○									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		3			
	（国文学史B）	△									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		3			
	日本文学史Ⅰ	○									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		4			
⑤	日本文学史Ⅱ	△									○	○	○	△	△	△	×	×	×	×	×		2			
	日本文学概論Ⅰ	○									○	○	○	△	△	△	×	×	×	×	×		3			
	日本文学概論Ⅱ	△									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		2			
⑥	（国文学講義A）	×									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		1			
	（国文学講義B）	△									○	○	○	△	△	△	×	×	×	×	×		2			
	国文学演習AⅠ	△									○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×		1			
⑦	国文学演習AⅡ	△									△	△	△	△	△	△	×	×	×	×	×		1			
	国文学演習BⅠ	×									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		2			
	国文学演習BⅡ	△									○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		4			
⑧	国文学史概説	○									○	○	○	△	△	△	×	×	×	×	×	源氏物語のみ扱う	5			
	国文学概論	×									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	児童文学が中心	1			
⑨	国文学特論Ⅰ	○									○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		3			
	国文学特論Ⅱ	△									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		1			
	日本文学史Ⅰ	△									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		3			
⑩	日本文学史Ⅱ	○									○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×		2			
	日本文学概説Ⅰ	○									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	源氏物語のみ扱う	2			
	日本文学概説Ⅱ	×									○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	谷崎潤一郎のみ扱う	1			
	国文学Ⅰ	△									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		2			
⑪	国文学Ⅱ	○									○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×		2			
	（児童文学論）																					該当シラバス無し	0			
	（児童文学演習）	△									×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		1			
⑫	国文学概論（国文学史を含む。）										×	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×		2			
⑬	国文学概論	○									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		4			
	国文学Ⅰ	○									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	伝承のみ扱う	1			
1	国文学Ⅱ	○									○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		3			
	国文学講義Ⅰ	×									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	古典文学の研究論文の授業	0			
	国文学講義Ⅱ	×									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		1			
2	（国文学史A）	△									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	芥川のみ扱う	2			
	（国文学史B）	×									×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		1			
	（国文学史C）	○									○	○	○	△	△	△	×	×	×	×	×		2			
3	国文学概論	○									○	○	○	△	△	△	×	×	×	×	×		3			

＜事項No.＞ ＜事項＞ ＜キーワード＞	1	2	3	4	5	6	7	その他	科目毎	大学全体
	国文学全般 国文学史、国文学概論、文学論一般、文学評論など	近代文学① 明治・大正・昭和（戦前）の作品、漱石、圓外、芥川、横光、太宰など	近代文学② 昭和（戦後）・現代の文学作品、児童文学、三島由紀夫、村上春樹、宮澤賢治など	近代文学③ 近代詩、近代短歌、俳句、正岡子規、与謝野晶子、森万智など	古典文学① 上代、中古、中世の文学、枕草子、源氏物語、徒然草など	古典文学② 近世の文学、井原西鶴、能、狂言、浄瑠璃、歌舞伎、落語など	古典文学③ 和歌、俳諧、三和歌集、百人一首、松尾芭蕉など			
4 日本文学史概説	×	×	×	×	○	○	○		3	3
	○	△	△	△	△	△	△	詳細は不明	1	1
	○	○	△	○	○	○	○		6	6
	△	△	△	△	×	×	×	トピックの記事はあるが、詳細は不明	0	2
	○	○	×	×	×	×	×	題外のみ扱う	2	
	基礎国文学	×	×	×	×	○	○	トピックのみで詳細は不明	2	4
8 (国文学史(古代)) (国文学史(近代))	△	×	×	×	○	×	○		1	
	○	×	×	×	○	○	○		3	
	○	×	○	×	×	×	×		4	
	○	×	×	×	×	×	×	風土記のみ扱う	1	
	×	×	×	×	○	×	×	特論Aと同じ内容	1	6
	古典文学特論B	×	×	×	×	○	×	文芸批評理論を学ぶ、作品名等は不明	1	
9 近代文学特論A	○	△	△	△	×	×	×		1	
	近代文学特論B	×	×	×	×	×	×		1	
	(日本文学史(古典))	×	×	×	×	○	○		3	
	(日本文学史(近代))	×	△	○	×	×	×	児童文学のみ扱う	1	
	日本の古典を読むⅠ	×	×	×	×	○	×	源氏物語のみ扱う	1	
	(日本の古典を読むⅡ)	×	×	×	×	○	×	Ⅱと同じ内容	2	
10 (日本の文学を読む(近代)) (日本の文学を読む(近世文学))	○	×	○	×	×	×	×	現代児童文学を扱う	1	
	日本の詩歌	×	×	×	×	○	○	伊勢物語のみ扱う	2	7
	(日本の言語文化)	△	×	×	×	△	△	古今和歌集のみ扱う	1	
	(日本文学演習Ⅰ-1)	×	×	×	×	○	○	Ⅰ-1とほぼ同じ内容	1	
	(日本文学演習Ⅰ-2)	×	×	×	×	○	×	沙石集のみ扱う	1	
	日本文学演習Ⅱ-2	○	○	×	×	×	×	該当シラバス無し	0	
11 (日本文学演習Ⅲ-1) (日本文学演習Ⅲ-2)	○	○	×	×	×	×	×	芥川のみ扱う	2	
	○	×	○	×	×	×	△	太宰のみ扱う	2	
	○	×	○	×	×	×	△	児童文学のみ扱う	2	
	○	×	○	×	×	×	△	児童文学のみ扱う	2	
	(日本文学演習Ⅳ-2)	△	×	×	×	×	○	百人一首を扱う	1	5
	(日本文学講義ⅠA)	○	×	×	×	○	△	教科書の文学教材を扱う	3	3
12 (日本文学講義ⅠB) (日本文学講義ⅡA)	○	○	×	×	×	×	×		2	
	○	○	○	×	×	×	×		2	
	△	○	○	×	×	×	×		2	
	△	×	×	×	×	×	×	くずし字の読解	2	3
	(国文学概論Ⅱ)	△	×	○	×	×	×		6	
	国文学概論(国文学史を含む。)	○	○	○	×	○	○		2	6
14 国文学講義 国文学基礎演習	△	○	○	×	×	×	×		1	
	△	○	△	△	×	×	×		1	
	△	△	×	△	×	×	×		1	5
	国文学史概論	×	×	×	×	○	○		3	
	国文学演習	×	×	×	×	×	×		1	
	日本文学概論(国文学史を含む。)	○	○	○	×	△	△		3	3
17 日本文学基礎	△	○	△	×	△	△	○		2	2
	△	○	△	○	○	○	○		6	6
	○	○	×	×	○	○	○		5	
	国文学史	○	○	×	○	×	×		3	3
	国文学概論(国文学史を含む。)	△	○	○	×	×	×		2	2
	国文学概説	○	○	×	×	×	×		3	
20 国文学概論	○	○	○	×	×	×	×		3	6
	国文学史Ⅰ	×	×	○	×	○	△		3	
	国文学史Ⅱ	×	×	×	×	○	○		3	

<事項No.> <事項>	1 国文学全般 国文学史、国文学概論、文学論一般、文学評論など	2 近代文学① 明治・大正・昭和（戦前）の作品、漱石、鴎外、芥川、横光、太宰など	3 近代文学② 昭和（戦後）・現代の文学作品、児童文学、三島由紀夫、村上春樹、宮澤賢治など	4 近代文学③ 近代詩、近代短歌、俳句、正岡子規、与謝野晶子、俄万智など	5 古典文学① 上代、中古、中世の文学、枕草子、源氏物語、徒然草など	6 古典文学② 近世の文学、井原西鶴、能、狂言、浄瑠璃、歌舞伎、落語など	7 古典文学③ 和歌、俳諧、三和歌集、百人一首、松尾芭蕉など	その他	科目毎	大学全体
22 <キーワード> (国文学概説A) (国文学概説B) (国文学概説C) (国文学史A) (国文学史B) (国文学史C)	○	○	×	×	×	×	×		2	
	○	×	○	×	×	×	×		2	
	○	×	×	×	○	×	×	該当シラバス無し	0	5
	○	×	×	×	○	○	×	該当シラバス無し	3	
23 日本文学史A：日本古典文学史 日本文学史B：日本近代文学史	○	×	×	×	○	×	×		2	3
	○	○	×	×	○	×	×		2	
24 (国文学概説(1)) (国文学概説(2)) (中等国語科内容論(国文学)(1)) (中等国語科内容論(国文学)(2))	○	×	×	×	○	×	○		2	
	×	×	×	×	○	△	△	古文教材・韻文教材とのみ表記	0	3
25 国語文化概説B(国語文化と文学) 国語文化の歴史B(国文学の歴史)	○	○	○	△	×	×	×	小説教材・論理的文章教材とのみ表記	0	
	×	×	×	×	△	△	△		3	4
26 国文学概説(国文学史を含む。)	×	×	×	×	○	×	×	古事記のみ扱う	1	1
	△	×	×	×	△	△	△		1	4
27 日本古典文学史 日本近代文学史	△	○	○	×	△	×	×		3	
	○	×	×	×	○	○	○		4	6
28 日本古典文学概説 日本近代文学概説	○	△	×	×	○	×	×		3	
	○	○	△	△	×	×	×		2	2
29 国文学論(国文学史を含む。)	○	△	△	△	×	×	×		2	
	△	×	×	×	○	○	△		2	3
30 国文学概説 近代文学概説	△	○	△	×	×	×	×		1	
	×	×	×	×	○	×	○		2	5
31 国文学概説I 国文学概説II	○	○	○	△	△	×	×		4	
	○	×	×	×	○	△	×		2	2
32 近代文学概説	○	△	△	△	×	×	×	トピックのみの表記のため、詳細不明	1	
								該当シラバス無し	0	
33 国文学講義I 国文学演習I								〃	0	0
	×	×	×	×	×	×	×	万葉集のみ扱う	1	
34 (上代文学講義) (中古・中世文学講義) (近代文学講義I) (近代文学講義II)	△	×	×	×	×	×	×	万葉集のみ扱う	1	
	△	○	×	○	×	×	×	雨月物語のみ扱う	1	7
(近代文学講義III) (児童文学講義)	△	△	△	△	×	×	×	共通作品とのみ表記のため詳細不明	0	
	○	○	○	○	×	×	×	児童文学のみ扱う	3	
35 古典文学演習 日本文学概説I 日本文学概説II	×	×	×	×	○	×	×	徒然草のみ扱う	1	
	△	○	○	×	×	×	×		2	5

【国語：漢文学】

<事項No.>	1	2	3	4	5	6	7	その他	備考	科目毎
<事項>	訓読のきまり・漢文法・句法に関する知識	漢字そのものに関する知識	辞典・目録の種類・活用に関する知識	史伝	思想	漢詩	説話・小説・言行録など	国語教育への言及など		
<キーワード>	再読文字、助辞	六書、説文解字	漢和辞典、漢籍目録の活用、版本文、工具書	史記、項羽本紀、資治通鑑、春秋左氏伝、十八史略	論語、孟子、韓非子、老子、莊子、荀子、孫子、墨子、諸子百家	平仄、押韻、対句、唐詩、文選、楚辭、李白、白居易、大維、杜甫、詩經、樂府、陶淵明、蘇軾	三国演義、説苑、世説新語、夢求、葉根譚、呻吟語、貞觀政要、曾國藩家訓、六朝志怪、中国笑話、唐代伝奇、故事成語、聊斎志異、中国笑話			
事項を含む科目数	20	9	14	30	35	38	26			
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	19	8	10	28	27	33	20			
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く	76	76	76	76	76	76	76			
① 漢文学概論	○	×	×	×	×	×	×			1
② 漢文学研究法 （漢文学史）	×	×	○	×	×	×	×			1
③ 漢文学概論Ⅰ	○	○	○	○	×	○	×			3
④ 漢文学概論Ⅱ	×	×	×	×	×	○	×			2
⑤ 中国古典文学基礎 中国古典文学概論 中国古典文学新概論	×	×	○	×	×	○	×			0
⑥ 漢文学講読	○	×	×	×	×	×	○			1
⑦ 漢文学A 漢文学B 漢文学C	○	×	×	×	○	○	×			2
⑧ 漢文学概説 漢文学概論Ⅰ 漢文学概論Ⅱ	×	○	×	×	○	×	×			4
⑨ 漢文学概説Ⅰ 漢文学概説Ⅱ	○	×	×	○	○	×	×			2
⑩ 漢文学概説 漢文学	×	×	○	×	○	○	×			3
⑪ 漢文学 漢文学概論 漢文学概論Ⅰ 漢文学Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×			1
⑫ 漢文学概論 ⑬ 中国古典文学概論 ⑭ 漢文学Ⅰ ⑮ 漢文学講読Ⅰ ⑯ 漢文学講読Ⅱ ⑰ 漢文学講読Ⅲ ⑱ 漢文学講読Ⅳ	○	×	×	○	×	○	○			5
1 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			6
2 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	○	○	○	×	×			1
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	○	○	○	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢文学Ⅰと完全一致	×	×	×	×	×	×	×			3
3 漢										

<事項No.>	1	2	3	4	5	6	7	その他	備考	科目毎
<事項>	訓読のきまり・漢文法・句法に関する知識	漢字そのものに関する知識	辞典・目録の種類・活用に関する知識	史伝	思想	漢詩	説話・小説・言行録など			
<キーワード>	再読文字、助辞	六書、説文解字	漢和辞典、漢籍目録の活用、版本文字、工芸書	史記・項羽本紀・資治通鑑、番叔左氏伝、十八史略	韓非子、老子、莊子、荀子、孫子、墨子、諸子百家	平仄、押韻、対句、唐詩、文選、楚辭、李白、白居易、大団、杜甫、詩經、樂府、陶淵明、蘇軾	三国演義、説苑、世説新語、蒙求、葉根譜、呻吟語、貞觀政要、曾國藩家訓、六朝志怪、中国笑話、唐代伝奇、故事成語、聊齋志異、故事成語			
9	漢文学特講 I (漢文学特講 I A) (漢文学特講 I B) (漢文学特講 I C) (漢文学特講 I D)	○ × × ○	× × × ○	× ○ × ○	× × ○ ○	× × × ○	○ × × ○			3 1 1 0
10	中国古典学講義	○	△	○	○	○	×			4
11	(中国古典文学講義A) (中国古典文学講義B)	×	×	○	○	×	○	日本の漢詩		3 1
12	(漢文学講義 I) (漢文学講義 I)	×	×	×	×	○	×			1
13	漢文学基礎 (漢文学基礎 I) (漢文学基礎 II)	×	×	×	×	×	×			2 2 1
14	漢文学演習A (漢文学演習A) (漢文学演習B)	○ ×	×	×	×	○	×			4 1
15	漢文学概論 (漢文学概論 I) (漢文学概論 II)	○ ×	×	×	×	○	○	日本漢詩 唐代伝奇と日本文学		3 1 1
16	漢文学概説	×	×	×	○	○	○	中国古典文学の日本への影響		4
17	漢文学基礎	○	×	×	×	○	×			2
18	漢文学概論	×	×	×	○	○	○			4
19	漢文学概論 (漢文学概論 I) (漢文学概論 II)	×	×	×	○	○	○	中国文化の特質 日本の漢文		4 1
20	漢文学講義 I	×	×	×	×	○	×	日本漢詩		2
21	漢文学概論	○	×	×	○	×	○			4
22	漢文学講義	○	×	×	○	○	○			5
23	漢文学基礎講義 (漢文学基礎 I) (漢文学基礎 II)	○ ○ ×	○ ○ ×	○ ×	○ ×	×	×	中国古典の歴史と社会 日本における漢文の位置 書写材料について		5 2 3
24	(中等国語科内容論 (漢文学) (1)) (中等国語科内容論 (漢文学) (2))	○ ×	○ ×	○ ×	×	×	○	小中学校における漢字学習と古典 (漢文学) 初等国語科から中等国語科 (漢文学) への接続		4 7
25	国語文化概論C (国語文化と漢文)	×	×	×	○	○	○	漢文教材研究の方法 漢文教育の現在		4 4
26	(漢文学講義) (漢文学講義) (漢文学演習)	×	×	×	○	×	×			2 3 1
27	中国古典学講義 I (中国古典学講義 I) (中国古典学講義 II)	×	×	×	×	×	×	漢習形式		1 1 2

<事項No.>	<事項>	1	2	3	4	5	6	7	その他	備考	科目毎	大学全体
		訓読のきまり・漢文法・句法に関する知識	漢字そのものに関する知識	辞典・目録の種類・活用に関する知識	史伝	思想	漢詩	説話・小説・言行録など				
	<キーワード>	再読文字、助辞	六書、説文解字	漢和辞典、漢籍目録の活用法、版本学、工具書	史記、項羽本紀、資治通鑑、春秋左氏伝、十八史略	論語、孟子、韓非子、老子、莊子、荀子、孫子、墨子、諸子百家	平仄、押韻、対句、唐詩、文選、楚辭、李白、白居易、大綏、杜甫、詩經、樂府、陶淵明、蘇軾	三国演義、説苑、世説新語、説求、裴駰、晉書、晉書、六朝志怪、中国史話、聊齋志異、故事成語	言語教育への言及など			
28	中国古典概説	×	×	×	○	○	○	○			4	4
29	中国文学概説	×	×	×	×	×	×	×		「韻文・散文におけるジャンルとその文体についての概観」 「作品のテーマや表現のモチーフについて考察」とあるのみ	0	0
30	漢文学概論	×	×	×	○	○	○	×			3	3
31	漢文学概説 I	×	×	×	×	×	○	×			1	1
32	漢文学概論	×	×	×	×	×	×	×		「対句や典故といった漢文学特有の表現技法についての検討」 「作品のテーマや表現のモチーフについて考察」とあるのみ	0	0
33	漢文学 I	○	×	×	○	○	○	×			4	4
	漢文学概論	×	×	○	×	×	○	×	日本文学における中国古典文学の受容について		2	
34	漢文訓読法 (漢文学概説 I) (漢文学概説 II) (漢文学概説 III)	×	×	×	×	×	×	×	日本漢文		1	3
		×	×	×	×	×	×	×	日本漢詩		2	
		×	×	×	×	×	×	×			1	
35	漢文学概論	×	×	×	×	×	○	×			1	1

【国語：書写】

＜事項No＞ ＜事項＞	1 楷書 楷書の基礎、字形、点 画、大きさ、配列	2 行書 行書の特徴、行書の基 礎、筆脈	3 漢字・仮名 漢字、仮名、漢字仮名交 じり文、調和	4 書くことの生活化 楷書と行書の選択、手紙 を書く、効果的な書き方	5 立字文化 多様な表現、書の内容、歴史、 用具、手書きの効果	6 書写の指導 学習指導要領、学習指導 案の作成、教科書の研 究、板書	その他	科目毎	大学全体
事項を含む科目数	52	43	52	17	32	25			
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	42	34	37	14	22	23			
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く	68	68	68	68	68	68			
① 書法Ⅰ （書法Ⅰ）	○	○	○	△	×	○		4	4
② 書法Ⅱ （書法Ⅱ）	○	○	○	△	×	○		4	4
③ 書法Ⅲ （書法Ⅲ）	○	○	○	△	×	○		4	4
④ 書道演習Ⅰ （中学書写A）	○	○	○	○	×	○		4	4
⑤ 書道演習Ⅱ （中学書写B）	△	△	△	○	△	○	詳細は不明	4	4
⑥ 書写書道Ⅰ （書道Ⅰ）	○	×	○	○	×	△		3	3
⑦ 書道演習Ⅲ （書道Ⅱ）	○	×	○	△	×	○		2	2
⑧ 書道演習Ⅳ （書道Ⅲ）	×	○	○	×	×	×		2	2
⑨ 基本書法 （書道Ⅳ）	○	○	○	×	×	○		4	4
⑩ 書道概論Ⅰ （書道Ⅴ）	○	×	○	△	×	×	小学校書写が中心	2	3
⑪ 書道概論Ⅱ （書道Ⅵ）	○	○	○	×	×	×	中学校書写	2	3
⑫ 書写・書道 （書道Ⅶ）	○	×	△	△	×	○	小学校書写が中心	2	3
⑬ 書写Ⅰ （中学書写指導）	○	○	○	○	△	×	小学校書写が中心	3	3
⑭ 書写Ⅱ （行・草書法）	○	×	○	×	○	×		6	6
⑮ 書写Ⅲ （仮名書法）	×	○	○	×	○	×		3	3
⑯ 書写Ⅳ （漢字仮名交じり書法）	×	×	○	○	△	×		2	2
1 書道Ⅰ	○	○	○	×	×	○		4	4
2 書法基礎	○	○	○	○	○	×		5	5
3 書道	○	×	○	×	○	×		3	3
4 書道実技Ⅰ	○	○	○	×	○	×		4	4
5 書道実技Ⅱ	△	○	○	×	×	×		2	2
6 書道	○	○	○	×	○	○		4	4
7 書写Ⅰ	○	○	○	×	×	○	教科書研究も行う	5	5
8 書写Ⅱ	○	×	×	×	○	×		4	4
9 書道（書写A）	○	○	×	×	○	×	毛筆のみ	2	2
10 書道（書写B）	○	○	○	×	○	△	楷書のみのみ	4	4
11 中学校書写Ⅰ	○	×	○	○	○	○	楷書のみのみ	5	5
12 中学校書写Ⅱ	×	○	○	○	○	○	行書のみのみ	5	5
13 書写実技	○	○	○	○	○	○		6	6
14 書道（書写A） （書道演習及び実習Ⅰ）	○	○	○	○	×	×		4	4
15 書道（書写B） （書道演習及び実習Ⅱ）	○	○	○	×	○	△		4	4
16 書写書道基礎	△	△	△	△	△	○	書写・書道教育中心、内容詳細不明	1	1
17 楷書書法（Ⅰ）	○	×	×	×	○	×	丸成宮田泉銘のみ扱う	2	2
18 行書書法（Ⅰ）	○	○	×	×	○	×	龍亨のみ扱う	3	3
19 かな書法（Ⅰ）	×	×	○	○	○	×	仮名のみ扱う	3	3
20 漢字仮名交じり書法（Ⅰ）	○	×	○	○	○	×		4	4

<事項No.> <事項> <キーワード>	1 楷書		2 行書		3 漢字・仮名交		4 書くことの生活化		5 文字文化		6 書写の指導		科 目 毎	大 学 全 体
	楷書の基礎、字形、点 画、大きさ、配列	楷書の基礎、行書の基 礎、筆脈	漢字、漢字仮名交 じり文、調和	楷書と行書の選択、手紙 を書く、効果的な書き方	多様な表現、書の歴史、 用具、手書きの効果	学習指導要領、学習指導 案の作成、教科書の研 究、板書	書写書道教育中心、内容詳細 不明							
16 書写演習Ⅰ	△	△	○	△	○	○	△	△	△	○	○	書写書道教育中心、内容詳細 不明	2	2
17 書写基礎	○	○	○	△	○	○	△	△	○	○	○		5	5
18 書道	○	○	○	△	△	△	△	△	○	×	×		3	3
19 書写基礎	○	○	○	○	○	○	×	×	×	△	△	行書のみを扱う	3	3
20 書写研究	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	行書のみを扱う	1	5
21 書道概説Ⅰ	○	○	○	△	△	△	△	△	○	○	○	古典の臨書中心	4	5
21 書道概説Ⅱ	△	○	○	○	○	○	△	△	○	△	△	仮名中心	3	5
22 書道	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	△		4	4
23 書写演習Ⅰ	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×		3	3
24 書写・書道概論	△	△	△	×	△	△	×	×	×	○	○		1	1
25 国語文化概論D（国語文化と書写書道）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		5	5
26 (書道Ⅰ)	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	漢字中心	2	3
27 (書道ⅠAまたは書道ⅠB)	○	○	○	△	○	○	△	△	×	△	△	仮名中心	3	3
27 (書道ⅠAまたは書道ⅠB)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	△	△		4	5
28 書写書道概説	○	○	○	○	○	○	×	×	×	△	△	筆順テスト、板書も扱う	3	3
29 書写	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△		3	3
30 書字論	×	×	△	△	△	△	△	△	△	○	○	実技ではなく、書写教育中心	1	1
31 書写	○	○	×	△	×	×	△	△	○	△	△		3	3
32 書道概論	○	○	△	×	△	△	×	×	○	△	△		3	3
33 書写技法												シラバス無し	0	0
34 書道演習Ⅰ	○	×	○	△	○	○	△	△	○	○	○	楷書のみ	4	5
34 書道演習Ⅱ	×	○	○	△	○	○	△	△	○	○	○	行書のみ	4	4
35 書道Ⅰ	○	△	○	○	○	○	○	○	△	△	○		4	4

【地理学（地誌を含む。）】

新学習指導要領中学校社会科と高等学校「地理総合」・「地理探究」で取り上げられる主な内容を網羅した。中高に共通にする地図や地理的スキル、防災、地球的課題、地域調査、地誌、地域区分、また、中学日本地理と高校地理探究の系統地理的学習で取り上げる自然環境、資源と産業、交通・通信、人口と都市・村落を、中学世界地理と高校地理総合で取り上げる生活文化、民族・宗教を選んだ。

地理の場合、高校で選択であり、しかも文系を中心に履修者が少ないことから、社会科・地歴科教員免許状の取得を目指す学生には、地理の指導内容、特に地図、自然地理に不安を感じている学生がたいへん多い。ところが、地図とGISに関しては11大学（分校を含む）、自然地理に関しては

7大学（うち5は単科大学）でそれぞれ取り上げられていないようである。地理総合の大項目であるGISを取り上げている大学が少ないのは問題である。

また、概論科目に本来含まれるべき地誌そのものに当たる内容を5大学で見出せなかった。このほか、特定の地域について広範に取り上げている例もあるが、動態地誌的な取り上げ方がないなど、学校教育に活かしにくい内容に終始しているケースも見られた。地誌は中学校の地理的分野の中核的な位置を占めており、その充実が求められる。また、社会の多文化が進む中、民族・宗教に関する内容があまり取り上げられていないことも気にかかる。

フィールドワークを実施している大学は少なくなかった。学生に地理学の面白さを理解してもらい、地域調査を指導できるようにするためにも、受講者数の問題もあるが、実施するように工夫したい。

基礎的な素養を習得しないまま、免許を取得している学生が多いと危惧される。限られた時間で全項目を取り上げるのは難しいが、教育学部の概論科目担当者は中学・高校の教科書・学習指導要領を踏まえて、講義計画を工夫していただきたい。

【日本史及び外国史】

「日本史・外国史」の科目区分における履修すべき事項の策定にあたっては、各大学で開講

【地理学（地誌を含む。）（事項数：18）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
1	1	2.1%	1	7.7%	0	0.0%
2	1	2.1%	1	7.7%	0	0.0%
3	2	4.2%	2	15.4%	0	0.0%
4	3	6.3%	0	0.0%	3	8.6%
5	3	6.3%	2	15.4%	1	2.9%
6	6	12.5%	2	15.4%	4	11.4%
7	4	8.3%	2	15.4%	2	5.7%
8	7	14.6%	2	15.4%	5	14.3%
9	7	14.6%	0	0.0%	7	20.0%
10	4	8.3%	1	7.7%	3	8.6%
11	4	8.3%	0	0.0%	4	11.4%
12	2	4.2%	0	0.0%	2	5.7%
13	2	4.2%	0	0.0%	2	5.7%
14	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
17	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
18	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	48		13		35	

されている日本史・外国史の「一般的・包括的内容を含む」科目の傾向に留意しつつ、中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章第2節社会において歴史的分野の教育内容として例示されている内容及び高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章第2節地理歴史において、歴史基礎、日本史探求、世界史探求の3科目の教育内容として例示されている内容を包括的に学修するために必要と想定される事項を立項した。

また、中学校学習指導要領第2章第2節社会のなかの「第3指導計画の作成と内容の取扱い」1（3）においては、地理的分野、歴史的分野、公民的分野に配当すべき授業時間数が、それぞれ115単位時間、135単位時間、100単位時間と規定され、新学習指導要領における高等学校の地理歴史科・公民科における必修科目は歴史総合・地理総合・公共と定められている。これらを勘案すると、この「日本史・外国史」における事項数は、公民的分野にかかる「法律学、政治学」「社会学、経済学」「哲学、倫理学、宗教学」の各事項数の合計と同程度である必要があると考えられることから、「日本史」にかかる事項を、「歴史学の基礎と方法論（日本史篇）」「先史～古代の推移」「日本中世の展開」「日本近世の展開」「日本における近代国家の形成」「両世界大戦期の日本と世界」「第二次世界大戦と日本」「日本の現代的課題」の8事項、「外国史」にかかる事項を、「歴史学の基礎と方法論」「諸地域世界の形成」「諸地域世界の交流と再編」「諸地域世界の結合（16世紀～18世紀）」「諸地域世界の変容（18世紀後半～19世紀半ば）」「近代（19世紀末～20世紀前半）の世界」「戦後の世界」「現代の地球的課題」の8事項とした。なお、「日本史」のシラバス調査にあたっては、それぞれの事項をさらに 키워

【日本史及び外国史＜日本史＞（事項数：15）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	2	4.3%	1	8.3%	1	2.9%
1	3	6.4%	2	16.7%	1	2.9%
2	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
3	4	8.5%	0	0.0%	4	11.4%
4	3	6.4%	0	0.0%	3	8.6%
5	2	4.3%	2	16.7%	0	0.0%
6	2	4.3%	0	0.0%	2	5.7%
7	4	8.5%	0	0.0%	4	11.4%
8	5	10.6%	2	16.7%	3	8.6%
9	6	12.8%	2	16.7%	4	11.4%
10	1	2.1%	1	8.3%	0	0.0%
11	3	6.4%	1	8.3%	2	5.7%
12	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13	4	8.5%	0	0.0%	4	11.4%
14	4	8.5%	0	0.0%	4	11.4%
15	3	6.4%	1	8.3%	2	5.7%
	47		12		35	

【日本史及び外国史＜外国史＞（事項数：28）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	3	6.4%	2	16.7%	1	2.9%
1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2	3	6.4%	2	16.7%	1	2.9%
3	2	4.3%	1	8.3%	1	2.9%
4	2	4.3%	1	8.3%	1	2.9%
5	4	8.5%	0	0.0%	4	11.4%
6	4	8.5%	0	0.0%	4	11.4%
7	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
8	1	2.1%	1	8.3%	0	0.0%
9	9	19.1%	3	25.0%	6	17.1%
10	2	4.3%	0	0.0%	2	5.7%
11	3	6.4%	1	8.3%	2	5.7%
12	3	6.4%	1	8.3%	2	5.7%
13	3	6.4%	0	0.0%	3	8.6%
14	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
15	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16	2	4.3%	0	0.0%	2	5.7%
17	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
18	2	4.3%	0	0.0%	2	5.7%
19	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
21	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
22	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
23	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
24	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
25	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
26	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
27	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
28	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	47		12		35	

ード群で細分化し調査を行い、「外国史」のシラバス調査にあたっては、前述の事項を、東洋史領域と西洋史領域とに分け、それぞれの事項をさらにキーワード群で細分化して調査を行ったところである。

「日本史」について概観すると、8つの事項になるべく触れるようにしている授業が多くみられる一方で、担当教員の専攻する時代やテーマに内容が限定される授業も散見した。

「一般的包括的内容を含む科目」である以上は、担当教員の専攻を活かしつつも、なるべく幅広い時代について触れられるような工夫が必要なのではないかと感じられた。

「外国史」について概観すると、「外国史」単独で「一般的包括的内容を含む科目」とする大学もあれば、「東洋史」「西洋史」に関する内容を学修することで「外国史」としての「一般的包括的内容を含む科目」の要件を満たそうとする大学もみられた。また、「外国史」の場合は、「日本史」以上に、担当教員が専攻と思われる地域や時代に授業内容が限定されられると思われる大学が多かった。「一般的包括的内容を含む科目」である以上は、担当教員の専攻を活かしつつも、なるべく幅広い地域や時代について触れられるような工夫が必要なのではないかと感じられた。

【「法律学、政治学」】

「法律学、政治学」の科目区分における学修すべき事項の策定にあたっては、各大学で開講されている法律学・政治学の「一般的・包括的内容を含む」科目の傾向に留意しつつ、中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章第2節社会において公民的分野の教育内容として例示されている内容及び高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章第3節公民において「公共」や「政治・経済」等の科目の教育内容として例示されている内容を、過不足なく包括的に学修するために必要と想定される事項を立項した。

法律学においては、「立憲主義・基本的人権」、「司法」、「国際法」については、多くの大学において、おおむね学修できるようシラバスは構成されていると判断できる。一方で、刑法や民法など広く法律学全般を概括的に学ばせようとする大学もあり、その場合、「立憲主義・基本的人権」の取扱いがやや不十分になっている印象を受けた。また、「労働基本権」については、中学校社会科の公民的分野において必ず扱うことになっているにも拘わらず、少数の大学でしか取り上げていないのは問題であると感じられる。ただ全般的に言って、授業担当者の努力は垣間みえるものの、その専門としている領域に重点がおかれている傾向の存在することは否めない。教職課程の法律学の一般的包括的内容を含む科目にふさわし

【「法律学、政治学」（事項数：8）】						
	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	4	8.3%	1	7.7%	3	8.6%
1	4	8.3%	1	7.7%	3	8.6%
2	6	12.5%	2	15.4%	4	11.4%
3	13	27.1%	1	7.7%	12	34.3%
4	7	14.6%	3	23.1%	4	11.4%
5	3	6.3%	1	7.7%	2	5.7%
6	6	12.5%	1	7.7%	5	14.3%
7	4	8.3%	3	23.1%	1	2.9%
8	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
	48		13		35	

い授業内容の構成が求められるべきであろう。

政治学においては、「民主政治の仕組み」「日本の議会制民主主義と政治」「国際政治」について、それらがおおむね学修できるよう多くの大学でシラバスが構成されていると判断できる。ただ、中学校社会科の公民的分野で必ず扱うことになっている「地方自治」の内容を等閑視する大学が多く見られる点は、課題があると言えよう。また一般的包括的内容を含むべき科目であるにも拘わらず、授業担当者自身が専攻する狭い研究領域の特殊な内容のみを扱っていると思われる科目も散見した。教職課程の政治学の一般的包括的内容を含む科目にふさわしい授業内容の構成が求められるべきであろう。

【「社会学、経済学」】

「社会学、経済学」の科目区分における学修すべき事項の策定にあたっては、各大学で開講されている社会学・経済学の「一般的・包括的内容を含む」科目の傾向に留意しつつ、中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章第2節社会において公民的分野の教育内容として例示されている内容及び高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章第3節公民において、「公共」や「政治・経済」等の科目の教育内容として例示されている内容を、過不足無く包括的に学修するために必要と想定される事項を立項した。

【「社会学、経済学」（事項数：8）】						
	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	3	6.3%	0	0.0%	3	8.6%
1	6	12.5%	2	15.4%	4	11.4%
2	9	18.8%	0	0.0%	9	25.7%
3	5	10.4%	2	15.4%	3	8.6%
4	10	20.8%	6	46.2%	4	11.4%
5	10	20.8%	2	15.4%	8	22.9%
6	4	8.3%	1	7.7%	3	8.6%
7	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
8	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	48		13		35	

社会学においては、「社会学の基礎理論」「現代社会の変化と諸課題」「現代社会における文化」「社会調査」を立項した。社会学の一般的包括的科目とされる授業の内容は、社会学という学問の性格を反映してか、非常に多様であり、個々の授業はそれぞれ魅力的に感じられた。しかし、学習指導要領で求められている現代社会の諸課題や文化のあり方を学ぶ必要性に鑑みれば、調査した多くの科目は内容的に社会学の一般理論や方法論ないしは研究動向を学ぶことに偏していたと言わざるを得ない。また、今後「主体的・対話的で深い学び」の実現のためには、教科指導の過程で、調査方法に触れることが求められると思われるが、社会学の一般的包括的内容を含む科目のなかで「社会調査」に触れるものが少なかったことはやはり課題となるのではないか。それも含めて、授業担当者の専門としている領域に重点がおかれている傾向の存在することは否めない。教職課程の社会学の一般的包括的内容を含む科目にふさわしい授業内容の構成が求められるべきであろう。

経済学においては、「市場経済と経済活動」「国民経済」「社会政策・社会保障」「国際経済」を立項した。授業担当者の専攻する経済学の性格を反映してか、概ね、「市場経済と経済活動」「国民経済」「国際経済」については、多くの大学で取り上げている。しかし、労働や雇

用、社会保障の問題を取り上げるべき「社会政策・社会保障」の内容を、ごく少数の大学でしか取り上げていないのは、教職課程の経済学の一般的包括的内容を含む科目としては問題があるのではないかと思われる。授業担当者自身が専攻する内容に限定されず、教職課程の経済学の一般的包括的内容を含む科目にふさわしい授業内容の構成が求められるべきであろう。

【「哲学、倫理学、宗教学」】

「哲学、倫理学、宗教学」の科目区分における学修すべき事項の策定にあたっては、各大学で開講されている哲学・倫理学・宗教学の「一般的・包括的内容を含む」科目の傾向に留意しつつ、中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章第2節社会において公民的分野の教育内容として例示されている内容及び高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章第3節公民において、「公共」や「倫理」等の科目の教育

【「哲学、倫理学、宗教学」（事項数：8）】						
	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	8	16.7%	2	15.4%	6	17.1%
1	14	29.2%	2	15.4%	12	34.3%
2	12	25.0%	3	23.1%	9	25.7%
3	3	6.3%	2	15.4%	1	2.9%
4	6	12.5%	2	15.4%	4	11.4%
5	5	10.4%	2	15.4%	3	8.6%
6	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	48		13		35	

内容として例示されているものを、大学の教職課程において過不足無く包括的に学修するために必要と想定される事項を立項した。その結果、「西洋哲学史」「東洋哲学史」「キリスト教」「イスラーム」「仏教」「日本思想史」「人間の存在や価値に関わる基本的な課題」「現代の倫理的諸課題」を立項した。

しかし、「哲学、倫理学、宗教学」においては、一般的包括的内容を含むとされる科目であっても授業担当者の専攻領域や関心に偏した授業が多く、そのため、「東洋哲学史」「イスラーム」「仏教」「日本思想史」について学修できるシラバスを用意している大学が少ないという現実を確かめることができた。

また逆に「東洋哲学史」を扱う一般的包括的内容を含む科目の場合で、「西洋哲学史」や「キリスト教」には一切触れないという授業も散見した。一方で、「哲学」や「倫理学」を冠した科目において、授業担当者の「人生観」なり「倫理観」を講述するという形の授業も少なからず確かめられている。

総じて、「哲学、倫理学、宗教学」における一般的包括的内容を含む科目は、「一般的」でもなければ「包括的」でもない現実があると言わざるを得ない。確かに哲学、倫理学、宗教学の領域においては、特定の地域の特定の思想なりが研究対象になることが一般的であって、一人の研究者が全ての地域の思想等に通暁することが難しいことは理解できる。しかしながら、教職課程における一般的包括的内容を含む科目である以上は、オムニバス形式の授業方法なども活用し、それにふさわしい授業内容の構成が求められるべきであろう。

（荒井正剛、小林聡、小嶋茂稔 記）

【社会：地理学（地誌を含む。）】

<事項No.> <事項>	1 読図	2 GIS	3 地理的スキル	4 地域	5 地域調査	6 地形	7 気候	8 自然災害	9 環境問題	10 生活文化	11 地誌の考察方法	12 世界地誌	13 日本地誌	14 資源・産業	15 第3次産業	16 交通・通信	17 人口・都市・村落	18 民族・宗教	備考	科目 毎	大学 全体
<キーワード>	地形図 主題図	コンピュータ レイヤー	地理的見方・考え 方 景観観察・読解 作図 統計調査	地域概念 地域構成 地域区分 地域構造	野外観察（フィー ルドワーク） 地域の課題	地形土壌 水文	気候 植生	防災・減災	環境保全 環境変化 地球温暖化 公害	異文化理解 地域文化	静態地誌 動態地誌 比較地誌	外国地誌 地域的バランス	諸地域	資源・エネルギー 農業地理・食料問 題 観光 工業地理 立地論	商業 観光 情報産業	結び付き 流通 貿易	人口問題 過疎・過密 スラム 都市システム	民族問題 エスニシティ 多文化社会			
事項を含む科目数	46	12	34	27	25	38	32	25	29	19	19	15	17	42	19	11	57	7			
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	34	10	22	20	18	30	23	21	21	18	17	15	16	32	17	11	37	7			
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122			
① 地理学概論	○	○	△	×	○	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×		3	3
② 地理学概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×		3	3
③ 地理学概論	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		1	1
人文地理学概論	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×		5	8
自然地理学概論	○	×	×	×	×	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		2	
（地誌学講義A） （地誌学講義B）	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	ABの一方を選択	1	
地理学概論	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×		3	7
自然環境	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		2	
地誌学概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×		2	
自然地理学概説	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		2	10
人文地理学概説	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×		5	
地誌学概説	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×		3	
地理学基礎Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×		2	5
地誌概説Ⅰ	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×		5	
地理学概論	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		5	
地誌学概論	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	△	○	×	×	×	×		1	6
地誌概論	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	△	△	×	△	×		2	
地理学概論	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×		5	
地理学概論	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×		5	8
地誌学概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	×	×	×	×	○	×		3	
地理学概説	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	×		5	
地誌学概説	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×		2	5
地理学概説	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		2	
地誌学概説Ⅰ	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		1	
⑬ 地理学概論	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○	△	△	×	×	×	×	×		7	7
地理学概論	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×		4	9
地誌学	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	△	×	×	×	×		5	
地図学	○	×	○	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		2	
1 （人文地理学概論A）	×	×	○	×	○	△	△	×	×	○	×	△	×	△	×	×	△	○		4	8
2 （自然地理学概論A）	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		3	
地誌学	○	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		4	
自然地理学概論	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×		7	12
人文地理学概論	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○		8	
地誌学概論	×	×	○	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×		4	
人文地理学概論	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×		3	8
地誌学特論	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	△	×	△	△	△	×	△	×		2	
自然地理学概論	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×		5	
5 地理学概説（地誌を含む。）	○	×	×	×	×	△	△	×	△	○	△	○	○	○	○	○	○	×		8	8
人文地理学概論	○	×	△	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○		6	9
6 自然地理学概論																			シラバスに記載なし	0	
地誌学概論	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	△	×	×	○	×		6	
7 （地理学概論A） （地理学概論B） （標準系概論）	○	×	○	○	×	△	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×		9	13
																				9	
																				×	
（人文地理学A）	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	△	×	×	※2018年度は該当科目 が無かったため2017年 度のものを記載	2	16
（人文地理学B） （人文地理学C）	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×		6	
	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×		4	
（自然地理学A）	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	※2018年度は該当科目 が無かったため2017年 度のものを記載	6	
（自然地理学B） （日本地誌A）	○	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×		6	
																				5	
（日本地誌B）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	※2018年度は該当科目 が無かったため2017年 度のものを記載	2	
（外国地誌A） （外国地誌B） （外国地誌C）	×	×	○	○	×	△	△	×	○	×	○	○	×	×	×	△	△	△	2013～×	0	
																			2013～×	5	
9 地理学概論	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		4	6
地誌学概論	×	×	△	×	×	○	×	×	×	×	○	△	○	×	△	×	○	×		4	
地域と社会	×	×	△	△	×	×	×	×	△	×	×	×	×	○	○	×	○	×		3	
10 地域と自然	×	×	×	×	×	○	△	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		3	11
日本の地誌	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×		7	
11 地誌学A	×	×	×	×	×	○	△	×	○	×	×	△	×	○	×	×	○	○	※2018年度は該当科目 が無かったため2017年 度のものを記載	5	10
地誌学B	△	×	×	○	×	△	△	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×		7	
人文地理学	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	×		2	
12 自然地理学	×	×	△	×	×	○	△	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		3	11
（地誌A） （地誌B）	×	×	○	×	×	×	×	△	×	×	△	×	○	×	×	×	○	×		2	
人間社会の地理学	△	△	×	×	○	△	△	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○		6	
比較地域論	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	△	○	○	×	×	○	×		4	7
地理学	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	×		6	
地誌学	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	○	×	×	×	○		2	
15 地誌概説 （人文地理学概説） （自然地理学概説）	×	×	×	×	△	○	×	×	○	×	×	○	△	△	×	×	×	×	地誌概論	1	9
	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×		5	
	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		4	
16 地理学概論 （地誌・自然地理を含む。）	○	×	×	○	○	△	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×		9	9

事項No. > <事項>		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	備考		
		読図	GIS	地理的スキル	地域	地域調査	地形	気候	自然災害	環境問題	生活文化	地誌の考察方法	世界地誌	日本地誌	資源・産業	第3次産業	交通・通信	人口・都市・村落	民族・宗教		科目 毎	大学 全体
		地形図 主題図	コンピュータ レイヤー	地理的見方・考え 方 景観観察・読解 作図 統計調査	地域概念 地域構成 地域区分 地域構造	野外観察（フィー ルドワーク） 地域の課題	地形 土壌 水文		防災・減災	環境保全 環境変化 地球温暖化 公害	異文化理解 地域文化	静態地誌 動態地誌 比較地誌	外国地誌 地域的バランス	諸地域	資源・エネルギー 農業地理、食料問 題 工業地理 立地論	商業 観光 情報産業	結び付き 流通 貿易	人口問題 過疎・過密 スラム 都市システム	民族問題 エスニシティ 多文化社会			
<キーワード>																						
17	地理学基礎	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	△	×	○	×	×	×	×		4	4
18	人文地理学Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		1	6
	自然地理学Ⅰ	×	×	×	×	×	×	○	△	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		3	
	地誌学Ⅰ	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	△	×	×	×	×	×		4	
19	人文地理学概論	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×		4	9
	地域環境論	×	×	×	×	×	×	×	△	○	×	×	△	×	○	×	×	×	×		3	
	地誌学	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	△	×	○	△	×	×	○	×		7	
20	地理学概論	○	○	○	×	△	○	×	×	×	○	△	×	×	△	×	×	×	×		3	7
21	（地理学概説Ⅰ（人文地理学を含む））	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×		9	12
	（地理学概説Ⅱ（自然地理学を含む））	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×		2	
	地誌学	○	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	○	△	×	×	×	×	×		5	
22	地理学概説	○	×	×	×	○	○	△	×	×	×	×	×	△	○	×	×	×	○		3	6
	地誌学	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		2	
	（自然地理学概説Ⅰ）	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		1	
23	（自然地理学概説Ⅱ）	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×		5	8
	（人文地理学概説Ⅰ）	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×		5	
	（人文地理学概説Ⅱ）	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×		3	
24	人文地理学概論（1）	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×		2	9
	人文地理学概論（2）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	△		1	
	自然地理学概論（1）	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		4	
24	自然地理学概論（2）	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		4	9
	（地誌A（1））	×	×	△	△	△	△	△	×	△	×	○	△	△	×	×	×	△	×		1	
	（地誌A（2））	×	×	△	△	○	×	×	×	×	×	△	△	△	△	△	×	×	×		1	
24	（地誌B（1））	×	×	△	×	△	○	○	×	×	△	○	×	×	×	×	×	×	×		3	9
	（地誌B（2））	×	×	△	×	△	△	△	×	×	×	△	△	△	×	×	×	×	×		1	
	地理学概説Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×		2	
25	地理学概説Ⅱ	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		2	4
26	地理学概論																			シラバスに記載なし	0	0
27	人文地理学	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	○	×	×	○	×		2	9
	自然地理学	○	×	×	×	○	△	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		4	
	地誌学	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×		5	
28	地理学概説（地誌を含む。）	○	×	△	×	○	×	×	×	×	×	△	○	×	×	×	×	×	×		4	4
29	人文地理学要説	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		2	10
	自然地理学要説	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		4	
	地誌学要説	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×	○	×		5	
30	（人文地理学）	○	×	○	△	×	△	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×		5	11
	（自然地理学）	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※2018年度は該当科目 が無かったため2017年 度のものを記載	4	
	地誌学Ⅰ	○	×	△	×	×	△	△	×	○	×	×	△	×	○	×	○	○	○		6	
31	人文地理学概説Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	IとⅡの区別なし。人 文地理学概説のみ	2	10
	人文地理学概説Ⅱ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		0	
	自然地理学概説	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		6	
	地誌Ⅰ（地誌総論）	○	×	○	×	×	○	×	△	×	×	×	×	×	○	×	×	○	△		5	
32	地誌Ⅱ（地誌総論）	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		3	6
	地理学概論（地誌を含む。）	○	×	○	○	△	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	※2018年度と2017年度 は該当科目が無かった ため2016年度のをを 記載	6	
	地理学概論（地誌を含む。）	○	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×		8	
34	自然地理学概説	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		5	13
	人文地理学概説	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×		4	
	（地誌学概説）	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	△	×	×		4	
35	（世界地誌概説）	×	×	×	○	×	△	△	×	×	△	×	△	×	×	×	×	×	×		2	11
	人文地理学概論	○	×	○	×	△	×	×	△	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×		6	
	自然地理学概論	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		3	
35	（地誌学概論A）	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		4	11
	（地誌学概論B）	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	△	×	×	○	×		3	

【社会：日本史及び外国史<「日本史」該当部分>】

<事項No.>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15														
<事項>	歴史学の基礎と方法論 (日本史編)	先史～古代の推移		日本中世の展開		日本近世の展開		日本における近代国家の形成		両世界大戦期の日本と世界			第二次世界大戦と日本		日本の現代的課題	備考													
<キーワード>	歴史学の基礎と方法論(日本史編)史学概論・時代区分論・史料論など歴史学の基礎的知識や、年表の扱い方などの基礎的技能。	1日本の古代国家形成期(8世紀頃まで)旧石器文化、縄文文化、弥生文化、倭国の形成、律令制、隋唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化		日本の古代国家の推移と社会の変化(9～11世紀頃)貴族政治の変容(摂関政治)、東アジア世界との関係の変化、荘園公領制、武士の台頭と中世社会の萌芽、文化の特色(国風文化)		中世国家の形成(11～13世紀)南北朝の動乱と室町幕府の支配機構、日明貿易など東アジア世界との関係、琉球王国の成立と蝦夷地の様子、産業経済の発展、村落・都市の自立、庶民の台頭と下剋上、地域権力の成長(戦国大名の登場)、武家文化と公家文化のかかわり、庶民文化の萌芽		日本近世国家の形成(16世紀～17世紀半ば)近世国家の形成過程、ヨーロッパ半ば)産業など諸産業、交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動き、近世の都市・村落における生活や文化(宝暦・天明の文化、化政文化)、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成		明治維新以降の我が国の近代化の推進過程開国と幕府の滅亡、明治初期の諸改革と外交、欧米の文化・思想の影響、文明開化、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定と立憲体制の成立、条約改正、日清・日露戦争とその前後の国際関係、韓国併合		近代産業の発展と近代文化、産業革命の推移、国民生活の向上、社会問題の発生、学問の発展、教育制度の拡充、明治期の文化		第一次世界大戦と日本の経済・社会 第一次世界大戦と日本の参戦、ヴェルサイユ体制と民族自決、朝鮮三一運動、中国との関係(二十一箇条要求など)、協調外交、二つの軍縮条約		政党政治の発展と大衆社会の形成 大正デモクラシー(政党政治、普通選挙)、社会運動の発展(労働争議、小作争議、女性解放運動など)、都市の発達、農山漁村の変化、文化の大衆化		第二次世界大戦と日本 世界恐慌とドイツなどのファシズム、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係(満洲事変、国際連盟脱退など)、軍部の台頭と戦時体制の強化、日中戦争、アジア太平洋戦争、国民生活の破壊		戦後日本の政治と対外関係 占領政策と民主化改革(財閥解体・農地改革など)、新憲法の成立、講和条約と独立、冷戦と朝鮮戦争、警察予備隊(逆コース)、55年体制		日本経済の発展 戦後の経済復興、高度経済成長と経済大国化、公害問題、都市化と過疎化、沖縄返還、石油ショック		冷戦の終結、バブル経済とその崩壊、科学技術と環境問題、情報化(IT化)、経済のグローバル化、外国人労働者、東日本大震災と原発事故、ナショナリズムと民主主義、持続可能な発展					
事項を含む科目数	57	30		30		29		29		33		28		35		23		20		14		21		17		16		10	
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	45	29		29		29		28		30		27		31		23		20		14		21		17		16		10	
一般的包括的内容を含む科目(と思われる科目)数 ※シラバスなし科目を除く	57	57		57		57		57		57		57		57		57		57		57		57		57		57		56	
① 日本史概説	○	×		×		×		×		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	9
③ 外国史概論																													0
④ 日本史概論	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	15
⑤ 外国史概論																													0
⑥ 日本史概論	○	×		×		×		×		×		○		○		○		○		○		○		○		○		○	9
⑦ 西洋史概論																													0
⑧ 日本史研究A	○	×		×		○		○		○		△		△		△		△		△		△		△		△		×	5
⑨ 日本史研究B	○	×		×		×		×		×		○		○		○		○		○		○		×		×		×	6
⑩ 世界史研究入門																													0
⑪ 日本史概説Ⅰ	○	○		○		○		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×	5
⑫ 外国史概説Ⅰ																													0
⑬ 日本史概論	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		×		×		×	8
⑭ 外国史概論																													0
⑮ 日本史概説Ⅰ	○	×		×		×		×		×		○		○		○		○		○		○		×		○		○	9
⑯ 日本史概説Ⅱ	○	×		×		×		○		○		×		×		×		×		×		×		×		×		×	4
⑰ 世界史概説Ⅰ																													0
⑱ 世界史概説Ⅱ																													0
⑲ 日本史概説Ⅰ	○	○		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×	2
⑳ 日本史概説Ⅱ	○	×		×		×		○		○		×		×		×		×		×		×		×		×		×	4
㉑ 西洋史概説																													0
㉒ 東洋史概説																													0
㉓ 日本史概説	○	○		○		○		○		○		△		○		×		×		×		×		×		×		×	8
㉔ 外国史概説																													0
㉕ 日本史概説	○	△		△		△		△		△		△		△		△		△		△		△		△		△		△	1
㉖ 外国史概論																													0
㉗ 歴史学概論	○	△		△		△		△		△		△		△		△		△		△		△		△		△		△	1
1 東洋史(休講)	○	○		○		○		○		△		×		×		×		×		×		○		△		△		△	8
2 西洋史																													0
3 日本史概説A	○	×		○		○		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×	3
4 (西洋史概論)																													0
5 (東洋史概論)																													0
6 日本史概論	○	○		○		○		○		○		△		○		×		○		○		○		○		△		△	13
7 東洋史概論																													0
8 西洋史概論																													0
9 日本史概論	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		△		△		○	13
10 東アジア史概論																													0
11 ヨーロッパ史概論																													0
12 日本史概説	○	○		○		○		○		○		×		○		×		×		×		×		×		×		×	7
13 外国史概説																													0
14 日本史概説Ⅰ	○	○		○		○		○		○		×		×		×		×		×		×		×		×		×	6
15 日本史概説Ⅱ	○	×		×		×		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	10
16 西洋史概説Ⅰ																													0
17 西洋史概説Ⅱ																													0
18 東洋史概論																													0
19 (日本史概説A)	○	○		○		△		○		△		○		△		○		○		○		○		○		○		×	10
20 (日本史概説B)	○	○		○		○		○		○		△		○		△		△		△		△		△		△		○	10
21 (外国史概説A)																													0
22 (外国史概説B)																													0
23 (日本史概説A)	○	○		△		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×	2
24 (西洋史概説A)	○	△		○		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×	3
25 (東洋史概説A)																													0
26 (東洋史概説B)																													0
27 日本史学概論	○	○		○		○		○		○		×		○		×		×		×		×		×		×		×	8
28 外国史概論																													0
29 日本の歴史	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		△		○		○		○		×	13
30 世界の歴史																													0
31 日本史概説Ⅰ																													0
32 日本史概説Ⅱ	○	×		×		×		×		×		○		○		○		○		○		○		○		○		×	8
33 世界史概説Ⅰ																													0
34 世界史概説Ⅱ																													0
																													0

科目
毎

大学
全体

事項No. >		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15				
<事項>		歴史学の基礎と方法論 (日本史篇)	先史～古代の推移		日本中世の展開		日本近世の展開		日本における近代国家の形成		両世界大戦期の日本と世界			第二次世界大戦と日本		日本の現代的課題	備考			
<キーワード>		歴史学の基礎と方法論(日本史篇) 史学概論・時代区分・史料論など歴史学の基礎的知識や、年表の扱い方などの基礎的技術。	1 日本古代国家形成期(8世紀頃まで) 旧石器文化、縄文文化、弥生文化、倭国の形成、律令制、隋唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化	日本の古代国家の推移と社会の変化(9～11世紀頃) 貴族政治の変容(摂関政治)、東アジア世界との関係の変化、荘園公領制、武士の台頭と中世社会の萌芽、文化の特色(国風文化)	中世国家の形成(11～13世紀) 中世国家の形成過程(院政・鎌倉幕府・執権政治)と中世社会の仕組み、武士の土地支配、宋やモンゴル帝国(元)など周辺諸国との関係、仏教の動向、文化の特色	中世社会の展開(14～16世紀) 南北朝の動乱と室町幕府の支配機構、日明貿易など東アジア世界との関係、琉球王国の成立と蝦夷地の様子、産業経済の発展、村落・都市の自立、庶民の台頭と下剋上、地域権力の成長(戦国大名の登場)、武家文化と公家文化のかかわり、庶民文化の萌芽	日本近世国家の形成(16世紀～17世紀半ば) 近世国家の形成過程、ヨーロッパ世界との接触、アジア各地域との関係(四つの口)、織豊政権とその性格、幕藩体制下の政治、村落における生活や文化(宝暦・天明の文化、化政文化)、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成	産業経済の発展と幕藩体制の変容(18世紀～19世紀半ば) 農業など諸産業、交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動き、近世の都市・村落における生活や文化(宝暦・天明の文化、化政文化)、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成	明治維新以降の我が国の近代化の推進過程 開国と幕府の滅亡、明治初期の諸改革と外交、欧米の文化・思想の影響、文明開化、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定と立憲体制の成立、条約改正、日清・日露戦争とその前後の国際関係、韓国併合文化～元禄文化)	近代産業の発展と近代文化、産業革命の推移、国民生活の向上、社会問題の発生、学問の発展、教育制度の拡充、明治期の文化	第一次世界大戦と日本の経済・社会、第一次世界大戦と日本の参戦、ヴェルサイユ体制と民族自決、朝鮮三一運動、中国との関係(二十一条要求など)、協調外交、二つの軍縮条約	政党政治の発展と大衆社会の形成、大正デモクラシー(政党政治、普通選挙)、社会運動の発展(労働争議、小作争議、女性解放運動など)、都市の発達、農山漁村の変化、文化の大衆化	第二次世界大戦と日本、世界恐慌とドイツなどのファシズム、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係(満洲事変、国際連盟脱退など)、軍部の台頭と戦時体制の確立、日中戦争、アジア太平洋戦争、国民生活の破壊	戦後日本の政治と対外関係、占領政策と民主化改革(財閥解体・農地改革など)、新憲法の成立、講和条約と独立、冷戦と朝鮮戦争、警察予備隊(逆コース)、55年体制	日本経済の発展、戦後の経済復興、高度経済成長と経済大国化、公害問題、都市化と過疎化、沖縄返還、石油ショック	冷戦の終結、バブル経済とその崩壊、科学技術と環境問題、情報化(IT化)、経済のグローバル化、外国人労働者、東日本大震災と原発事故、ナショナリズムと民主主義、持続可能な発展		科目毎	大学全体	
12	日本史 外国史A 外国史B	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	△	×	×	×	×		4 0 0	4	
13	日本社会史概論 世界システム概論 東洋史概論	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	×		11 0 0	11	
14	日本史 ヨーロッパ圏理解A 東洋史	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		3 0 0	3	
15	日本史概説 (東洋史概説) (西洋史概説)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×		9 0 0	9	
16	日本史概説 外国史概説	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		3 0 0	3	
17	歴史学基礎	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×		1 0 0	1	
18	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 西洋史Ⅰ	○ ○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	○ △	△ △	×	×	○ ○	×	×	×		8 8 0	13	
19	日本史概論Ⅰ 外国史概論Ⅰ	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		9 0 0	9	
20	外国史概論 (日本史概論) (日本史概論)	○ ○	×	×	×	×	×	○ ×	×	×	×	×	×	×	×	×		2 2 0	2	
21	(日本史概論Ⅰ) (日本史概論Ⅱ) (地域からの日本史) (外国史概論)	○ ○ ○	×	×	○ ×	○ ×	○ ×	○ △ ×	×	×	×	×	×	×	×	×	なし	4 0 3 0	6	
22	日本史概説 世界史A 世界史B	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×		4 0 0	4	
23	(日本史概説Ⅰ) (日本史概説Ⅱ) (東洋史概説Ⅰ) (東洋史概説Ⅱ) (西洋史概説Ⅰ) (西洋史概説Ⅱ)	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	×	×	×	×	○ ○	×	×	×	8 9 0 0 0 0	15	
24	日本史概論(1) 日本史概論(2) 世界史概論(1) 世界史概論(2)	○ ○ ○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	×	×	×	○	×	×	○ ○	×	○	×		5 10 0 0	14	
25	日本史概説 世界史概説	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		3 0 0	3	
26	日本史Ⅰ 外国史Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×		9 0 0	9	
27	東洋史学 西洋史学																	0 0	0	
28	日本史Ⅰ (外国史Ⅰ) (外国史Ⅳ)	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		6 0 0	6	
29	日本史要説 西洋史要説 東洋史要説	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	15 0 0	15	
30	日本史Ⅰ 外国史Ⅰ	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×		7 0 0	7	
31	日本史概説Ⅰ 日本史概説Ⅱ 日本史概説 世界史概説Ⅰ 世界史概説Ⅱ	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		なし。文学部にあり なし。文学部にあり	0 0 14 0 0	14
32	日本史概説 世界史概説	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	×	○	○	×	×	なし	11 0 0	11	
33	日本史概論 外国史概論	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		7 0 0	7	
34	日本古代・中世史概説 日本近世・近代史概説 外国史概説	○ ○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		4 4 0	7	
35	日本史概論 (外国史概論A) (外国史概論B)	○ ○ ○	○ ○	×	○	○	○	○	○	△	○	△	○	×	×	×		9 0 0	9	

【社会：日本史及び外国史＜「外国史」該当部分＞】

＜事項No.＞1～東洋史、17～西洋史	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	科目毎 （東洋史部分のみ）	大学全体 （東洋史部分のみ）
＜事項＞	歴史学の基礎と方法論 （東洋史篇）	諸地域世界の形成				諸地域世界の交流と再編			諸地域世界の統合 （16世紀～18世紀）	諸地域世界の変容 （18世紀後半～19世紀半 ば）	近代（19世紀末～20世紀前半）の世界	戦後の世界		現代の地球的課題				
＜キーワード＞	史学概論・時代区分論・史料論など歴史学の基礎的知識や、年表の扱いなどの基礎的技能。	世界史における自然環境と生活・文化との関連、農耕・牧畜の意義	西アジアと地中海世界の古代文明 古代オリエント文明、古代イラン王朝、ユダヤ民族とユダヤ教、キリスト教の成立	南アジアの古代文明と東南アジア世界の形成 インダス文明、アーリア人の侵入以後の南アジアの文化・社会・国家の発展（ヴェーダ、カースト制など）、仏教・ヒンドゥー教の成立 東南アジアの国家形成（14世紀頃までの諸国）	東アジアの古代文明の成立 中国文明の起源（黄河流域と長江流域）、諸王朝、秦漢帝国の統治体制、儒教の官学化、同時期の朝鮮半島や日本列島における国作り	東アジア世界の変容と中央ユーラシア世界の形成 魏晉南北朝～隋唐時代の中国とその統治体制、仏教の伝播、中国王朝と周辺諸地域の（朝鮮半島や日本列島の諸国など）との関係、シルクロード、遊牧国家（匈奴、突厥など）とオアシス国家	唐宋変革と東アジア諸地域の自立 唐から宋にかけての中国社会の変化（唐宋変革）、宋朝と周辺民族との関係、モンゴル帝国によるユーラシアの一体化	イスラーム世界の形成と拡大の過程 イスラームの成立、イスラーム帝国の発展（ウマイヤ朝・アッバース朝など）、チュルク系民族の活動 アフリカ（ガーナ・マリ・ソンガイなどの諸国）や南アジア諸地域（デリー＝スルタン朝など）のイスラーム化	アジア諸地域の繁栄 西アジア（ティムール帝国、オスマン帝国・サファヴィー朝など）のイスラーム国家の動向 南アジア（ムガル帝国と南インドなどの諸王国）の動向 東南アジア海域の動向と貿易の興隆（マラッカ王国など） 明朝の支配体制、明朝をめぐる貿易（海禁と朝貢貿易）、明末清初における社会・経済の変化、清朝の成立、明・清王朝と東アジア諸地域（日本・朝鮮王朝、モンゴル、チベットなど）との関係	アジア諸国の植民地化と変容 ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン帝国やムガル帝国などアジア諸国の植民地化と変容（カンジマート、インド大反乱。） 英・印・清間の三角貿易、清朝の衰退（アヘン戦争、アロー戦争、不平等条約など）	19世紀末から20世紀初頭までの世界の動向と社会の特質 帝国主義諸国による植民地争奪戦、アジア各国の民族運動と改革（マフディーの乱、インド民族会議の運動など）、パン＝イスラーム主義、節制的な移民の増加、アジアの工業化とアジア間貿易の発展 清朝の改革（洋務運動・戊戌の变法）、列強による中国分割、日本の開国・近代化と朝鮮の植民地化、日清・日露戦争	20世紀前半の世界の動向と社会の特質 インド、イラン、トルコ、東南アジアなどアジア諸地域の改革・独立運動（ガンディー、レザー＝ハーン、トルコ革命など） 中国の辛亥革命、五・四運動、国民革命、国共内戦、日中15年戦争、朝鮮の独立運動（三・一運動など）、アジア太平洋戦争	第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向 国際連合の成立と冷戦、アジア諸国の独立と課題、ヴェトナム戦争、中東戦争、東南アジアの地域連携（ASEAN） 第二次国共内戦、中華人民共和国の成立、冷戦の展開と朝鮮戦争	1970年代以降の世界の動向 イスラーム復興運動とイスラーム＝イスラーム革命、冷戦の終結と地域紛争の顕発（パレスティナ問題、インドの宗教紛争など）、イスラーム原教主義、中国の文化大革命とその後の推移、東アジアなど（NIESと中国）の経済成長	経済のグローバル化と格差の是正 市場経済のグローバル化、南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア諸国の経済成長と南南問題、持続可能な発展	科学技術の高度化と知識基盤社会 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及		
事項を含む科目数	29	4	5	3	14	14	15	6	17	16	17	15	10	9	9	0		
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	26	4	5	3	14	14	15	6	17	16	17	13	10	9	9	0		
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く	46	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49		
① 日本史概説																	8	0
③ 外国史概論	○	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	1	1
④ 日本史概論																	8	
④ 外国史概論	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	9	9
⑤ 日本史概論																	8	
⑤ 西洋史概論																	0	0
⑥ 日本史研究A																	8	
⑥ 日本史研究B																	8	
⑥ 世界史研究入門	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	1	1
⑦ 日本史概説Ⅰ																	8	
⑦ 外国史概説Ⅰ	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	△	×	×	×	×	7	7
⑧ 日本史概論																	8	
⑧ 外国史概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0
⑨ 日本史概説Ⅰ																	8	
⑨ 日本史概説Ⅱ																	8	
⑨ 世界史概説Ⅰ	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	3	3
⑨ 世界史概説Ⅱ記述なし																	0	
⑩ 日本史概説Ⅰ																	8	
⑩ 日本史概説Ⅱ																	8	
⑩ 西洋史概説																	8	4
⑩ 東洋史概説	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	4	
⑩ 日本史概説																	8	
⑪ 外国史概説	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0
⑪ 日本史概説																	8	
⑪ 外国史概論		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0
⑬ 歴史学概論		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0
⑬ 日本史																	8	
1 東洋史（休講）																	0	0
1 西洋史（シラバスに内容記載なし）																	0	0
2 日本史概説A																	8	
2 西洋史概論（西洋史概説）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	0	3
3 日本史概論																	8	
3 東洋史概論	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	11	11
3 西洋史概論																	0	
4 日本史概論																	8	
4 東アジア史概論（なし）																	0	0
4 ヨーロッパ史概論																	0	
5 日本史概説		×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2	2
5 外国史概説																	8	
6 日本史概論Ⅰ																	8	
6 日本史概論Ⅱ																	8	
6 西洋史概論Ⅰ																	0	9
6 西洋史概論Ⅱ（休講）																	0	
6 東洋史概論	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	×	9	
7 （日本史概説A）																	8	
7 （日本史概説B）																	8	
7 （外国史概説A）	○	×	×	×	△	△	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	6	6
7 （外国史概説B）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	
8 （日本史概説A）																	8	
8 （日本史概説B）																	8	
8 （西洋史概説A）																	0	8
8 （東洋史概説A）																	5	
8 （東洋史概説B）	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	5	
9 日本史字概論																	8	
9 外国史概論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	11	11
10 日本史																	8	
10 世界の歴史	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0
11 日本史概論Ⅰ（今年休講）																	8	
11 日本史概論Ⅱ																	8	
11 世界史概論Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0
11 世界史概論Ⅱ（今年休講）																	0	
12 日本史																	8	
12 外国史A	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	7	7
12 外国史B	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	
13 日本社会史概論																	8	
13 世界システム概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0
13 東洋史概論（なし）																	0	
14 日本史																	8	
14 ヨーロッパ圏理解A																	0	3
14 東洋史	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3	
15 日本史概説																	8	
15 （東洋史概説）	○	×	×	×	○	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3	3
15 （西洋史概説）																	0	
16 日本史概説																	8	
16 外国史概説	○	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	5	5
17 歴史学基礎	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×	1	1

<事項No.>1～東洋史、17～西洋史		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	科目毎 東洋史部分のみ	大学全体 (東洋史部分のみ)
<事項>		歴史学の基礎と方法論 (東洋史篇)	諸地域世界の形成				諸地域世界の交流と再編				諸地域世界の結合 (16世紀～18世紀)	諸地域世界の寛容 (16世紀後半～19世紀半 ば)	近代(19世紀末～20世紀前半)の世界		戦後の世界		現代の地球課題		
<キーワード>		史学概論・時代区分論・史料論など歴史学の基礎的知識や、年表の扱い方などの基礎的技能。	世界史における自然環境と生活・文化との関連、農耕・牧畜の意義	西アジアと地中海世界の古代文明 古代オリエント文明、古代イラン王朝、ユダヤ民族とユダヤ教、キリスト教の成立	南アジアの古代文明と東南アジア世界の形成 インダス文明、アーリア人の進入以後の南アジアの文化・社会・国家の発展(ヴェーダ、カースト制など)、仏教・ヒンドゥー教の成立 東南アジアの国家形成(14世紀頃までの諸国)	東アジアの古代文明の成立 中国文明の起源(黄河流域と長江流域)、諸子百家、秦漢帝国の統治体制、仏教の伝播、中国王朝と周辺諸地域(朝鮮半島や日本列島の諸国など)との関係、シルクロード、遊牧国家(匈奴、突厥など)とオアシス国家	東アジア世界の寛容と中央ユーラシア世界の形成 魏晉南北朝～隋唐時代の中国とその統治体制、仏教の伝播、中国王朝と周辺諸地域(朝鮮半島や日本列島の諸国など)との関係、シルクロード、遊牧国家(匈奴、突厥など)とオアシス国家	唐宋変革と東アジア諸地域の自立 唐から宋にかけての中国社会の変化(唐宋変革)、宋朝と周辺民族との関係、モンゴル帝国によるユーラシアの一体化	イスラム世界の形成と拡大の過程 イスラムの成立、イスラム帝国の発展(ウмая朝・アッバース朝など)、チュルク系民族の活動 アフリカ(ガーナ・マリ・ソンガイなどの諸国)や南アジア諸地域(デリー・スルタン朝など)のイスラム化	アジア諸地域の寛容 西アジア(ティムール帝国、オスマン帝国・サファヴィー朝など)のイスラム国家の動向 南アジア(ムガル帝国と南インドなどの諸王国の動向) 東南アジア海域の動向と貿易の興隆(マラッカ王国など)	アジア諸国の植民地化と変容 ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン帝国やムガル帝国などアジア諸国の植民地化と変容(ランジマート、インド大反乱、)英・印・清間の三角貿易、清朝の衰退(アヘン戦争、アロー戦争、不平等条約など)	19世紀末から20世紀初頭までの世界の動向と社会の特質 帝国主義諸国による植民地争奪戦、アジア各国の民族運動と改革(マフディーの乱、インド国民会議派の運動など)、パン・イスラム主義、国際的な移民の増加、アジアの工業化とアジア間貿易の発展 清朝の改革(洋務運動・戊戌の変法)、列強による中国分割、日本の開国・近代化と朝鮮の植民地化、日清・日露戦争	20世紀前半の世界の動向と社会の特質 インド、イラン、トルコ、東南アジアなどアジア諸地域の改革・独立運動(ガンディー、レザー・ハーン、トルコ革命など) 中国の辛亥革命、五・四運動、国民革命、国共内戦、日中15年戦争、朝鮮の独立運動(三・一運動など)、アジア太平洋戦争	第二次世界大戦後から1990年代までの世界の動向 国際連合の成立と冷戦、アジア諸国の独立と課題、ヴェトナム戦争、中東戦争、東南アジアの地域連携(ASEAN) 第二次国共内戦、中華人民共和国の成立、冷戦の展開と朝鮮戦争	1970年代以降の世界の動向 イスラム復興運動とイスラームイスラム革命、冷戦の終結と地域紛争の顕在化(パレスチナ問題、インドの宗教紛争など)、イスラーム原理主義 中国の文化大革命とその後の推移、東アジアなど(NIESと中国)の経済成長	経済のグローバル化と格差の是正 市場経済のグローバル化、南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア諸国の経済成長と南南問題、持続可能な発展	科学技術の高度化と知識基盤社会 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及	0	0
18	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 西洋史Ⅰ																	0 0 0	0
19	日本史概論Ⅰ 外国史概論Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0 0	0
20	外国史概論 (日本史概論)	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	9 9	9
21	(日本史概論Ⅰ)(なし) (日本史概論Ⅱ) (地域からの日本史) (外国史概論) (外国史概論)																	0 0 0 0 0	11
22	日本史概説 世界史A 世界史B	○ ○	×	×	×	×	×	×	×	△ ○	○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	6 3	8
23	(日本史概説Ⅰ) (日本史概説Ⅱ) (東洋史概説Ⅰ) (東洋史概説Ⅱ) (西洋史概説Ⅰ) (西洋史概説Ⅱ)	○ ○	×	×	×	×	×	×	×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	×	×	×	5 5 0 0	8
24	日本史概論(1) 日本史概論(2) 世界史概論(1) 世界史概論(2)																	0 0 0 0	0
25	日本史概説 世界史概説	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0 0	0
26	日本史Ⅰ 外国史Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0 0	0
27	東洋史学 西洋史学	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	5 0	5
28	日本史Ⅰ (外国史Ⅰ) (外国史Ⅳ)(なし)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0 0 0	0
29	日本史要説 西洋史要説 東洋史要説																	0 0 14	14
30	日本史Ⅰ 外国史Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0 0	0
31	日本史概説Ⅰ(なし)(文学部にあり) 日本史概説Ⅱ(なし)(文学部にあり) 日本史概説 世界史概説Ⅰ 世界史概説Ⅱ(なし)																	0 0 0 0 11 0	11
32	日本史概説 世界史概説	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	0 10	10
33	日本史概論 外国史概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0 0	0
34	日本古代・中世史概説 日本近世・近代史概説 外国史概説																	0 0 0	0
35	日本史概論 (外国史概論A) (外国史概論B)	○ ×	○ ×	×	×	○ ×	○ ×	○ ×	×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	×	×	×	×	8 0	8

【社会：日本史及び外国史＜「外国史」該当部】

＜事項No.＞1～東洋史、17～西洋史	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
＜事項＞	歴史学の基礎と方法論 （西洋史篇）	諸地域世界の形成		諸地域世界の交流と再編	諸地域世界の結合 （16世紀～18世紀）	諸地域世界の変容 （18世紀後半～19世紀半ば）	近代（19世紀末～20世紀前半）の世界		戦後の世界		現代の地球的課題					
＜キーワード＞	史学概論・時代区分論・史料論 など歴史学の基礎的知識や、年表の扱い方などの基礎的技能	世界史における自然環境と生活・文化との関連、農耕・牧畜の意義	西アジア世界と地中海世界の古代文明 オリエント文明、古代イラン文明、ユダヤ民族とユダヤ教 地中海文明（ギリシア・ローマ文明など）、キリスト教の成立	ヨーロッパ世界の形成と展開の過程 フランク王国、西ヨーロッパの封建社会の成立と衰退、ローマ・カトリック教会と教皇権、イスラームの成立・拡大とヨーロッパへの影響 ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向	ヨーロッパの拡大と大西洋世界ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立（イギリスの立憲君主制、啓蒙専制君主）、アメリカ・アフリカ・アジアへの進出（大航海時代）、大西洋世界の形成（三角貿易）、科学革命と啓蒙思想 アメリカ大陸の諸文明（マヤ・アステカ・インカなどの諸文明）と植民地化	産業社会と国民国家の形成 イギリスなどの産業革命、フランス革命とナポレオン、アメリカ独立戦争、イギリスの自由主義改革と自由貿易体制、ウィーン体制、1848年革命、国民国家の形成（ドイツ・イタリアなど）、ロシアの拡大と改革、アメリカ合衆国の拡大と南北戦争、世界市場の形成と国際的分業、労働力の移動	19世紀末から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質 第二次産業革命、世界の一体化、国際的な移民の増加、反ユダヤ主義、科学技術の発達、企業や国家の巨大化、帝国主義諸国の抗争（南アフリカ戦争、ファシオタ事件、モロッコ事件、アフリカや太平洋分割など）、バルカン半島の危機、三国同盟と三国協商	20世紀前半の世界の動向と社会の特質 第一次世界大戦（総力戦）、ロシア革命とソヴェト連邦の成立、ヴェルサイユ＝ワシントン体制、民族自決、大衆社会の出現、ファシズム、世界恐慌とブロック経済、スペイン内戦、第二次世界大戦	第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向 国際連合の成立、米ソ両陣営による冷戦の展開、集団安全保障、戦後の復興と経済発展、西ヨーロッパの地域連携、平和共存と多極化の進展 アフリカ諸国の独立	1970年代以降の世界の動向 冷戦の終結とソヴェト連邦の解体、地域紛争（ユーゴスラヴィア内戦など）の頻発、EUの発足	経済のグローバル化と格差の是正 市場経済のグローバル化、先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動向、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、ラテンアメリカ諸国の経済成長、持続可能な発展	科学技術の高度化と知識基盤社会 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及	科目毎 （西洋史部分のみ）	大学全体 （西洋史部分のみ）	科目毎 （外国史全体）	大学全体 （外国史全体）
事項を含む科目数	42	3	19	26	28	29	24	19	16	17	11	2				
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	40	3	19	26	28	27	23	19	16	17	11	2				
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53				
① 日本史概説													0	0	0	0
③ 外国史概論	○	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	1	1	2	2
④ 日本史概論													0	0	0	
④ 外国史概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	9	9
⑤ 日本史概論													0	0	0	
⑤ 西洋史概論	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	8	8	8	8
⑥ 日本史研究A													0	0	0	
⑥ 日本史研究B													0	1	0	
⑥ 世界史研究入門	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	1	2	0	
⑦ 日本史概説Ⅰ													0	0	0	
⑦ 外国史概説Ⅰ	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	5	5	12	12
⑧ 日本史概論													0	0	0	
⑧ 外国史概論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	11	11	11	11
⑨ 日本史概説Ⅰ													0	0	0	
⑨ 日本史概説Ⅱ													0	0	0	
⑨ 世界史概説Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	3	3
⑨ 世界史概説Ⅱ 記述なし													0	0	0	
⑩ 日本史概説Ⅰ													0	0	0	
⑩ 日本史概説Ⅱ													0	5	0	
⑩ 西洋史概説	○	×	×	×	△	△	○	○	○	○	×	×	5	5	5	
⑩ 東洋史概説													0	4	0	
⑩ 日本史概説													0	0	0	
⑪ 外国史概説	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	9	9	9	9
⑪ 日本史概説													0	4	0	
⑪ 外国史概論	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	4	4	4	4
⑬ 歴史学概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0	0
日本史													0	0	0	
1 東洋史（休講）													0	0	0	
西洋史（シラバスに内容記載なし）													0	0	0	
日本史概説A													0	0	0	
2 （西洋史概論） （東洋史概論）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	11	11	14
日本史概論													0	0	3	
3 東洋史概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	2	11	13
西洋史概論	○	×	×	○	△	×	×	×	×	×	×	×	2	2	0	
日本史母論													0	0	0	
4 東アジア史概論（なし）													0	5	0	5
ヨーロッパ史概論	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	5	5	5	
5 日本史概説													0	10	0	
外国史概説	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	10	12	0	
日本史概論Ⅰ													0	0	0	
日本史概論Ⅱ													0	0	0	
6 西洋史概論Ⅰ	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	3	3	3	12
西洋史概論Ⅱ（休講）													0	0	0	
東洋史概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	9	0	
（日本史概説A） （日本史概説B）													0	0	0	
7 （外国史概説A） （外国史概説B）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	3	6	9
（外国史概説B）	○	×	×	○	○	△	×	×	×	×	×	×	3	3	3	
（日本史概説A） （日本史概説B）													0	0	0	
8 （西洋史概説A） （東洋史概説A） （東洋史概説B）	○	×	△	△	○	○	○	×	×	×	○	×	5	5	5	13
日本史字概論													0	0	5	
9 外国史概論													0	0	5	
10 日本の歴史													0	11	0	
世界の歴史	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	5	5	5	5
日本史概論Ⅰ（今年休講）													0	0	0	
11 日本史概論Ⅱ													0	9	0	
世界史概論Ⅰ	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	9	9	9	9
世界史概論Ⅱ（今年休講）													0	0	0	
日本史													0	0	0	
12 外国史A	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	4	7	11
外国史B	○	×	×		○	○	×	×	×	×	×	×	4	4	4	
日本社会史概論													0	0	0	
13 世界システム概論	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	9	9	9	9
東洋史概論（なし）													0	0	0	
日本史													0	0	0	
14 ヨーロッパ圏理解A	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	3	3	3	6
東洋史													0	0	0	
日本史概説													0	0	0	
（東洋史概説） （西洋史概説）	○	○	△	×	○	○	○	×	×	○	○	×	7	7	3	10
日本史概説													0	0	0	
16 外国史概説	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	4	4	9	9
17 歴史学基礎	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×	1	1	2	2

事項No. >1～東洋史、17～西洋史		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
<事項>		歴史学の基礎と方法論 (西洋史篇)	諸地域世界の形成		諸地域世界の交流と再編	諸地域世界の結合 (16世紀～18世紀)	諸地域世界の変容 (18世紀後半～19世紀半ば)	近代(19世紀末～20世紀前半)の世界		戦後の世界		現代の地球的課題					
		史学概論・時代区分論・史料論 など歴史学の基礎的知識や、年 表の扱い方などの基礎的技能	世界史における自然環境と生 活・文化との関連、農耕・牧畜 の意義	西アジア世界と地中海世界の古 代文明 オリエント文明、古代イラン王 朝、ユダヤ民族とユダヤ教 地中海文明(ギリシア・ローマ文 明など)、キリスト教の成立	ヨーロッパ世界の形 成と展開の過程 フランク王国、西ヨーロッパの 封建社会の成立と衰退、ローマ カトリック教会と教皇権、イス ラームの成立・拡大とヨーロッ パへの影響 ビザンツ帝国と東ヨーロッパの 動向	ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国 家体制の成立(イギリスの立憲君 主制、啓蒙専制君主)、アメリ カ・アフリカ・アジアへの進出 (大航海時代)、大西洋世界の形 成(三角貿易)、科学革命と啓蒙 思想 アメリカ大陸の諸文明(マヤ・ア ステカ・インカなどの諸文明)と 植民地化	産業社会と国民国家の形成 イギリスなどの産業革命、フラ ンス革命とナポレオン、アメリ カ独立戦争、イギリスの自由主 義改革と自由貿易体制、ワイー ン体制、1848年革命、国民国家 の形成(ドイツ・イタリアな ど)、ロシアの拡大と改革、アメ リカ合衆国の拡大と南北戦争、 ラテンアメリカ諸国の独立、世 界市場の形成と国際的分業、労 働力の移動	19世紀末から20世紀初期までの 世界の動向と社会の特質 第二次産業革命、世界の一体 化、国際的な移民の増加、反ユ ダヤ主義、科学技術の発達、企 業や国家の巨大化、帝国主義諸 国の抗争(南アフリカ戦争、ファ シヨダ事件、モロッコ事件、ア フリカや太平洋分割など)、バル カン半島の危機、三国同盟と三 国協商	20世紀前半の世界の動向と社会 の特質 第一次世界大戦(総力戦)、ロシ ア革命とソヴィエト連邦の成 立、ヴェルサイユ=ワシントン体 制、民族自決、大衆社会の出 現、ファシズム、世界恐慌とブ ロック経済、スペイン内戦、第 二次世界大戦	第二次世界大戦後から1960年代 までの世界の動向 国際連合の成立、米ソ両陣営に よる冷戦の展開、集団安全保 障、戦後の復興と経済発展、西 ヨーロッパの地域連携、平和共 存と多様化の進展 アフリカ諸国の独立	1970年代以降の世界の動向 冷戦の終結とソヴィエト連邦の 解体、地域紛争(ユーゴスラヴィ ア内戦など)の頻発、EUの発足	経済のグローバル化と格差の是 正 市場経済のグローバル化、先進 国の経済成長と南北問題、アメ リカ合衆国の覇権の動揺、資源 ナショナリズムの動きと産業構 造の転換、ラテンアメリカ諸国 の経済成長、持続可能な発展	科学技術の高度化と知識基盤社 会 原子力の利用や宇宙探査などの 科学技術、医療技術・バイオテ クノロジーと生命倫理、人工知 能と労働の在り方の変容、情報 通信技術の発達と知識の普及	科目毎 (西洋史 部分のみ)	大学全体 (西洋史 部分のみ)	科目毎 (外国史 全体)	大学全体 (外国史 全体)
<キーワード>																	
18	日本史Ⅰ													0	4	0	4
	日本史Ⅱ													0		0	
19	西洋史Ⅰ	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	4	6	4	6
	日本史概論Ⅰ													0		0	
20	外国史概論Ⅰ	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	6	0	6	9
	外国史概論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0		9	
21	(日本史概論)													0	7	0	18
	(日本史概論Ⅰ)(なし)													0		0	
22	(日本史概論Ⅱ)													0	5	0	13
	(地域からの日本史)													0		0	
23	(外国史概論)	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	7	8	7	16
	(外国史概論)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0		11	
24	日本史概説													0	10	0	10
	世界史A	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0		6	
25	世界史B	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	5	7	8	7
	(日本史概説Ⅰ)													0		0	
26	(日本史概説Ⅱ)													0	5	0	22
	(東洋史概説Ⅰ)													0		0	
27	(東洋史概説Ⅱ)													0	4	5	9
	(西洋史概説Ⅰ)	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	4		4	
28	(西洋史概説Ⅱ)	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	7	10	7	10
	日本史概論(1)													0		0	
29	日本史概論(2)													0	7	0	7
	世界史概論(1)	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	5		5	
30	世界史概論(2)	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	7	5	7	5
	日本史概説													0		0	
31	世界史概説	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	7	6	7	6
	日本史Ⅰ													0		0	
32	外国史Ⅰ	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	5	4	5	9
	東洋史学													0		0	
33	西洋史学	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	4	5	4	5
	日本史Ⅰ													0		0	
34	(外国史Ⅰ)	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	5	8	5	8
	(外国史Ⅱ)(なし)													0		0	
35	日本史要説													0	6	0	6
	西洋史要説	○	×	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	8		8	
36	東洋史要説													0	3	14	3
	日本史Ⅰ													0		0	
37	外国史Ⅰ	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	6	10	6	10
	日本史概説Ⅰ(なし)(文学部にあり)													0		0	
38	日本史概説Ⅱ(なし)(文学部にあり)													0	5	0	16
	日本史概説													0		0	
39	世界史概説Ⅰ	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	5	7	16	17
	世界史概説Ⅱ(なし)													0		0	
40	日本史概説													0	6	0	6
	世界史概説	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	7		17	
41	日本史概論													0	3	0	3
	外国史概論	○	×	○	○	○	○	△	△	△	○	×	×	6		6	
42	日本古代・中世史概説													0	10	0	18
	日本近世・近代史概説													0		0	
43	外国史概説	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	3	8	3	8
	日本史概論													0		0	
44	(外国史概論A)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	10	8	10
	(外国史概論B)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	10		10	

【社会：「法学、政治学」】

＜事項＞	1	2	3	4	5	6	7	8	備考	科目毎	大学全体
＜事項＞	立憲主義・基本的人権	司法	労働基本権	国際法	民主政治の仕組み	日本の憲法制民主主義と政治	地方自治	国際政治			
＜キーワード＞	立憲主義、法治主義、天皇の地位と国事行為、基本的人権の保障	司法権の独立、裁判制度、裁判官制度、違憲審査	勤労の権利と義務、労働組合、労働基本法、労働三権	国際法の意義、国家主権、領土、国際司法裁判所、我が国の安全保障と防衛	国民主権、権力分立、憲政の原則、選挙権、被選挙権、大衆運動、内閣の政治体制	国会と内閣、選挙制度、政党、圧力団体	地方自治の原則、住民自治、二元代表制、地方公共団体の仕組み	国際連合、国際機構、国際紛争とその解決、国際法の発展			
事項を含む科目数	26	27	13	19	25	31	12	13			
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	25	27	13	19	25	30	12	12			
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く	51	48	48	48	48	50	49	34			
① 法学部基礎（法学部基礎）	×	×	△	×	×	×	×	△	単なる憲法アジア国際政治史	0	0
② 法学部基礎（法学部基礎）	△	○	×	×	×	×	×	△	憲法発展的発展の内容	1	3
③ 法学部基礎（法学部基礎）	○	○	×	○	○	○	○	×		2	7
④ 法学部基礎（法学部基礎）	×	△	×	×	○	○	○	○	アメリカの戦時憲法研究	0	2
⑤ 法学部基礎（法学部基礎）	×	○	×	○	○	○	×	×		2	5
⑥ 法学部基礎（法学部基礎）	○	○	×	○	○	○	○	○		3	7
⑦ 法学部基礎（法学部基礎）	×	○	△	○	○	○	○	○		2	6
⑧ 法学部基礎（法学部基礎）	○	○	○	○	○	○	○	○		4	4
⑨ 法学部基礎（法学部基礎）	×	○	×	×	△	×	×	×	政治思想史	1	4
⑩ 法学部基礎（法学部基礎）	○	○	×	×	○	○	×	○		3	2
⑪ 法学部基礎（法学部基礎）	△	○	○	○	×	△	×	△	戦後日本政治史	0	7
⑫ 法学部基礎（法学部基礎）	△	△	×	○	○	○	○	○		4	1
⑬ 法学部基礎（法学部基礎）	×	△	×	○	△	○	×	○		2	4
1 法学部基礎（法学部基礎）	×	△	×	×	△	○	×	○	明法と民法の理論的内容	0	3
2 法学部基礎（法学部基礎）	△	○	○	○	○	△	×	×	明法と民法の内容に入る	3	3
3 法学部基礎（法学部基礎）	△	△	×	△	△	△	×	×	政治学の基礎概念など	0	3
4 法学部基礎（法学部基礎）	×	×	×	×	○	○	×	○	もつた民法と憲法の概観	3	0
5 法学部基礎（法学部基礎）	△	×	×	×	△	×	×	×	近代政治理論史	0	0
6 法学部基礎（法学部基礎）	△	△	×	×	×	×	×	×		0	1
7 法学部基礎（法学部基礎）	○	○	×	△	△	×	×	○		2	4
8 法学部基礎（法学部基礎）	○	○	×	○	○	○	△	△		2	6
9 法学部基礎（法学部基礎）	△	○	×	○	○	○	×	△		2	2
⑭ 法学部基礎（法学部基礎）	○	△	○	○	×	△	×	×	シラバスなし	3	0
⑮ 法学部基礎（法学部基礎）	△	△	×	△	×	△	×	×	シラバスなし	0	4
⑯ 法学部基礎（法学部基礎）	△	△	×	△	×	△	×	×	シラバスなし	0	1
⑰ 法学部基礎（法学部基礎）	△	△	×	△	×	△	×	×	シラバスなし	0	0
⑱ 法学部基礎（法学部基礎）	△	△	×	△	×	△	×	×	シラバスなし	0	0

大学全体	科目目録	備考	8	7	6	5	4	3	2	1	<事項No.>										
											立憲主義・基本的人権	司法	労働基本権	国際法	民主政治の仕組み	日本の開憲制民主主義と政治	地方自治	8	備考	科目目録	大学全体
<キーワード>																					
11	法学概論	○	○	○	×									シラバスに詳細記載なし	3	3					
12	政治学Ⅰ（法学Ⅰを含む）	○	×	×	×									一般的政治理論	0	1					
13	政治学Ⅱ（法学Ⅱを含む）	○	○	○	○										0	8					
14	政治学Ⅲ（法学Ⅲを含む）	△	○	○	○										4	6					
15	政治学Ⅳ（法学Ⅳを含む）	○	○	×	○										3	3					
16	政治学Ⅴ（法学Ⅴを含む）	○	○	×	○										2	2					
17	政治学Ⅵ（法学Ⅵを含む）	△	○	○	×										2	5					
18	政治学Ⅶ（法学Ⅶを含む）	△	○	○	×										2	4					
19	政治学Ⅷ（法学Ⅷを含む）	○	○	○	△										2	3					
20	政治学Ⅸ（法学Ⅸを含む）	○	△	×	△										0	3					
21	政治学Ⅹ（法学Ⅹを含む）	○	△	×	△										1	4					
22	政治学Ⅺ（法学Ⅺを含む）	○	△	×	△										2	3					
23	政治学Ⅻ（法学Ⅻを含む）	○	○	×	○										1	3					
24	政治学Ⅼ（法学Ⅼを含む）	○	×	×	○										0	7					
25	政治学Ⅽ（法学Ⅽを含む）	○	△	○	○										2	6					
26	現代法（法学Ⅾを含む）	×	×	×	×									シラバスなし 法と情報化社会論	0	3					
27	政治学ⅰ（法学ⅰを含む）	○	○	×	×										0	0					
28	政治学ⅱ（法学ⅱを含む）	○	○	×	×										0	2					
29	政治学ⅲ（法学ⅲを含む）	○	△	×	×										5	6					
30	政治学ⅳ（法学ⅳを含む）	×	△	×	×										2	3					
31	政治学ⅴ（法学ⅴを含む）	○	×	×	△										0	2					
32	政治学ⅵ（法学ⅵを含む）	△	○	×	△										1	3					
33	政治学ⅶ（法学ⅶを含む）	○	×	×	△										1	1					
34	政治学ⅷ（法学ⅷを含む）	○	×	×	△										3	3					
35	政治学ⅸ（法学ⅸを含む）	○	×	×	△										2	6					

【社会：「社会学，経済学」】

		1	2	3	4	5	6	7	8	備考	科目 毎	大学 全体
<事項No.>	<事項>	社会学の基礎理論 対立と合意、効率と公 正	現代社会の変化と 諸課題 少子高齢化、情報化、 グローバル化、公害、 社会の持続可能性	現代社会における文化 現代社会における文化の意 義、現代社会における文化の 影響、グローバル社会におけ る多様な文化	資料収集の方法、資料 読解の方法、資料の活 用方法	市場経済と経済活動 ミクロ経済学、市場経済の根 拠と原理、消費者、価格理 論、分業と交換、金融	国民経済 マクロ経済学、財政、租 税	社会政策・社会保障 労使関係、雇用慣行、 社会保障、少子高齢化 社会の多様性	国際経済 経済のグローバル化、貿易 の自由化、国際収支、国際経済関 係			
<キーワード>												
事項を含む科目数												
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数												
一般的包括的内容を含む科目（と聞かれる科目）数 ※シラバスなし科目を除く												
①	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	×	×	○	○	×	×	シラバスなし	1	1
②	(社会学概論)	△	○	△	×	○	○	○	×		0	4
③	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	○	○	×	×	2017年度のシラバスによる	2	4
④	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	○	×	△	△	○	×		2	4
⑤	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	○	○	×	○		1	4
⑥	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	○	○	×	○		3	4
⑦	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	○	○	×	○		2	5
⑧	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	○	×	○	○	×	○	社会学史	1	4
⑨	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	×	×	×	×		3	6
⑩	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	×	○	×	×		1	1
⑪	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	○	○	×	○		2	3
⑫	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	○	○	×	○		3	5
⑬	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	△	×	○	○	×	○		1	4
⑭	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	△	×	○	○	×	△		2	3
⑮	(社会学概論) (経済学概論)	△	○	△	×	○	△	×	×		1	2
⑯	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	△	○	○	×	○		2	5
⑰	(社会学概論) (経済学概論)	○	×	×	×	○	○	×	○	社会学の一般理論中心	1	4
⑱	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	○	○	×	○		3	3
⑲	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	○	○	○	×	○		3	6
⑳	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	○	×	×	○	×		1	1
㉑	(社会学概論) (経済学概論)	×	△	×	×	×	×	△	×	マルクス経済学の概説 メテオア論	0	0
㉒	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	×	×	○	○	×	○	シラバス無	0	0
㉓	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	○	○	×	○		2	5
㉔	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	×	×	△	○	△	○		3	3
㉕	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	○	×	○	○	1	○		2	2
㉖	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	○	○	2	○		2	2
㉗	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	○	○	1	○		0	7
㉘	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	×	×	×	1	○		1	1
㉙	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	×	×	○	○	2	○		2	2
㉚	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	×	×	○	○	3	○		3	3
㉛	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	×	×	○	○	1	○		0	0
㉜	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	×	×	○	○	2	○		2	2
㉝	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	×	×	○	○	3	○		3	3
㉞	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	×	×	○	○	1	○	家族社会学	1	5
㉟	(社会学概論) (経済学概論)	○	△	×	×	○	○	4	○		4	2
㊱	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	○	○	○	2	×		2	5
㊲	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	○	○	○	3	×		3	0
㊳	(社会学概論) (経済学概論)	○	○	×	○	○	○	0	×		0	0

＜事項No.＞	1	2	3	4	5	6	7	8	備考	科目毎
＜事項＞	社会学の基礎理論 正	現代社会の変化と 課題	現代社会における文化 影響、グローバル化は社会におけ る多様な文化	社会調査 資料収集の方法、資料の活 用方法	市場経済と経済活動 ミクロ経済学、市場経済の機 能と限界、消費生活、金融 論、分業と交換、金融	国民経済 マクロ経済学、財政、税 制	社会政策・社会保障 社会保障制度、雇用慣行、 社会保障、少子高齢化 社会のものととの社会保 障、	国際経済 経済のグローバル化、貿易の 現状と発展、為替相場、国民 経済と国際収支、国際経済機 関		大学全体
＜キーワード＞										
16 社会学概論 (国際経済を含む。)	○	△	△	x	○	○	x	○		1
17 社会学基礎	○	△	x	○	○	○		○		3
18 社会学Ⅰ (国際法を含む。)					x	○	△	○		2
19 社会学概論 (国際経済を含む。)					x	x	△	x		3
20 社会学原論 (国際経済を含む。)					○	○	△	x	マルクス経済学の原論	2
21 社会学概説 (経済学を含む。)	○	○	△	○	○	△	x	○		0
22 社会学	x	△	x	○	○	○	△	△		2
23 社会学基礎	○	△	x	x	○	○	△	△		3
24 社会学概論 (1)	○	△	△	x						1
25 社会学概論 (2)	△	○	x	x	○	○		△		2
26 社会学概説 (経済学を含む。)	x	△	x	x	○	○	x	x	教育社会学の授業	2
27 社会学Ⅰ (経済学)	○	△	x	x	○	○	△	△		0
28 社会学Ⅱ (経済学)	○	△	x	x	○	○	△	△	教育社会学	2
29 社会学Ⅲ (経済学)	○	○	○	x	○	○	△	△	教育社会学	1
30 社会学Ⅳ (経済学)	○	○	△	x	○	○	x	○		0
31 社会学Ⅴ (経済学)	△	○	x	x	○	△	△	△		3
32 社会学Ⅵ (経済学)	○	x	x	x	x	○	x	x		1
33 社会学Ⅶ (経済学)	○	○	x	x	○	x	x	○		1
34 社会学Ⅷ (経済学)	△	○	○	x	○	○	x	○		2
35 社会学Ⅸ (経済学)				x	○	○	△	○		2

【社会：「哲学、倫理学、宗教学」】

<事項No. >	1	2	3	4	5	6	7	8	備考	科目毎	大学全体
<事項>	西洋哲学史	東洋哲学史	キリスト教	イスラーム	仏教	日本思想史	人間の存在や価値に関わる基本的な課題	現代の倫理的諸課題			
<キーワード>	ソクラテス、プラトン、アリストテレス、ゼノクロース、デカルト、デュルケム	儒教、孔子、孟子、朱子、老子、荘子	イエスの言行、パウロ、古代中世のキリスト教思想、宗教改革の思想	ムハンマドの言行、イスラム教、イスラームの思想、多神論、セリム、教との共通する点	仏陀の言行、大乗仏教、無常・無我・縁起の思想	日本人に見られる人間観、宗教観、政治観、経済観、倫理観、伊藤仁斎、荻生徂徠	個性、感情、認知、発達、幸福、愛、徳、自由	生命・自然・科学技術などに關する倫理的課題、他者との関係、共生、			
事項を含む科目数	46	5	17	2	5	8	14	16			
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	33	5	16	2	5	8	12	15			
一般的包括的内容を含む科目（と equal される科目）数 ※シラバスなし科目を除く	88	88	88	88	88	87	88	88			
① (哲学概論) (倫理学概論)	x	x	x	x	x	x	△	x	現代哲学の方法論 いじめ問題の提議	0	0
② (哲学概論) (倫理学概論)	○	x	x	x	x	x	○	x		2	3
③ (哲学概論) (倫理学概論)	x	x	x	x	x	x	○	x		1	3
④ 哲学概論 (倫理学概論)	○	x	x	x	x	x	△	x		1	1
⑤ 哲学・倫理学概論 初年と宗教	x	○	x	x	x	x	x	x	人生論	1	2
⑥ (哲学概論) (倫理学概論) (宗教概論) (宗教学概論)	△	x	x	x	○	○	○	x	2017年度シラバス 道徳哲学の基礎 宗教学の一般論	5	5
⑦ 倫理思想史概説 初年概論	○	x	○	x	x	○	x	○		2	4
⑧ 倫理思想史 初年概論	○	x	x	x	x	x	△	x		1	2
⑨ (哲学の基礎) (倫理思想史概説) (西洋思想概論)	x	x	x	x	x	x	○	○	人間の生死の問題を扱う	2	4
⑩ (哲学概論) (倫理学概論)	○	x	○	x	x	x	x	x		2	2
⑪ (倫理思想史・宗教学) (哲学概論)	○	△	x	x	x	○	x	△	日本倫理思想史	1	5
⑫ 哲学・倫理学概論 (哲学概論)	x	○	○	x	△	x	○	○		4	1
⑬ 哲学・倫理学概論 (哲学I)	x	△	x	x	x	x	x	x	中国思想史 (古代の諸子) 科学哲学の歴史的経緯	0	0
1 (哲学I) (倫理思想史I)	△	x	x	x	x	x	△	x	シラバスなし	0	0
2 (哲学概論) (宗教学)	x	○	○	x	○	△	x	○		0	5
3 (現代思想概論) (倫理思想史概論)									シラバスなし	0	0
4 倫理思想史 (倫理思想史概論)	○	x	○	x	x	○	x	○	シラバスなし	0	4
5 (哲学概論) (倫理思想史)	x	x	x	x	x	○	x	○	一般的哲学概論	0	0
6 (哲学概論I) (哲学概論II) (倫理思想史)	x	x	x	x	x	○	△	x	日本中世思想史	0	2
7 (哲学概論) (倫理思想史)	○	x	x	x	x	x	△	x		1	1
8 (倫理思想史A) (倫理思想史B)	○	x	x	x	x	x	x	○	シラバスなし	0	1
9 倫理思想史 (倫理思想史)	△	x	x	x	x	x	○	○		2	2
10 (社会の思想) (哲学概論I) (哲学概論II) (現代文化論)	x	x	x	x	x	x	△	x	カントのみ J.S.ミル	1	2
11 倫理思想史 (倫理思想史)	○	x	○	x	x	○	△	△	シラバスなし	3	3
12 (哲学) (倫理思想史)	○	x	○	x	x	x	x	x	シラバスなし	2	2
13 哲学 (倫理思想史)	○	x	x	x	x	x	x	△		1	1
14 哲学 (倫理思想史)	○	x	x	x	x	x	x	x		1	1
15 (倫理思想史) (倫理思想史)	○	x	x	x	x	x	△	○		2	2
16 (倫理思想史) (倫理思想史)	△	x	x	x	x	x	△	△		1	1

<事項No. >		1	2	3	4	5	6	7	8	備考		科目毎	大学全体
<事項>		西洋哲学史	東洋哲学史	キリスト教	イスラーム	仏教	日本思想史	人間の存在や価値に関わる基本的な課題	現代の倫理的諸問題				
<キーワード>		ソクラテス、プラトン、アリストテレス、ヘレニズム、ルネサンス、モリス、デュークーム	儒教、孔子、孟子、宋学、老子、荘子	イエスの言行、パウロ、主代中のキリスト教思想、宗教改革の思想	ムハンマドの言行、イスラームにおける神学上の概念、ユダヤ教・キリスト教との共通する点	仏教の言行、大乗仏教・無常・無我・縁起の思想	日本人に与えられた人間観・自然観・宗教観、神道・死生観、国学、伊藤仁斎、法智師	個性・感情・認知・発達・幸福・愛・徳・自由	生命・自然・科学技術などに関する倫理的諸問題、他者との協働、共生、				
17	哲学基礎	△	×	×	×	×	×	△	△			0	2
18	哲学基礎	×	○	×	×	×	×	△	×			2	2
19	哲学基礎	○	×	○	×	×	×	△	△			1	1
20	哲学基礎	○	×	○	×	×	×	△	△	シラバス無		2	2
21	哲学基礎	△	×	×	×	×	×	×	×			0	1
22	哲学基礎	○	×	×	×	×	×	○	△			1	5
23	哲学基礎	×	×	○	×	○	○	×	×			1	4
24	哲学基礎	△	×	○	○	×	×	×	×			0	0
25	哲学基礎	×	×	×	×	×	×	×	×			1	4
26	哲学基礎	○	○	○	×	×	×	△	△			4	0
27	哲学基礎	×	×	×	×	×	×	△	△			0	1
28	哲学基礎	○	×	×	×	×	×	△	△			1	1
29	哲学基礎	○	×	×	×	×	×	×	×			1	1
30	哲学基礎	○	×	×	×	×	×	○	×			3	4
31	哲学基礎	○	×	×	×	×	×	○	×			2	2
32	哲学基礎	△	×	×	×	×	×	×	×			1	1
33	哲学基礎	○	×	×	×	×	×	×	×			0	1
34	哲学基礎	△	×	×	×	×	×	△	△			1	1
35	哲学基礎	△	×	×	×	×	×	△	△	シラバスなし		0	0

【代数学】

代数学の事項立ての観点は、「集合」、「行列/方程式」、「数の構造」、「整数の性質」とした。詳述すると、数学を学習していくにあたり、基礎的基本的な概念である集合や写像を第一の観点とし、中学校・高等学校の方程式等の学習に関わる行列/方程式を第二の観点とした。第二の観

【「代数学」（事項数：4）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1	26	54.2%	7	53.8%	19	54.3%
2	15	31.3%	5	38.5%	10	28.6%
3	6	12.5%	0	0.0%	6	17.1%
4	1	2.1%	1	7.7%	0	0.0%
	48		13		35	

点の行列/方程式の内容は、線形代数学として開講している大学が多い。また、数についての理解を深めたり、数の構造についての理解を深めたりする内容を第三の観点とした。群、環、体などの学習が該当する。そして、合同式、ユークリッドの互助法、素数や素因数分解等の学習に関わる整数の性質を第四の観点とした。

基礎的基本的な概念である集合や写像を代数学に関わる授業の中で指導している大学がいくつか見出された。実態の解釈において、注意を要するのは、集合や写像がこの分野で指導されていないとも、ほとんどの場合、他の授業において指導しているということである。

【幾何学】

幾何学の事項立ての観点は、「集合」、「行列」、「平面図形」、「空間図形」、「位相幾何」とした。詳述すると、代数学の場合と同様に、数学を学習していくにあたり、基礎的基本的な概念である集合や写像を第一の観点とし、中学校・高等学校の方程式等の学習に関わる行列を第二の観点とした。代数学の場合と同じ観点を立てたのは、幾何学に関

【「幾何学」（事項数：5）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	1	2.1%	1	7.7%	0	0.0%
1	25	52.1%	7	53.8%	18	51.4%
2	11	22.9%	2	15.4%	9	25.7%
3	8	16.7%	2	15.4%	6	17.1%
4	2	4.2%	0	0.0%	2	5.7%
5	1	2.1%	1	7.7%	0	0.0%
	48		13		35	

する授業の中で、集合や写像、線形代数学を指導している大学があるからである。また、平面幾何の公理系、図形の性質、座標幾何等の学習に関わる平面図形を第三の観点とした。そして、曲線や曲面の表示法等の学習に関わる空間図形を第四の観点とした。中学校・高等学校で学習するユークリッド幾何とは異なる幾何を学習することが、幾何についての理解を深めることにつながると考え、第五の観点として、位相幾何を設定した。

いくつかの大学では、初等幾何の指導を重視していた。中学校・高等学校の学習指導を考えた際、教員養成の幾何学の授業において、何を重視して指導すべきかの再検討は課題の一つであろう。

【解析学】

解析学は微分積分学が入門的な学問となっているため、微分積分学の内容で解析学の事項立てを行った。微分積分学は高校数学の「数学Ⅱ」

「数学Ⅲ」でもその初歩を学ぶが、国立教員養成系大学・学部では入学試験に「数学Ⅲ」を課していない大学・学部も多く、そのような大学・学部では大学の講義の中でその範囲でカバーする必要がある。ただ、大学・学部

の様々な事情で科目区分の「解析学」として多くの講義を開講できるわけではない。このような観点から「数学Ⅲ」を課しているか否かに影響しないように事項立てを考慮した。微分積分学はその名の通り大きく「微分学」と「積分学」の2つの内容に分けられるが、まずは両方の基礎となる「関数」「数列」の事項を設けた。微分学として「微分法」「近似式」、積分学として「積分法」「リーマン積分」を事項に設定した。「微分法」と「積分法」は比較的大きな括りの項目で、「近似式」と「リーマン積分」はそれぞれ「微分法」と「積分法」に含まれるレベルであると考え、この2事項は「数学Ⅲ」では扱われないが微分積分学において重要な概念であるため、あえて事項を独立させた。国立教員養成系大学・学部において一般的に「微分学」と「積分学」でそれぞれ1科目として開講しているところが多いため、解析学の必修科目（または、と思われる科目）を複数設定している大学・学部では科目群として殆どの事項を含んでいるが、1科目しか設定していない大学・学部においては一方の事項しか含んでいないケースが多かった。大学・学部の様々な事情で共に必修にできない場合には「選択」扱いであるが、実質的に「必修」となるように運用でカバーしているケースもあり、そのような場合であれば殆どの事項を含むことになるだろう。しかし、今回の「履修の手引き」「シラバス」の調査だけでは、運用上の工夫までは読み取れなかった。

【「解析学」（事項数：6）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	4	8.3%	0	0.0%	4	11.4%
1	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
2	3	6.3%	0	0.0%	3	8.6%
3	7	14.6%	1	7.7%	6	17.1%
4	11	22.9%	5	38.5%	6	17.1%
5	13	27.1%	2	15.4%	11	31.4%
6	9	18.8%	5	38.5%	4	11.4%
	48		13		35	

【「確率論、統計学」】

確率論・統計学はその名の通り「確率論」と「統計学」の2つの内容から構成されておりこの2つの内容で事項立てを行った。「確率論」は「データの整理」「事象と確率」「確率変数」を事項に設定し、「統計学」は「離散確率分布」「連続確率分布」「推定」「仮説検定」を事項に設定した。国立教員養成系大学・学部には

【「確率論、統計学」（事項数：7）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	2	4.2%	0	0.0%	2	5.7%
1	2	4.2%	0	0.0%	2	5.7%
2	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
3	4	8.3%	2	15.4%	2	5.7%
4	5	10.4%	2	15.4%	3	8.6%
5	13	27.1%	4	30.8%	9	25.7%
6	10	20.8%	1	7.7%	9	25.7%
7	11	22.9%	4	30.8%	7	20.0%
	48		13		35	

において確率論・統計学は必修科目、選択必修科目、選択科目に係らずそもそも開講している科目数があまり多くない。少ない科目で必要な内容をカバーするため、心修科目（または、と思われる科目）の内容も多く大学の学部で扱っている内容が一致しており、今回の設定した事項をほとんど含んでいた。しかし、その中では「推定」と「仮説検定」の2つの事項が含まれていないケースが比較的多かった。確率論・統計学は高校数学では「数学 A」「数学 B」でその初歩を学ぶ。「数学 B」は「確率分布と統計的な推測」「数列」「ベクトル」の3つから構成されているが標準単位が2単位のため多くの高等学校で「数列」「ベクトル」を選択しており、「確率分布と統計的な推測」は扱われないという現状がある。そのため大学では確率論・統計学の科目でその部分をカバーする必要がある。一方、新学習指導要領（平成30年改訂）からは「数学 B」の構成が「数列」「統計的な推測」「数学と社会生活」の3つへ変わる。「数学と社会生活」はこれまで殆どの高校で開講されてこなかった「数学活用」から移行されてきた内容であることを考慮すると新学習指導要領からは「数列」「統計的な推測」の2つを選択する流れが多くなるのではないかと予想できる。それゆえ、今後はこれまで「推定」と「仮説検定」の内容を含めていなかった大学・学部も「数学 B」の範囲をカバーしていた時間で対応できるのであろう。

【コンピュータ】

コンピュータはコンピュータ科学（計算機科学）の核となる「プログラミング」として事項立てを行った。「プログラミング」は他の科目と違い機器やソフトウェアによって利用環境や操作方法等に違いがあるため、その前提の知識が必須となるため「基本機能・環境設定」の事項を設定した。そして「プログラミング」の核となる「デ

【「コンピュータ」（事項数：5）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	6	12.5%	1	7.7%	5	14.3%
1	2	4.2%	1	7.7%	1	2.9%
2	6	12.5%	0	0.0%	6	17.1%
3	11	22.9%	2	15.4%	9	25.7%
4	9	18.8%	2	15.4%	7	20.0%
5	14	29.2%	7	53.8%	7	20.0%
	48		13		35	

ータの構造」「データの処理」「データの表現」の3つの事項を設定し、「活用（総合演習）」も事項に設定した。国立教員養成系大学・学部においてコンピュータの必修科目（または、と思われる科目）の内容は大学・学部によって様々でありその内容は多岐に渡っていた。扱われている内容は、まずは大きく3つに分類される。一つ目は事項立てを行った「プログラミング」である。利用されるプログラミング言語はC言語、Excel VBA、Python、Scratchなどが多かった。二つ目は「数学ソフトウェアの利用」で、利用されるソフトウェアはGRAPES、GeoGebra、Mathematicaなどが多かった。また、数学ソフトウェアと違うがLaTeXという数学の資料作成に有用な文書作成ソフトウェアを扱っているところも多かった。三つ目は「表計算ソフトウェアを利用」で、数学を介してその利用方法を学ぶ内容である。この3つの内容を単独、または複数の組み合わせで講義の内容を構成している大学が殆どであった。それ

ゆえ「数学ソフトウェアの利用」「表計算ソフトウェアを利用」に多くの時間を割いている大学・学部の科目では事項をあまり含まない傾向にある。しかし、これらはICT活用であり昨今の教育現場では重要な内容である。だが、これらを考慮した項目を全て含めてしまうと事項が多くなりすぎて現実的に科目を設定するのは困難になる。コンピュータは他の4区分と違い、計算機科学や情報科学というように学問分野そのものが進化や変化し続けている。それゆえ、数学における科目区分のコンピュータをどのように捉えるかを検討することは今後の課題であろう。

(清野辰彦、茨木貴徳 記)

【数学：代数学】

<事項No.> <事項>	1 集合 命題と論理、集合、写 像、濃度	2 行列/方程式 行列の演算、行列の変 形、連立方程式、行列 式、固有値、行列の対 角化、三次方程式、四 次方程式、ベクトル空 間、線形写像	3 数の構造 複素数、複素数平面、 群、対称群、環、体	4 整数の性質 整数の性質、合同式、不 素数と素因数分解、不 定方程式、ユークリッ ドの互除法	備考	科 目 毎	大 学 全 体
<キーワード>							
事項を含む科目数	4	49	36	19			
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	4	36	20	18			
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く	95	95	95	95			
① 代数学Ⅰ	×	○	×	×		1	1
代数学Ⅰ（含演習）	×	○	×	×		1	1
代数学Ⅱ（含演習）	×	○	×	×		1	1
③ 代数学Ⅰ	×	×	○	○		2	2
（代数学入門）	×	○	○	×		2	
（代数学基礎講義）	×	×	○	×		1	
（代数学講義A）	×	×	○	×		1	
（代数学講義B）	×	×	○	×		1	2
（代数学講義C）	×	×	○	×		1	
（線形代数学A）	×	○	×	×		1	
（線形代数学B）	×	○	×	×		1	
⑤ 代数学Ⅰ	×	×	○	×		1	1
代数学Ⅱ	×	×	○	×		1	
⑥ 基礎線形代数学	×	○	×	×		1	1
線形代数学	×	○	×	×		1	
線形代数学Ⅰ	×	○	×	×		1	
⑦ 集合と論理	○	×	×	×		1	4
初等整数論	×	○	×	○		2	
代数学概論	×	×	○	×		1	
⑧ 代数学序論Ⅰ	×	○	×	×		1	1
線形代数学A	×	○	×	×		1	
⑨ 代数学A	×	×	○	×		1	2
代数学B	×	×	○	×		1	
代数学基礎	×	×	○	×		1	2
線形代数学	×	○	×	×		1	
⑩ 代数学Ⅰ	×	○	×	×		1	1
⑪ 代数学Ⅰ	×	○	×	×		1	1
⑫ 代数学Ⅰ	×	○	×	×		1	1
⑬ 数と集合	○	×	×	○		2	2

<事項No.> <事項>	1 集合 命題と論理、集合、写 像、濃度	2 行列/方程式 行列の演算、行列の変 形、連立方程式、行列 式、固有値、行列の対 角化、三次方程式、四 次方程式、ベクトル空 間、線形写像	3 数の構造 複素数、複素数平面、 群、対称群、環、体	4 整数の性質 整数の性質、合同式、 素数と素因数分解、不 定方程式、ユークリッ ドの互除法	備考	科目 毎	大 学 全 体
総形代数概論							
1 数論入門	×	○	×	×		1	1
群論入門	×	×	×	○		1	3
2 代数学 I	×	○	×	×		1	1
線形代数 I	×	○	×	×		1	1
3 線形代数 II	×	○	×	×		1	1
4 代数学概論	×	○	○	×		2	2
5 代数学 I	×	○	×	×		1	1
6 代数学概論	×	○	×	×		1	1
7 代数学概論	×	×	×	○		1	1
(線形代数 I)	×	○	×	×		1	1
8 (初等整数論)	×	×	×	○		1	3
(群論)	×	×	○	×		1	
9 代数学 A	×	○	×	×		1	1
(教材研究 (代数))	×	×	○	×		1	
(数とそのしくみ)	×	×	×	○		1	
(代数)	×	×	○	×		1	2
(代数学演習)					存在しない	0	
(代数学研究 I)					卒業論文の科目	0	
(代数学研究 II)					卒業論文の科目	0	
11 代数学 I	○	×	×	×		1	1
12 代数系の基礎 I	×	○	×	○		2	2
13 線形システム概論	×	○	×	×		1	1
14 代数学基礎 A	×	×	○	×		1	2
代数学基礎 B	×	×	○	○		2	
線形代数 I	×	○	×	×		1	1
線形代数 II	×	○	×	×		1	1
16 線形代数 I	×	○	×	×		1	1
17 代数学基礎	×	○	×	×		1	1
18 線形代数 I	×	○	×	×		1	1
線形代数基礎	×	○	×	×		1	1
(代数学入門)	×	×	×	○		1	
(代数学演習)	×	○	○	×		2	
(代数学概論)	×	○	×	×		1	
(代数学要論 I)	×	×	○	×		1	3
(代数学要論 II)	×	×	○	×		1	
(代数学要論 III)					存在しない	0	
(代数学要論 IV)					存在しない	0	

<キーワード>

<事項No.>		1	2	3	4	備考	科目毎	大学全体
<事項>		集合 命題と論理、集合、写 像、濃度	行列/方程式 行列の演算、行列の変 形、連立方程式、行列 式、固有値、行列の対 角化、三次方程式、四 次方程式、ベクトル空 間、線形写像	数の構造 複素数、複素数平面、 群、対称群、環、体	整数の性質 整数の性質、合同式、 素数と素因数分解、不 定方程式、ユークリッ ドの互除法			
<キーワード>								
21	基礎代数学Ⅰ	×	×	×	○		1	3
	基礎代数学Ⅱ	×	×	○	×		1	
	線型代数学Ⅰ	×	○	×	×		1	
22	線型代数学Ⅱ	×	○	×	×		1	3
	線形代数Ⅰ	×	○	×	×		1	
	初等整数論	×	×	○	○		2	
23	群論の基礎	×	×	○	×		1	2
	(線形代数学Ⅰ)	×	○	×	×		1	
	(線形代数学Ⅱ)	×	○	×	×		1	
24	(代数学Ⅰ)	×	×	○	×		1	1
	(代数学Ⅱ)	×	×	○	×		1	
	代数学Ⅰ(1)	×	○	×	×		1	
25	代数学Ⅰ(2)	×	○	×	×		1	2
	代数学概論	×	×	○	○		2	
	代数学Ⅰ	×	○	×	×		1	
27	(代数学Ⅰ)	×	○	×	×		1	2
	(代数学Ⅱ)	×	○	×	×		1	
	(代数学Ⅲ)	×	×	○	×		1	
28	(代数学Ⅳ)	×	×	○	×		1	1
	代数学概論	×	×	×	○		1	
	代数学基礎Ⅰ	×	○	×	○		2	
31	線形代数学Ⅰ	×	○	×	×		1	1
	(代数学序論A)	×	×	×	○		1	
	(代数学序論B)	×	×	○	×		1	
32	(代数学概論A)	×	×	○	×		1	2
	(代数学概論B)	×	×	○	×		1	
	(代数学講義A)	×	×	×	○		1	
33	(代数学講義B)	×	×	○	×		1	2
	線形代数Ⅰ	○	○	×	×		2	
	初等代数学Ⅰ	×	×	×	○		1	
35	線型代数学Ⅰ	×	○	×	×		1	3
	線型代数学Ⅱ	×	○	×	×		1	
	代数学Ⅰ	×	×	○	○		2	
36	代数学序論Ⅰ	×	×	×	×		1	1
	代数学序論Ⅱ			○	○		0	
						存在しない		

【数学：幾何学】

<事項No.>	1 集合 命題と論理、集合、写 像、濃度	2 行列 行列の演算、行列の変 形、連立方程式、行列 式、固有値、行列の対 角化、ベクトル空間、 線形写像	3 平面図形 平面幾何の公理系、図 形の性質、座標幾何	4 空間図形 直線の方程式、平面の 方程式、二次曲線、曲 線の表示法、曲面の表 示法、曲率	5 位相幾何	備考	科目毎	大学全体
<事項>								
<キーワード>								
事項を含む科目数	21	10	30	29	13			
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	19	10	22	22	11			
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く	88	88	88	88	88			
① 幾何学Ⅰ						札幌では開講なし	0	0
② 幾何学Ⅰ（含演習）	×	○	×	×	×		1	1
③ 幾何学Ⅱ（含演習）	×	×	×	×	×	×	0	
③ 幾何学Ⅰ	×	○	×	×	×		1	1
④ (幾何学入門A) (幾何学入門B) (幾何学講義A) (幾何学講義B) (幾何学講義C)	×	×	○	×	×		1	3
	×	×	○	×	×		1	
	×	×	×	○	×		1	
	×	×	×	×	×	×	0	
⑤ 幾何学Ⅰ	×	×	×				1	1
⑤ 幾何学Ⅱ		×	×	○	×		1	
⑥ (数学基礎演習) (幾何学概論)	○	×	×	×	×		1	3
⑦ 線形数学Ⅱ	×	○	×	○	○		2	
⑦ 幾何学概論	×	×	×	○	×		1	2
⑧ 幾何学序論Ⅰ	○	×	×	×	×		1	1
⑨ 幾何学A	×	×	○	×	×		1	2
⑨ 幾何学B	×	×	×	×	○		1	
⑩ 幾何基礎	×	○	○	○	×		3	5
⑩ 図形と位相	○	×	×	×	○		2	
⑪ 幾何学Ⅰ	×	×	○	×	×		1	1
⑫ 幾何学Ⅰ	×	×	×	○	×		1	1
⑬ 線形数学概論	×	○	×	×	×		1	1
1 変換と幾何学	×	×	○	○	×		2	2
1 (幾何学Ⅰ)						存在しない	0	
(幾何学Ⅱ)	×	×	×	○	×		1	1
2 幾何学Ⅰ		×	○	×	×		1	1
3 初等幾何	×	×	○	○	×		2	3
幾何学基礎Ⅰ	○	×	×	×	×		1	
4 幾何学概論	○	×	○	○	×		3	3
幾何学Ⅰ	×	○	×	×	×		1	1
6 幾何学概論	○	×	○	×	×		2	2
7 幾何学概論	×	×	×	○	×		1	1

<事項No. > <事項>	1 集合 命題と論理, 集合, 写 像, 濃度	2 行列 行列の演算, 行列の変 形, 連立方程式, 行列 式, 固有値, 行列の対 角化, ベクトル空間, 線形写像	3 平面図形 平面幾何の公理系, 図 形の性質, 座標幾何	4 空間図形 直線の方程式, 平面の 方程式, 二次曲線, 曲 線の表示法, 曲面の表 示法, 曲率	5 位相幾何	備考		科目毎	大 学 全 体
<キーワード>									
8	(集合と論理)	○	x	x	x			1	2
	(平面と空間の幾何学)	x	x	x	○	x		1	
	(距離の概念)	x	x	x	x	x		0	
9	幾何学A	x	x	○	○	x		2	2
	(教材研究 (幾何))	x	x	○	x	x		1	
10	(いろいろな図形)	x	x	x	○	x		1	4
	(幾何学)	x	x	x	○	x		1	
	幾何学演習	x	x	○	x	x		1	
	(位相空間論)	○	x	x	x	○		2	
	(幾何学研究 I)	x	x	○	x	x		1	
	(幾何学研究 II)	x	x	○	x	x		1	
	幾何学 I	x	x	○	x	x		1	
11	幾何学 I	x	x	○	x	x		1	1
12	幾何学序説	x	x	○	x	x		1	1
13	情報幾何学	○	x	x	x	x		1	1
14	幾何学基礎A	○	x	x	x	x		1	1
	幾何学基礎B	○	x	x	x	x		1	
15	初等幾何学	x	x	○	x	x		1	1
16	集合と写像	○	x	x	x	x		1	1
17	幾何学基礎	○	x	x	x	○		2	2
18	幾何学 I	x	x	x	x	x		1	1
19	集合と論理基礎	○	x	x	x	x		1	1
20	(幾何学入門)						存在しない	0	3
	(幾何学演習)	○	x	x	x	○		2	
	幾何学概論	○	x	x	x	○		2	
	(幾何学要論 I)	x	x	x	○	x		1	
	(幾何学要論 II)	x	x	x	○	x		1	
	(幾何学要論 III)						存在しない	0	
	(幾何学要論 IV)						存在しない	0	
21	基礎幾何学 I	x	x	○	x	x		1	3
	基礎幾何学 II	x	○	x	○	x		2	
22	線形代数 II	x	○	x	x	x		1	2
	幾何学入門	○	x	x	x	x		1	
	多次元の数学	x	x	x	x	x	多変数関数の偏微分と積分	0	
23	(幾何学 I)	○	x	x	x	x		1	4
	(幾何学 II)	x	○	○	x	x		2	
	(幾何学統論A)	x	x	x	x	x		1	
24	(幾何学 I (1))	x	x	○	x	x		1	2
	(幾何学 I (2))	x	x	○	x	x		1	
	(幾何学 II (1))	x	x	x	○	x		1	
	(幾何学 II (2))	x	x	x	○	x		1	
25	幾何学概論	x	x	x	○	x		1	1
26	幾何学 I	x	x	○	x	x		1	1

<事項No. > <事項>		1 集合 命題と論理、集合、写 像、濃度	2 行列 行列の演算、行列の変 形、連立方程式、行列 式、固有値、行列の対 角化、ベクトル空間、 線形写像	3 平面図形 平面幾何の公理系、図 形の性質、座標幾何	4 空間図形 直線の方程式、平面の 方程式、二次曲線、曲 線の表示法、曲面の表 示法、曲率	5 位相幾何	備考	科目 毎	大 学 全 体
27	(幾何学Ⅰ)	×	×	×	○	×		1	2
	(幾何学Ⅱ)	×	×	×	×	○		1	
	(幾何学Ⅲ)	×	×	×	×	×	射影幾何	0	
	(幾何学)						存在せず	0	
28	幾何学概論	×	×	○	×	×		1	1
29	幾何学基礎Ⅰ	×	×	○	×	×		1	1
30	解析幾何学Ⅰ	×	×	×	○	×		1	1
31	(幾何学序論A)	×	×	○	×	×		1	3
	(幾何学序論B)	×	×	○	×	×		1	
	(幾何学概論A)	×	×	○	×	×		1	
	(幾何学概論B)	×	×	×	○	○		2	
	(幾何学講義A)	×	×	○	×	×		1	
	(幾何学講義B)	×	×	×	×	○		2	
32	幾何学Ⅰ	○	×	×	×	×		1	1
33	集合論	○	×	×	×	×		1	3
	幾何学入門	×	○	×	○	×		2	
34	初等幾何学	×	×	×	×	×		0	2
	幾何学Ⅰ	○	×	×	×	×		2	
35	幾何学序論Ⅰ	×	×	×	×	○		1	1
	幾何学序論Ⅱ						存在せず	0	

【数学：解析学】

<事項No.> <事項>	1 数 列	2 関 数	3 微分法	4 近似式	5 積分法	6 積分		備考	科目毎	大学全体
						リーマン積分	リーマン積分、定積分、重積分の(厳密な)定積分、重積分の定義			
事項を含む科目数	46	60	52	39	42	15				
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	37	42	39	33	27	13				
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く	93	93	93	93	93	93				
① 解析学Ⅰ	○	○	○	×	○	×	2017年度 一変数＋多変数の微分		4	4
② 解析学Ⅰ（含演習）	○	○	○	×	○	○			5	6
③ 解析学Ⅱ（含演習）	○	○	○	○	×	×			4	4
④ (微分積分学A)	○	○	○	○	○	×	多変数の微積分		5	
(微分積分学B)	○	○	○	×	×	×	集合論		4	
(解析学入門)	×	○	×	×	×	×	集合論		0	
(解析学基礎講義)	○	○	○	×	×	×	複素解析		2	5
(解析学講義A)	○	○	○	×	×	×	複素解析		3	
(解析学講義B)	×	×	×	×	×	×	複素解析		2	
(解析学講義C)	×	×	×	×	×	×	関数解析		0	
⑤ 解析学Ⅰ	○	○	○	×	×	×	多変数関数		3	3
解析学Ⅱ	×	×	×	×	△	△	多変数の積分とこの口頭で確認（詳細不明）		0	
基礎微分積分学	○	○	○	○	○	×	多変数の微積分		5	5
(微分積分学)	×	×	○	×	○	×	複素解析		4	
(解析学概論)	○	○	○	×	○	×			2	
⑦ 微分積分Ⅰ	○	○	○	○	×	×			4	
微分積分Ⅱ	×	×	×	×	○	○			2	
解析学概論	×	○	×	×	○	○	多変数の微積分		4	6
⑧ 解析学序論Ⅰ	○	○	○	○	○	○			6	6
微分積分学A	○	○	○	○	○	○			6	
⑨ 解析学A	×	×	×	×	○	×	複素解析		1	6
解析学B	×	×	×	×	×	×	複素解析		0	
解析学基礎	×	○	○	×	○	×	多変数の微積分		3	4
微分積分	×	×	×	○	○	×			2	
⑪ 解析学Ⅰ	○	○	○	○	×	×			4	4
⑫ 解析学Ⅱ	○	○	○	○	×	×			4	4
⑬ 微分積分学概論	○	○	○	○	○	○			6	6
1 論理・集合・写像							シラバスに内容の記述なし		0	0
微分積分概論							シラバスに内容の記述なし		0	0
2 解析学Ⅰ	○	×	×	×	×	×	シラバスには概要のみ詳細不明		1	1
3 微分積分Ⅰ	○	○	○	○	○	○			5	6
微分積分Ⅱ	×	○	○	○	○	○			5	
4 解析学概論	○	○	○	○	○	×			3	5
5 解析学Ⅰ	○	○	○	○	×	×			3	3
6 解析学概論	×	○	○	×	○	○			4	4
7 解析学概論	○	○	○	○	×	×			4	4
(解析学の基礎)	○	○	○	○	×	×			4	4
8 (微分積分Ⅰ)	×	○	○	○	○	×			4	5
(複素関数論)	×	○	○	○	○	×	(複素関数論)		4	
9 解析学A	○	○	○	○	×	×			4	4

<事項No.> <事項>	1 級別 極限、級数、収束、点 列	2 関数 極限、収束、連続性、 多変数関数	3 微分法 微分係数、導関数、高次 導関数、初等関数、積 商、合成関数、逆関数、 偏微分係数、偏導関数、 全微分	4 近似式 テイラー展開、マク ローリン展開、関数の 展開	5 積分法 不定積分、定積分、置 換積分、部分積分、広 義積分、重積分、累次 積分	6 リーマン積分		備考	科目 毎	大学 全体
						リーマン積分	定積分			
10 <キーワード>	(微分研究 (解析・情報))									
	(長さ・面積・体積)									
	(解析学)									
	(解析学演習)									
	(解析学研究 I)									
11	(解析学研究 II)									
	解析学 I									
	微分積分学 I									
	数理システム概論									
	解析学基礎A									
15	解析学基礎B									
	理数基礎A (微分積分学)									
	微分積分学									
	関数と数列									
	解析学基礎									
18	位相数学 I									
	微分積分学基礎									
	(解析学入門)									
	(解析学演習)									
	(解析学概論)									
20	(解析学要論 I)									
	(解析学要論 II)									
	(解析学要論 III)									
	(解析学要論 IV)									
	基礎解析学 I									
21	基礎解析学 II									
	微分積分 I									
	微分積分 II									
	(微分積分学 I)									
	(微分積分学 II)									
24	解析学 I (1)									
	解析学 I (2)									
	解析学 II (1)									
	解析学 II (2)									
	解析学概論									
26	解析学 I									
	(解析学 I)									
	(解析学 II)									
	(解析学 III)									
	(解析学 IV)									
28	解析学概論									
	解析学基礎 I									
	微分積分学 I									
	(解析学要論 A)									
	(解析学要論 B)									
31	(解析学要論 C)									
	(解析学要論 D)									
	(解析学要論 E)									
	(解析学要論 F)									
	(解析学要論 G)									
32	基礎解析									
	微分・積分学 I									
	解析学 I									
	解析学 II									
	解析学序論 I									
35	解析学序論 II									

【数学：確率論・統計学】

<事項No>	<事項>	1 データの整理 度数分布、ヒストグラム ム、代表値、中央値、 箱ひげ図	2 事象と確率 確率の定義、事象と確 率、条件付確率	3 確率変数 期待値、分散	4 離散確率分布 (分布関数) 離散確率分布 (二項分 布、ポアソン分布)	5 連続確率分布 (分布関数) 連続確率分布 (一様分 布、正規分布)	6 推定 点推定、区間推定		7 仮説検定 t検定、カイニ乗検定	備考	科目 毎	大学 全体
	<キーワード>											
	事項を含む科目数	28	43	53	44	46	31	31				
	事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	26	35	41	37	40	29	30				
	一般的包括的内容を含む科目 (と思われる科目) 数 ※シラバスなし科目を除く	70	70	70	70	70	70	70				
①	統計学 I	○	○	○	△	△	×	×	×		3	3
②	統計学 I	○	○	○	○	○	○	○	○		6	6
③	確率・統計 I	○	○	○	○	×	×	×	×		4	4
④	(確率論・統計学A) (確率論・統計学B)	×	×	○	×	×	×	×	×		1	3
⑤	確率・統計 I	○	○	○	△	△	○	○	○		3	3
⑥	確率・統計 II	×	○	×	×	×	×	○	×		5	7
⑦	確率論・統計学	○	○	○	○	×	×	×	×		3	5
⑧	確率統計 I	×	○	○	○	○	×	×	×		4	7
⑨	確率統計 II	○	×	×	○	○	○	○	○		5	7
⑩	統計学	×	○	○	○	○	×	×	○		5	5
⑪	確率・統計	×	○	○	○	○	×	×	○		5	5
⑫	(数理統計 I) (確率統計 I)	○	×	×	×	×	○	○	○		3	7
⑬	確率・統計	○	○	○	○	○	×	×	○		4	5
⑭	確率・統計入門	○	○	○	○	○	○	○	○		7	7
⑮	(応用数学 I)	×	○	○	△	○	○	○	○		5	
1	(応用数学 II)	×	×	×	×	×	×	×	×	シラバス (2017年度) に内容の記述なし 詳細不明	0	
	(応用数学 III)									シラバスに内容の記述なし、2016年度 に記述有り (部分方式)	0	5
	(応用数学 IV)									シラバス (2016年度) は開講せず、 2017、2018年度には存在せず	0	
	(応用数学 V)									シラバス (2016年度) は開講せず、 2017、2018年度には存在せず	0	
2	確率論入門	△	△	△	△	○	△	△	△	シラバスには概要のみ詳細不明	1	1
3	確率論 I	×	○	○	○	○	×	×	×		4	4
4	確率・統計概論	○	○	○	○	○	○	○	○		7	7
5	確率論・統計学	○	○	○	○	○	○	○	○		7	7
6	確率統計概論	○	○	○	○	○	○	○	○		7	7
7	統計学	○	×	○	○	○	○	○	○		6	6
8	統計学	×	○	○	○	○	○	○	○		6	6
9	数理統計学 (教材研究 (応数))	○	○	○	○	×	×	×	×		7	7
10	(身近な確率・統計) (応用数学演習 I) (応用数学研究 I) (応用数学研究 II)	○ ×	△ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	2017年度シラバス 2017年度シラバス 2017年度シラバス	6 3 3	7
11	確率・統計 I	○	○	○	○	○	×	×	×	2017年度シラバス	2	5
12	統計学 I	○	○	○	○	○	○	○	○		5	6
13	確率論 基本統計	×	×	○	△	△	×	×	×	2017年度シラバス	1	5
14	確率・統計 行列と行列式 部分積分	×	×	×	△	△	×	×	×	(線形代数)	2	2
		×	×	×	×	×	×	×	×		0	

<事項No.> <事項>	1 データの整理 度数分布、ヒストグラム、 ム、代表値、中央値、 箱ひげ図	2 事象と確率 確率の定義、事象と確 率、条件付確率	3 確率変数 期待値、分散	4 離散確率分布（分布関数） 離散確率分布（二項分 布、ポアソン分布）	5 連続確率分布（分布関数） 連続確率分布（一様分 布、正規分布）	6 推定		7 仮説検定 t検定、カイニ乗検定	備考	科目 毎	大 学 全 体
						点推定、区間推定					
<キーワード>											
15 (初等確率論) (初等統計学)	○	○	○	△	△	×	×	×		3	5
16 確率論	○	×	○	×	×	○	○	○		4	
17 数理統計学基礎	×	○	×	○	○	○	×	×		3	3
18 統計学Ⅰ	×	○	○	○	○	○	○	○		6	6
19 応用数学基礎	×	○	×	○	○	○	○	○		5	5
20 確率・統計学	○	○	○	○	○	○	○	○		6	6
21 (データ処理論) (確率論)	○	×	○	○	○	○	○	○		6	6
22 確率・統計 (確率論・統計学Ⅰ) (確率論・統計学Ⅱ) (確率論・統計学Ⅲ) (応用数学概論Ⅰ) (応用数学概論Ⅱ)	×	○	○	△	○	○	×	○		6	7
23	×	○	○	○	○	×	○	○		5	5
24	×	○	○	△	△	×	×	×	2017年度シラバス、隔年開講 2017年度シラバス、隔年開講	4	6
25 数理統計学概論	○	△	△	○	×	○	○	○		2	7
26 確率・統計学	△	△	○	△	△	△	△	△	シラバスには概要のみ詳細不明	1	1
27 確率・統計学Ⅰ	○	△	○	○	○	○	○	○		6	6
28 確率統計学概論	○	○	○	○	○	○	○	○		5	5
29 (確率論基礎) (統計学基礎)	×	○	○	×	○	○	×	×		3	3
30 確率論	○	○	○	○	○	○	×	×	2017年度シラバス	5	5
31 (確率統計学A) (確率統計学B)	×	△	△	△	○	○	○	×	2017年度シラバス	4	4
32 統計学Ⅰ	×	×	×	×	×	×	○	○	シラバスには概要のみ詳細不明 シラバスには概要のみ詳細不明	2	3
33 確率・統計学Ⅰ	△	○	○	○	○	○	○	○	シラバスにアクセスできず	0	0
34 確率統計Ⅰ	×	×	△	×	×	×	×	×	シラバスには概要のみ詳細不明	0	0
35 確率統計学Ⅰ	×	○	○	○	○	×	×	×		4	4

【数学：コンピュータ】

<事項No.> <事項>		1 基本機能・環境設定 仕様、仕組み、導入、イ ンストール、基本操作、 コマンド、(○○言語と は?)					2 データの構造 数値、文字、演算、リ スト、辞書、配列、ポ インタ		3 データの処理 変数、条件判断、繰り 返し、関数		4 データの表現 数形式、グラフィック 表示		5 活用(総合演習) 教材開発、数学に関す る計算、課題解決、 ゲームの作成		科目毎	大学全体	
<キーワード>																	
事項を含む科目数		43	27	30	26	36											
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数		40	26	27	25	35											
一般的包括的内容を含む科目(と思われる科目)数 ※シラバスなし科目を除く		53	53	53	53	53											
①	コンピュータ													シラバス確認できず	0	0	
②	コンピュータI	x													3	3	
③	コンピュータI														3	3	
④	コンピュータ														1	1	
⑤	コンピュータ概論														5	5	
⑥	計算機数学演習														4	4	
⑦	プログラミング														5	5	
⑧	電子計算機														5	5	
⑨	コンピュータ														5	5	
⑩	数理プログラミング														5	5	
⑪	情報数理基礎	x													0	0	
⑫	コンピュータ数学概論														4	4	
⑬	計算数学														5	5	
⑭	コンピュータ														5	5	
1	情報数学														3	3	
2	プログラミング入門													シラバスには概要のみ詳細不明	2	2	
3	プログラミング入門B													Aは地域社会学科対象 Bは学校教育課程対象	4	4	
4	プログラミング														3	3	
5	コンピュータ														5	5	
6	コンピュータ概論														4	4	
7	情報基礎														4	4	
8	離散数学	x												シラバスには概要のみ詳細不明(離散数学?)	0	0	
9	コンピュータ概論													2017年度シラバス	3	3	
10	情報数理 (離散計算論) (数値解析)	x												(複素関数論) (線形代数+数値解析)	1	1	
11	コンピュータ概論I														0	0	
12	情報数学I														5	5	
13	アルゴリズムとデータ構造 モデル化とシミュレーション													2017年度シラバス 2017年度シラバス	3	4	
14	コンピュータ														2	4	
15	情報数学														4	4	
16	コンピュータ														3	3	
17	コンピュータ基礎														3	3	
18	電子計算機														2	2	
19	コンピュータ														5	5	
20	情報数学概論														2	2	
21	(数式処理論) (プログラミング概論)														3	3	
22	コンピュータ														5	5	
															3	3	
															4	4	

＜事項No.＞ ＜事項＞	1 基本機能・環境設定 仕様、仕組み、導入、イ ンストール、基本操作、 コマンド、(○○言語と は?)	2 データの構造 数値、文字、演算、リ スト、辞書、配列、 インタ	3 データの処理 変数、条件判断、繰り 返し、関数	4 データの表現 表形式、グラフフィッ ク表示	5 活用(総合演習) 教材開発、数学に關す る計算、課題解決、 ゲームの作成	備考	科目 毎	大 学 全 体
＜キーワード＞								
23 (コンピュータI) (コンピュータII) (情報数学I) (情報数学II)	○ ○ ○ ×	×	○ ○ ○ ×	○ ○ ○ ×	○ ○ ○ ×	(集合・位相論) (代数多様体)	4 5 0 0	5
24 数値情報処理 (1)	○	○	○	×	×		3	4
25 数値情報処理 (2)	×	×	○	×	○		2	4
26 コンピュータ基礎演習 I	○	×	×	○	○		3	3
27 計算機概論	○	○	○	○	○		5	3
28 計算機基礎	○	×	×	○	○		3	3
29 データ分析	×	×	×	×	×		0	0
30 コンピュータ	○	×	×	×	○		2	2
31 (計算機概論A) (計算機概論B)						シラバス上に存在せず	0	0
32 情報科学A	○	×	×	○	○	シラバス上に存在せず	0	0
33 コンピュータ概論	○	○	×	○	○	シラバス上に存在せず	3	3
34 計算機論 I	○	○	△	△	×	シラバスにアクセスできず	0	0
35 情報数学 I	○	△	△	△	○		2	2

【物理学／物理学実験】

中学校理科「第一分野」の内容、高等学校「物理基礎」「物理」の内容について学習指導要領を参考に精査し、学問的見地から①力学、②電磁気学、③熱力学、④波動、⑤現代物理、の5つの事項を立てた。このうち、事項①と事項②にあたる内容は、中高を通して複数回にわたって繰り返し扱われていることから特に重要度が高いと考えられる。④の波動についても同じことが言えるため事項

に加えたが、学問的には力学、電磁気、熱力学各分野の裾野に位置する各論である。事項③については、学習指導要領での扱いは大きくないが、化学（気体、状態変化）、生物（代謝）、地学（大気、気象）など境界分野との関係も深く、学問上の重要度は低くない。⑤の現代物理では、原子・分子、放射線に加えて、半導体など科学技術的側面が高いものも対象とする。中学校第一分野と第二分野の融合事項である「科学技術と人間」と、高等学校物理の最終項目「原子」の内容を包含するものとして位置付ける。

事項①②についてはどこまで深い内容を扱うかによって、各大学で扱いが異なっている。指導要領の記述内容の学習者としてではなく、指導者としてどこまでの知識を必須と考えるのかという点について共通認識がないため、大学の判断に委ねられている。例えば①の力学では、ケプラー運動の詳細や剛体の内容まで扱うか否か、エネルギー保存則にしても微積分を用いた理解まで掘り下げるか否かによって必要時間数が異なる。従って、同じ事項を扱っていても、シラバスにはかなりの相違がある。理想的には講義系科目において5つ全ての事項が網羅されることが望ましいが、大学によっては必修1科目で運用しており、1科目で上記5事項を網羅するとすれば、かなり浅い内容に絞らざるを得ない。講義系科目シラバスの類型として、事項①②に重点をおくタイプ、①②に加えて③の内容を数回挿入しているタイプ、ほぼ全ての事項を網羅するタイプに分けられる。③④の内容は講義系科目から漏れていても、実験系科目で対応する題材が扱われている場合が多い。事項⑤については講義からも実験からも漏れている大学が多い。

【「物理学」（事項数：5）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	2	4.2%	0	0.0%	2	5.7%
1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3	7	14.6%	3	23.1%	4	11.4%
4	17	35.4%	2	15.4%	15	42.9%
5	22	45.8%	8	61.5%	14	40.0%
	48		13		35	

【化学／化学実験】

中学校理科「第一分野」の内容、高等学校「化学基礎」「化学」の内容について学習指導要領を参考に精査し、学問的見地から①原子・分子の構造、②物質の構造と変化、③化学反応、④無機化合物の構造と性質、⑤有機化合物の構造と性質、⑥環境と化学、の6事項を立てた。事項①は原子および分子の構造、化学結合、電子配置と周期表といった内容、事項②は、物質の三態・状態変化、溶液等を想定している。化学への導入となる事項

であり、学習指導要領においても繰り返し扱われている。事項③では、反応式、反応熱・光、平衡

【「化学」（事項数：6）】

	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3	3	6.3%	1	7.7%	2	5.7%
4	16	33.3%	6	46.2%	10	28.6%
5	20	41.7%	4	30.8%	16	45.7%
6	8	16.7%	2	15.4%	6	17.1%
	48		13		35	

条件、反応速度といった一般的な事項に加えて、指導要領において重点が置かれている酸と塩基、酸化・還元、電池、電気分解などの題材を想定している。事項④には、無機物質が関与する化学反応として気体の製法や金属イオン分析を入れた。事項⑤には、ゴムやプラスチックなどの高分子化合物など、種々の有機化合物の構造・合成が含まれる。事項⑥は、中学校第一分野と第二分野の融合事項である「科学技術と人間」と、高等学校化学の最終項目「化学が果たす役割」の内容を包含するものとして位置付ける。

事項①②③の3つは、ほとんどの大学で扱われている。ただし、例えば①の物質の構造、②の物質の三態・状態変化については、数回ずつ配当して概説に留めている大学がほとんどであるが、中には、熱化学、量子化学といった「物理化学」による系統的手法・枠組みに重点をおいてかなりの時間数を配分している大学もあるなど、扱いには若干に違いが見られた。事項④と事項⑤を比較すると、圧倒的に事項⑤の有機化合物の構造と性質に重点が置かれている。無機化合物の構造と性質を十分に理解するためには無機元素の原子軌道と分子軌道に関する詳細な知識が必要であり、事項④はそれらの知識を習得した上での発展的内容と位置付けることもできるため、授業時間数の制約上、同事項を取り扱う大学が少なくなっていることが考えられる。事項⑥については、講義からも実験からも漏れている大学が多い。

【生物学／生物学実験】

事項として挙げたものの中で充足率が高いのは、「3. 生命現象と物質」(84/112)、「2. 生物の系統と進化」(63/112)、および「1. 生物の体のつくりと働き」(56/112)であり、これらは生物学の根幹をなす内容を扱っている。一方で、充足率が低いのは「4. 生殖と発生」(37/112)、「6. 生態と環境」(39/112)、および「5. 環境変化と生物の環境応答」(47/112)である。これらも生物学コアカリキュラムの内容として重要

【「生物学」（事項数：6）】							
	全体		単科11大学		教育学部		
	数	%	数	%	数	%	
0	2	4.2%	0	0.0%	2	5.7%	
1	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%	
2	2	4.2%	1	7.7%	1	2.9%	
3	7	14.6%	2	15.4%	5	14.3%	
4	7	14.6%	2	15.4%	5	14.3%	
5	16	33.3%	4	30.8%	12	34.3%	
6	13	27.1%	4	30.8%	9	25.7%	
	48		13		35		

であるが、これらのテーマの理解を深めるためには、ある一定の期間生物を観察してその変化を見ることが必要になる。そのため、決まった時間の枠内（たとえば生物学実験等）での実験や授業の実施が難しいことから、その充足率が低いのではないかと推察する。しかしながら、生物学全体について見ると、コアカリキュラム案として示した6事項の5/6ないし6/6を網羅している大学が約60%と高い充足率を示している（これは単科11大学も教育学部でも同じ傾向を示す）ことから、生物学という分野の性格上、ある程度専門性の異なった分野の教員でも、コアカリキュラム全体の内容のある程度カバーできるということを示しているものと考えられる。

【地学／地学実験】

地学は上述の生物学と比較して、全体の充足率の偏りが大きいことが特徴である。今回、コアカリキュラム案として示した 7 事項の 3/7 ないし 4/7 しか網羅していない大学が約 50%と半数を占める。これは単科 11 大学も教育学部でも同じ傾向を示す。このことは、いずれの大学においても地学の教員が少ないことと相まって、地学という学問領域の特殊性が表れていると考える。地学は、物理・化学・生物が集まった、ごった煮のような内容でカリキュラムがつけられている。さらに、「7.

恒星の進化と銀河系および銀河、現代の宇宙観」(24/122)や「5. 地球の熱収支と海水の運動」(34/122)などいずれも時間と空間のスケールが膨大で、実験や授業で扱いづらいものがそのほとんどを占めている。このような領域の性格上、ある分野専門性の高い教員が他の分野の内容を教えづらいこと、つまり少ない教員でコアカリキュラム全体の内容をカバーすることが困難であることを示している。「1. 大地の変化-流水の作用と地殻変動」の充足率が高い(64/122)のは、地学の教員に地質学プロパーの教員が多いことに加え、その内容が比較的身近で教えやすいということが表れているのではないだろうか。

(阿武木啓朗、高橋修 記)

【「地学」(事項数：7)】						
	全体		単科11大学		教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	2	4.2%	0	0.0%	2	5.7%
1	1	2.1%	0	0.0%	1	2.9%
2	3	6.3%	0	0.0%	3	8.6%
3	11	22.9%	4	30.8%	7	20.0%
4	13	27.1%	3	23.1%	10	28.6%
5	9	18.8%	3	23.1%	6	17.1%
6	5	10.4%	1	7.7%	4	11.4%
7	4	8.3%	2	15.4%	2	5.7%
	48		13		35	

【理科（物理学）】

<事項No.> <事項>	1 力学	2 電磁気学	3 熱力学	4 波動	5 現代物理	科目毎	大学全体
<キーワード>	(1) 物理量と単位、運動の表 し方 (2) 力と運動の法則 (3) 仕事とエネルギー (4) 運動量と力積、衝突の力 学 (5) 様々な運動	(1) 電荷とクーロンの法則 (2) 電場と電位 (3) 電流、回路 (4) 電流と磁場についての法 則 (5) 電磁誘導の法則 (6) 電磁波と光	(1) 温度と熱 (2) 熱力学第一法則（熱と仕 事、部エネルギー） (3) 熱力学第二法則（熱機関 とエネルギーの質） (4) 気体の分子運動論	(1) 波の伝わり方 (2) 光（反射、屈折、回折、 干渉） (3) 音（干渉、回折、ドップ ラー効果）	(1) 物質の波動性と粒子性 (2) 原子と原子核 (3) 現代物理と科学技術		
	事項を含む科目数	90	54	78	30		
	事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	46	38	45	24		
	一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く	127	127	127	127		
	物理学基礎実験	○	○	○	○	4	5
①	物理学概論 I	○	○	○	○	3	
	物理学概論 II	○	○	○	○	1	
②	物理学基礎実験 I	○	○	○	○	4	4
	物理学基礎実験 II	○	○	○	○	1	
③	物理学概論 I	○	○	○	○	3	3
	物理学概論 II	○	○	○	○	2	
④	物理学講義 I	○	○	○	○	5	5
	物理学講義 II	○	○	○	○	4	4
⑤	物理学実験 I	○	○	○	○	3	3
	物理学実験 II	○	○	○	○	2	
⑥	物理学概論 I	○	○	○	○	4	4
	物理学概論 II	○	○	○	○	1	
⑦	物理学実験 I	○	○	○	○	3	3
	物理学実験 II	○	○	○	○	2	
⑧	物理学概論 I	○	○	○	○	4	4
	物理学概論 II	○	○	○	○	2	
⑨	物理学実験 I	○	○	○	○	3	3
	物理学実験 II	○	○	○	○	2	
⑩	物理学概論 I	○	○	○	○	4	4
	物理学概論 II	○	○	○	○	3	3
⑪	物理学実験 I	○	○	○	○	5	5
	物理学実験 II	○	○	○	○	4	4
⑫	物理学基礎実験	○	○	○	○	3	3
	物理学基礎実験 II	○	○	○	○	2	
⑬	物理学概論 I	○	○	○	○	5	5

<事項No.> <事項>	1 力学	2 電磁気学	3 熱力学	4 波動	5 現代物理		科目 毎	大 学 全 体
					(1) 物質の波動性と粒子性 (2) 原子と原子核 (3) 現代物理と科学技術			
<キーワード>	(1) 物理量と単位、運動の表 し方 (2) 力と運動の法則 (3) 仕事とエネルギー (4) 運動量と力積、衝突の力 学 (5) 様々な運動	(1) 電荷とクーロンの法則 (2) 電場と電位 (3) 電流、回路 (4) 電流と磁場についての法 則 (5) 電磁誘導の法則 (6) 電磁波と光	(1) 温度と熱 (2) 熱力学第一法則（熱と仕 事、部エネルギー） (3) 熱力学第二法則（熱機関 とエネルギーの質） (4) 気体の分子運動論	(1) 波の伝わり方 (2) 光（反射、屈折、回折、 干渉） (3) 音（干渉、回折、ドップ ラー効果）				
	基礎物理学Ⅰ	×	×	×	×	×	1	
	基礎物理学Ⅱ	×	○	×	○	×	2	4
	基礎物理学実験	○	○	○	○	×	4	
	物理学A	×	×	△	×	△	0	0
	物理学実験Ⅰ	△	△	×	△	×	0	
	基礎物理	○	○	○	○	×	4	
	基礎物理学実験Ⅰ	○	×	○	○	×	3	5
	基礎物理学実験Ⅱ	△	○	×	×	○	2	
	物理学概論	○	○	○	×	○	4	5
	物理学実験	○	○	×	○	×	3	
	物理学実験Ⅰ	○	○	×	○	×	4	
	物理学実験Ⅱ	○	○	×	○	×	4	
	物理学概論	○	○	×	×	×	3	5
	物理学実験	○	○	×	×	×	1	3
	(力学)	○	×	×	×	×	1	
	(電磁気学)	×	○	×	×	×	2	
	物理学実験A	○	○	○	○	○	5	5
	物理学演習	○	○	○	○	○	5	
	物理学実験	○	○	○	○	△	4	
	基礎物理学Ⅰ	○	×	×	×	×	1	4
	物理学基礎実験Ⅰ	○	○	○	○	△	0	
	物理学基礎実験Ⅱ						0	
	物理学概論Ⅰ	○	×	×	×	×	1	
	物理学概論Ⅱ	○	×	×	○	×	2	4
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	○	○	○	○	×	4	
	(基礎物理学ⅠA)	×	×	×	×	×	0	
	(基礎物理学ⅡA)	×	×	△	×	△	0	3
	基礎物理学実験	○	○	×	○	×	3	
	環境とエネルギー	○	○	○	○	○	5	5
	基礎物理学実験	○	○	×	○	×	3	
	理科内容基礎A（物理学）	○	×	○	×	×	2	
	理科内容発展A（物理学）	×	○	×	○	×	2	4
	理科実験A（物理学）	○	○	○	○	×	4	
	基礎物理学	○	○	○	○	○	5	5
	基礎物理学実験（コンピュータ活用を含む）	○	○	○	○	△	4	
	物理学一般	○	○	×	○	×	3	
	(電磁気学)	×	○	×	△	×	1	
	(熱力学)	×	×	○	×	×	1	5
	(量子力学)	×	×	×	×	×	1	
	物理学実験Ⅰ（コンピュータ活用を含む。）	○	○	○	○	○	5	
	物理学基礎	○	○	○	○	○	4	4
	物理学基礎実験	○	○	△	○	×	3	
	理科Ⅰ（物理学）	○	○	×	○	×	3	4
	物理学実験及びコンピュータ処理	○	○	○	○	×	4	
	基礎物理学	○	△	×	○	×	2	4
	基礎物理学実験	×	×	△	○	○	3	
	基礎物理学A	○	×	×	×	×	1	5
	基礎物理学B	×	○	×	×	×	1	
	理科実験（物理学）	○	○	○	○	○	5	
	(基礎物理学Ⅰ)	○	×	×	×	×	1	
	(基礎物理学Ⅱ)	×	○	×	×	○	2	5
	物理学実験Ⅰ	○	○	○	○	△	4	
物理学実験Ⅱ	○	○	○	○	△	4		

<事項No> <事項>	1 力学	2 電磁気学	3 熱力学	4 波動	5 現代物理	科目毎	大学全体
<キーワード>	(物理)学概論A)	×	×	×	×	1	
	(物理)学概論B)	×	×	×	×	1	
	(物理)学実験A)	×	×	×	×	2	4
	(物理)学実験B)	×	×	×	×	2	
	物理学実験	△	○	○	×	3	
	(物理)学Ⅰ)	○	×	×	×	1	
	(物理)学Ⅱ)	×	×	×	×	1	5
	(物理)学基礎実験Ⅰ)	○	○	○	○	5	
	(物理)学基礎実験Ⅱ)	○	×	○	×	3	
	(物理)学概論(A)	○	○	○	△	3	
24	(物理)学概論(B)	×	×	△	×	1	4
	(中等理科内容論(物理学)(A)(B))	○	○	○	○	4	
25	物理学実験(コンピュータ活用を含む)(A)(B)	○	○	○	○	4	
	自然システムの理解(物理)	○	○	○	○	5	
26	自然システム理解実験(物理)	○	○	○	○	5	
	(物理)学概論Ⅰ)	○	×	×	×	1	
27	(物理)学概論Ⅱ)	×	○	○	×	2	3
	物理学実験Ⅰ(コンピュータ活用を含む。)	○	○	○	×	3	
28	物理学実験Ⅱ	×	×	×	×	3	
	基礎物理学実験	○	○	○	×	3	
29	物理学基礎	○	○	○	×	0	3
	理科実験3	○	○	○	×	3	
30	物理学概論A	○	×	×	×	2	5
	物理学概論B	×	○	○	○	3	
31	物理学実験	○	○	○	○	4	
	物理学概論	○	○	○	○	4	
32	物理学実験Ⅰ	○	×	×	×	1	4
	物理学実験Ⅱ(コンピュータ活用を含む。)	○	○	○	△	4	
33	物理学概論Ⅰ	○	×	×	×	1	
	物理学概論Ⅱ(コンピュータ活用を含む。)	○	○	○	△	4	4
34	物理学概論Ⅲ	○	×	×	×	2	
	物理学概論Ⅳ	×	○	○	×	2	4
35	(物理)学実験Ⅰ)	△	×	○	△	2	
	(物理)学実験Ⅱ)	○	○	○	×	4	
36	物理学Ⅱ	×	○	○	×	2	4
	物理学実験Ⅰ	○	○	○	×	3	
37	物理学実験Ⅱ	×	○	○	×	3	
	物理学実験Ⅲ	×	○	○	×	3	

【理科：化学】

<事項No.> <事項>	1 原子・分子の構造						2 物質の構造と変化				3 化学反応					4 無機化合物の構造と性質					5 有機化合物の構造と性質					6 環境と化学		科目毎	大学全体	
	(1) 原子構造、電子配置と周期律 (2) 化学結合 - 共有結合 (3) 化学結合 - イオン結合						(1) 固体の構造 (2) 気体の性質 (3) 物質の三態と状態変化 (4) 溶液の性質、相平衡				(1) 反応熱 (2) 化学平衡と反応速度 (3) 酸・塩基反応 (イオン平衡) (4) 酸化還元反応 (5) 化学電池、電気分解					(1) 典型元素 (2) 遷移元素 (3) 気体の製法 (4) 金属錯体 (5) 金属イオンの系統分析					(1) 命名法 (2) 脂肪族炭化水素 (3) 芳香族炭化水素 (4) 天然有機化合物 (5) 合成高分子化合物					(1) 環境と化学 (2) 地球環境問題				
事項を含む科目数	61						62				107					50					84					14				
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数	43						41				47					35					43					12				
一般的包括的内容を含む科目 (と思われる科目) 数 ※シラバスなし科目を除く	127						127				127					126					127					124				
① 化学基礎実験	△						○					○					×					×				×		2		4
化学実験Ⅰ	○						○					○										○				×		4		
化学実験Ⅱ	○						○					○					×								×		3			
② 化学基礎実験	×						○					○					○					○			×		4	5		
化学実験Ⅰ	○						○					○					×					×			×		4			
化学実験Ⅱ	△						○					○					×					×			×		3			
③ 化学基礎実験	○						○					○					○					○			×		2			
化学実験Ⅰ	○						○					○					○					○			×		3			
化学実験Ⅱ	×						○					○					○					○			×		4			
④ 化学基礎実験	△						○					○					△					△			○		3			
化学実験Ⅰ	×						○					○					×					×			×		2			
化学実験Ⅱ	○						○					○					○					○			×		3			
⑤ 化学基礎実験	△						○					○					○					△			○		4			
化学実験Ⅰ	×						○					○					×					×			×		3			
化学実験Ⅱ	×						△					△					×					×			×		2			
⑥ 化学基礎実験	×						○					○					×					×			×		4			
化学実験Ⅰ	○						○					○					×					×			×		3			
化学実験Ⅱ	△						×					△					△					△			×		1			
⑦ 化学基礎実験	×						○					○					×					×			×		3			
化学実験Ⅰ	×						○					○					×					×			×		4			
化学実験Ⅱ	○						○					○					×					×			×		5			
⑧ 化学基礎実験	○						○					○					×					×			×		3			
化学実験Ⅰ	○						○					○					×					×			×		4			
化学実験Ⅱ	×						○					○					×					×			×		5			
⑨ 化学基礎実験	×						○					○					×					×			×		3			
化学実験Ⅰ	○						○					○					×					×			×		4			
化学実験Ⅱ	○						○					○					×					×			×		5			
⑩ 化学基礎実験	△						×					△					×					×			×		3			
化学実験Ⅰ	○						○					○					×					×			×		4			
化学実験Ⅱ	△						×					△					×					×			×		5			
⑪ 化学基礎実験	○						○					○					×					×			×		3			
化学実験Ⅰ	○						○					○					×					×			×		4			
化学実験Ⅱ	×						×					×					×					×			×		5			
⑫ 化学基礎実験	×						○					○					×					×			×		3			
化学実験Ⅰ	○						○					○					×					×			×		4			
化学実験Ⅱ	○						×					×					×					×			×		5			
⑬ 化学基礎実験	○						○					○					×					×			×		3			
化学実験Ⅰ	△						△					△					×					×			×		4			
化学実験Ⅱ	×						×					×					×					×			×		5			
1 基礎化学Ⅰ	○						○					○					×					×			×		2			
基礎化学Ⅱ	×						×					×					×					×			×		3			
基礎化学実験	△						△					△					×					×			×		4			
化学A	○						○					○					×					×			×		5			
2 基礎化学Ⅰ	×						×					×					×					×			×		2			
基礎化学Ⅱ	○						○					○					×					×			×		3			
基礎化学実験Ⅰ	×						×					×					×					×			×		4			
基礎化学実験Ⅱ	×						○					○					×					×			×		5			

<事項No.> <事項>	1 原子・分子の構造 (1) 原子構造・電子配置と周期律 (2) 化学結合 - 共有結合 (3) 化学結合 - イオン結合					2 物質の構造と変化 (1) 固体の構造 (2) 気体の性質 (3) 物質の三態と状態変化 (4) 溶液の性質、相平衡					3 化学反応 (1) 反応熱 (2) 化学平衡と反応速度 (3) 酸・塩基反応 (イオン平衡) (4) 酸化還元反応 (5) 化学電池、電気分解					4 無機化合物の構造と性質 (1) 典型元素 (2) 遷移元素 (3) 気体の製法 (4) 金属錯体 (5) 金属イオンの系統分析					5 有機化合物の構造と性質 (1) 命名法 (2) 脂肪族炭化水素 (3) 芳香族炭化水素 (4) 天然有機化合物 (5) 合成高分子化合物					6 環境と化学 (1) 環境化学物質 (2) 地球環境問題		科目毎	大学全体		
	1					2					3					4					5					6					
	原子・分子の構造					物質の構造と変化					化学反応					無機化合物の構造と性質					有機化合物の構造と性質					環境と化学					
4	化学概論	○					○					○					△					○				×			4	4	
5	化学実験																													0	0
6	化学概論	○					○					○										○				×			5	5	
7	基礎の化学	×					○					○										○				○			6	6	
8	基礎化学	○					○					○										○				×			3	4	
9	化学実験 I	×					○					○										○				×			3	4	
10	基礎化学	○					○					○										○				×			2	4	
11	基礎化学 I	○					○					○										○				×			3	5	
12	基礎化学 II	×					○					○										○				×			4	5	
13	基礎化学 I A	△					○					○										○				×			1	4	
14	基礎化学 I B	○					○					○										○				×			3	5	
15	基礎化学 II A	○					○					○										○				×			4	5	
16	基礎化学 II B	×					○					○										○				×			5	5	
17	物理化学概論	○					○					○										○				×			3	5	
18	基礎化学	△					○					○										○				×			4	6	
19	基礎化学実験	×					○					○										○				×			2	5	
20	基礎化学 A	○					○					○										○				×			4	6	
21	基礎化学 B	△					○					○										○				×			3	5	
22	理科実験 (化学)	×					○					○										○				×			1	4	
23	基礎化学 I	○					○					○										○				×			2	6	
24	基礎化学 II	△					○					○										○				×			3	5	
25	基礎化学 III	×					○					○										○				×			4	6	
26	基礎化学 IV	○					○					○										○				×			5	7	
27	基礎化学 V	△					○					○										○				×			6	8	
28	基礎化学 VI	×					○					○										○				×			7	9	
29	基礎化学 VII	○					○					○										○				×			8	10	
30	基礎化学 VIII	△					○					○										○				×			9	11	
31	基礎化学 IX	×					○					○										○				×			10	12	
32	基礎化学 X	○					○					○										○				×			11	13	
33	基礎化学 XI	△					○					○										○				×			12	14	
34	基礎化学 XII	×					○					○										○				×			13	15	
35	基礎化学 XIII	○					○					○										○				×			14	16	
36	基礎化学 XIV	△					○					○										○				×			15	17	
37	基礎化学 XV	×					○					○										○				×			16	18	
38	基礎化学 XVI	○					○					○										○				×			17	19	
39	基礎化学 XVII	△					○					○										○				×			18	20	
40	基礎化学 XVIII	×					○					○										○				×			19	21	
41	基礎化学 XIX	○					○					○										○				×			20	22	
42	基礎化学 XX	△					○					○										○				×			21	23	
43	基礎化学 XXI	×					○					○										○				×			22	24	
44	基礎化学 XXII	○					○					○										○				×			23	25	
45	基礎化学 XXIII	△					○					○										○				×			24	26	
46	基礎化学 XXIV	×					○					○										○				×			25	27	
47	基礎化学 XXV	○					○					○										○				×			26	28	
48	基礎化学 XXVI	△					○					○										○				×			27	29	
49	基礎化学 XXVII	×					○					○										○				×			28	30	
50	基礎化学 XXVIII	○					○					○										○				×			29	31	
51	基礎化学 XXIX	△					○					○										○				×			30	32	
52	基礎化学 XXX	×					○					○										○				×			31	33	
53	基礎化学 XXXI	○					○					○										○				×			32	34	
54	基礎化学 XXXII	△					○					○										○				×			33	35	
55	基礎化学 XXXIII	×					○					○										○				×			34	36	
56	基礎化学 XXXIV	○					○					○										○				×			35	37	
57	基礎化学 XXXV	△					○					○										○				×			36	38	
58	基礎化学 XXXVI	×					○					○										○				×			37	39	
59	基礎化学 XXXVII	○					○					○										○				×			38	40	
60	基礎化学 XXXVIII	△					○					○										○				×			39	41	
61	基礎化学 XXXIX	×					○					○										○				×			40	42	
62	基礎化学 XL	○					○					○										○				×			41	43	
63	基礎化学 XLI	△					○					○										○				×			42	44	
64	基礎化学 XLII	×					○					○										○				×			43	45	
65	基礎化学 XLIII	○					○					○										○				×			44	46	
66	基礎化学 XLIV	△					○					○										○				×			45	47	
67	基礎化学 XLV	×					○					○										○				×			46	48	
68	基礎化学 XLVI	○					○					○										○				×			47	49	
69	基礎化学 XLVII	△					○					○										○				×			48	50	
70	基礎化学 XLVIII	×					○					○										○				×			49	51	
71	基礎化学 XLIX	○					○					○										○				×			50	52	
72	基礎化学 L	△					○					○										○				×			51	53	
73	基礎化学 LI	×					○					○										○				×			52	54	
74	基礎化学 LII	○					○					○										○				×			53	55	
75	基礎化学 LIII	△					○					○										○				×			54	56	
76	基礎化学 LIV	×					○					○										○				×			55	57	
77	基礎化学 LV	○					○					○										○				×			56	58	
78	基礎化学 LVI	△					○					○										○				×			57	59	
79	基礎化学 LVII	×					○					○										○				×			58	60	
80	基礎化学 LVIII	○					○					○										○				×			59	61	
81	基礎化学 LIX	△					○					○										○				×			60	62	
82	基礎化学 LX	×					○					○										○				×			61	63	
83	基礎化学 LXI	○					○																								

<事項No.> <事項>	1												2												3												4												5												6												科目 毎	大学 全体																																																																																															
	原子・分子の構造												物質の構造と変化												化学反応												無機化合物の構造と性質												有機化合物の構造と性質												環境と化学																																																																																																												
	(1) 原子構造、電子配置と周期律 (2) 化学結合 - 共有結合 (3) 化学結合 - イオン結合												(1) 固体の構造 (2) 気体の性質 (3) 物質の三態と状態変化 (4) 溶液の性質、相平衡												(1) 反応熱 (2) 化学平衡と反応速度 (3) 酸・塩基反応 (イオン平衡) (4) 酸化還元反応 (5) 化学電池、電気分解												(1) 典型元素 (2) 遷移元素 (3) 気体の製法 (4) 金属錯体 (5) 金属イオンの系統分析												(1) 命名法 (2) 脂肪族炭化水素 (3) 芳香族炭化水素 (4) 天然有機化合物 (5) 合成高分子化合物												(1) 環境化学物質 (2) 地球環境問題																																																																																																												
25	自然システムの理解 (化学)												△												○												○												×												△												×												×												2	4																																																																							
26	化学理論												○												○												○												×												○												○												○												3	5	6																																																																						
27	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)												△												○												○												×												○												○												○												5	6																																																																							
	化学理論 I												○												○												○												×												○												○												○												5																																																																								
	基礎化学実験												×												×												○												×												○												×												×												2	6																																																																							
	基礎化学実験												×												○												×												○												×												○												×												2																																																																								
28	化学基礎												○												×												○												×												○												×												○												○												3	3																																																											
	理科実験 2												△												○												○												×												○												×												×												×												1	5																																																											
	化学理論 A												×												○												○												×												○												×												×												×												2																																																												
29	化学理論 B												○												○												○												○												○												○												○												○												○												4	5																																															
	化学実験												×												○												○												○												○												○												○												○												○												4	4																																															
	化学理論												○												○												○												○												○												○												○												○												○												4																																																
	化学実験 I												○												○												○												○												○												○												○												○												○												2	3																																															
	基礎化学												×												△												○												○												○												○												○												○												○												2																																																
31	基礎化学演習												×												×												○												○												○												○												○												○												○												○												2	3																																			
	化学実験												×												○												○												○												○												○												○												○												○												○												2	5																																			
	化学理論												○												○												○												○												○												○												○												○												○												○												4																																				
32	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)												×												△												○												○												○												○												○												○												○												○												2	5																																			
	化学理論 I												○												○												○												○												○												○												○												○												○												○												4	5																																			
	化学基礎実験 I (コンピュータ活用を含む。)												×												○												○												○												○												○												○												○												○												○												4																																				
	無機化学												○												×												×												×												×												×												×												×												×												×												2	4																																			
	有機化学 I												×												△												○												○												○												○												○												○												○												○												2																																				
34	(化学実験 I)												×												×												○												○												○												○												○												○												○												○												○												3	4																							
	(化学実験 II)												×												○												○												○												○												○												○												○												○												○												○												3	4																							
	化学 II												○												×												○												○												○												○												○												○												○												○												○												3																								
35	化学実験 I												△												○												○												○												○												○												○												○												○												○												○												○												3	4											
	化学実験 II												×												○												○												○												○												○												○												○												○												○												○												○												○												3

【理科：生物学】

＜事項No.＞		1 生物の体のつくりと働き 植物のつくりと働き・動物の つくりと働き		2 生物の系統と進化 植物の分類・動物の分類・生 物の系統と進化		3 生命現象と物質 細胞内部構造・呼吸・光合 成・窒素同化・遺伝・DNA		4 生殖と発生 生殖・発生		5 環境変化と生物の環境応答 環境変化・変容・反応・ホメ オスタシス（恒常性の維持）		6 生態と環境 共通性と多様性・植生・遷 移・生態系・保全		科 目 毎	大 学 全 体
＜事項＞															
＜キーワード＞															
事項を含む科目数		56		63		84		37		47		39			
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数		40		39		45		27		35		26			
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く		112		112		112		112		112		112			
①	生物学基礎Ⅰ	△		○		○		○		×		×		3	4
②	生物学基礎実験	○		×		○		○		×		×		2	2
③	生物学基礎Ⅱ	×		○		○		×		×		△		2	6
④	生物学基礎Ⅰ	○		○		○		○		○		○		5	6
⑤	生物学基礎Ⅰa	○		○		○		×		×		○		4	5
⑥	生物学	×		○		○		×		○		○		4	4
⑦	生物学実験	○		○		○		△		○		△		4	5
⑧	生物学基礎Ⅱ	×		○		○		○		○		×		4	5
⑨	生物学基礎Ⅰ	○		○		○		×		×		×		3	3
⑩	生物学基礎Ⅱ	○		×		○		×		×		×		2	4
⑪	生物学基礎Ⅲ	△		○		○		△		×		△		2	5
⑫	生物学基礎Ⅳ	×		○		○		×		○		×		3	4
⑬	生物学基礎Ⅴ	○		○		○		△		○		△		2	6
⑭	生物学基礎Ⅵ	△		×		△		×		○		△		2	3
⑮	生物学基礎Ⅶ	×		△		△		×		×		△		2	6
⑯	生物学基礎Ⅷ	○		○		○		×		×		×		2	0
⑰	生物学基礎Ⅸ	○		×		○		○		○		○		5	0
⑱	生物学基礎Ⅹ	○		×		○		×		○		×		0	4
⑲	生物学基礎Ⅺ	○		△		△		○		○		×		3	4
⑳	生物学基礎Ⅻ	○		×		△		×		○		×		2	3
㉑	生物学基礎Ⅼ	○		×		○		×		○		×		3	0
㉒	生物学基礎Ⅽ	○		○		○		○		○		○		0	6
㉓	生物学基礎Ⅾ	○		△		△		○		○		○		5	6
㉔	生物学基礎Ⅿ	○		×		△		×		○		×		3	5
㉕	生物学基礎ⅰ	○		×		○		×		○		×		1	5
㉖	生物学基礎ⅱ	○		×		×		○		○		×		4	5
㉗	生物学基礎ⅲ	○		△		△		×		×		×		2	5
㉘	生物学基礎ⅳ	○		△		△		×		×		×		2	2
㉙	生物学基礎ⅴ	○		△		△		×		×		×		2	2
㉚	生物学基礎ⅵ	○		△		△		×		×		×		2	2
㉛	生物学基礎ⅶ	○		△		△		×		×		×		2	2
㉜	生物学基礎ⅷ	○		△		△		×		×		×		2	2
㉝	生物学基礎ⅸ	○		△		△		×		×		×		2	2
㉞	生物学基礎ⅹ	○		△		△		×		×		×		2	2
㉟	生物学基礎ⅺ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊱	生物学基礎ⅻ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊲	生物学基礎ⅼ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊳	生物学基礎ⅽ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊴	生物学基礎ⅾ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊵	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊶	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊷	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊸	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊹	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊺	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊻	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊼	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊽	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊾	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
㊿	生物学基礎ⅿ	○		△		△		×		×		×		2	2
1	基礎生物学Ⅰ	○		×		○		○		○		○		5	0
2	基礎生物学Ⅱ	○		×		○		×		○		×		0	0
3	基礎生物学Ⅲ	○		△		△		○		○		×		3	4
4	基礎生物学Ⅳ	○		×		△		×		○		×		2	3
5	基礎生物学Ⅴ	○		×		○		×		○		×		3	3
6	基礎生物学Ⅵ	○		○		○		○		○		○		0	0
7	基礎生物学Ⅶ	△		△		△		○		△		○		6	6
8	基礎生物学Ⅷ	×		△		×		○		×		×		1	5
9	基礎生物学Ⅸ	○		×		○		○		○		×		4	5
10	基礎生物学Ⅹ	△		△		△		×		×		×		2	5
11	基礎生物学Ⅺ	△		△		△		×		×		×		2	5
12	基礎生物学Ⅻ	△		△		△		×		×		×		2	5
13	基礎生物学Ⅼ	△		△		△		×		×		×		2	5
14	基礎生物学Ⅽ	△		△		△		×		×		×		2	5
15	基礎生物学Ⅾ	△		△		△		×		×		×		2	5
16	基礎生物学Ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
17	基礎生物学ⅰ	△		△		△		×		×		×		2	5
18	基礎生物学ⅱ	△		△		△		×		×		×		2	5
19	基礎生物学ⅲ	△		△		△		×		×		×		2	5
20	基礎生物学ⅳ	△		△		△		×		×		×		2	5
21	基礎生物学ⅴ	△		△		△		×		×		×		2	5
22	基礎生物学ⅵ	△		△		△		×		×		×		2	5
23	基礎生物学ⅶ	△		△		△		×		×		×		2	5
24	基礎生物学ⅷ	△		△		△		×		×		×		2	5
25	基礎生物学ⅸ	△		△		△		×		×		×		2	5
26	基礎生物学ⅹ	△		△		△		×		×		×		2	5
27	基礎生物学ⅺ	△		△		△		×		×		×		2	5
28	基礎生物学ⅻ	△		△		△		×		×		×		2	5
29	基礎生物学ⅼ	△		△		△		×		×		×		2	5
30	基礎生物学ⅽ	△		△		△		×		×		×		2	5
31	基礎生物学ⅾ	△		△		△		×		×		×		2	5
32	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
33	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
34	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
35	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
36	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
37	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
38	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
39	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
40	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
41	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
42	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
43	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
44	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
45	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
46	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
47	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
48	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
49	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
50	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
51	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
52	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
53	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
54	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
55	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
56	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
57	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
58	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
59	基礎生物学ⅿ	△		△		△		×		×		×		2	5
60	基礎生物学														

<事項No.> <事項>	1 生物の体のつくりと働き 植物のつくりと働き・動物の つくりと働き	2 生物の系統と進化 植物の分類・動物の分類・生 物の系統と進化	3 生命現象と物質 細胞内環境・代謝・呼吸・光合 成・窒素同化・遺伝・DNA	4 生殖と発生 生殖・発生	5 環境変化と生物の適応・変 異・進化・生態系・保全	6 生殖と発生 生殖・発生	科目 毎	大 学 全 体
<キーワード>								
基礎生物学 生物学実験 I (コンピュータ活用を含む。)	x	○	○	○	○	○	5	6
生物学概論 I (コンピュータ活用を含む。)	△	○	○	△	△	△	1	
生物学基礎実験 I (コンピュータ活用を含む。)	○	○	○	△	△	△	2	3
動物生理学	x	○	x	△	x	x	2	
植物生理学	△	x	○	x	○	x	2	
34 (生物学実験 I)..... (生物学実験 II)	○	○	○	△	x	△	3	5
生物学 II	○	○	△	○	△	△	3	
生物学実験 I	△	○	△	○	○	○	5	
生物学実験 II	△	△	○	△	△	x	1	6

【理科：地学】

<事項No>		1	2	3	4	5	6	7	科目毎	
<事項>		大地の変化・流水の作用と地殻変動 風化・侵蝕・堆積・堆積・隆起・沈降・地層の重なり方・地層の広がり・日本列島の成り立ち・身近な地層の観察	生物の進化と地球環境の環境変化 化石・進化・地質年代・環境変化	火山の噴火と地震 火山・地震・地球の内部構造・自然災害	気象観測と日本付近の天気の変化 気象観測・湿度と気温・水蒸気量・高気圧・低気圧・台風・梅雨・曇りの天気	地球の熱収支と海水の運動 大気・海洋・大気・海水の運動・熱収支・海流	太陽系の惑星・衛星の運動やその見え方 地球・太陽・月・衛星・惑星の性質・進化・銀河系	恒星の進化と銀河系および銀河、現代の宇宙観		
<キーワード>										
事項を含む科目数		64	45	37	40	34	33	24		
事項を含む科目を一科目以上置いている大学数		41	30	31	24	26	24	19		
一般的包括的内容を含む科目（と思われる科目）数 ※シラバスなし科目を除く		122	122	122	122	122	122	122		
①	地学基礎実験	×	○	×	○	×	×	×	2	3
	地学概論Ⅰ	×	×	×	○	○	×	×	2	
②	地学概論Ⅱ	△	△	○	×	×	△	×	1	
	地学基礎実験Ⅱ	×	×	×	×	×	○	○	2	4
③	地学概論Ⅰ	○	×	×	×	×	○	○	3	
	地学実験Ⅰ	○	○	○	×	×	×	×	3	3
④	地学実験Ⅱ	○	×	×	△	○	×	×	2	
	地学実験Ⅲ	○	×	×	○	×	△	×	2	3
⑤	地学実験Ⅳ	○	○	×	×	×	○	○	4	4
	地学実験Ⅴ	○	×	×	×	×	○	○	3	
⑥	地学実験Ⅵ	△	○	○	×	×	○	△	3	6
	地学実験Ⅶ	○	×	○	○	×	△	×	3	
⑦	地学Ⅰ	×	○	○	○	○	○	○	6	7
	地学Ⅱ	×	○	○	○	○	○	○	4	
⑧	地学Ⅲ	×	△	○	×	×	×	×	2	5
	地学Ⅳ	○	×	×	×	×	○	○	2	
⑨	地学Ⅴ	○	×	○	○	×	○	○	6	7
	地学Ⅵ	○	×	×	×	×	△	×	2	
⑩	地学Ⅶ	×	×	×	○	○	○	×	3	5
	地学Ⅷ	△	△	×	×	×	△	×	1	
⑪	地学Ⅸ	×	△	△	×	△	△	×	0	5
	地学Ⅹ	○	△	×	×	×	○	○	3	
⑫	地学Ⅺ	○	×	×	○	○	○	×	3	4
	地学Ⅻ	×	×	×	×	×	×	×	1	
⑬	地学Ⅼ	×	×	×	×	×	×	×	0	
	地学Ⅽ	○	○	○	×	×	×	×	3	3
	地学Ⅾ	○	○	×	×	×	×	×	2	
	地学Ⅿ	○	○	×	×	×	×	×	0	0
1	基礎地学Ⅰ	△	△	△	△	△	△	△	0	
	基礎地学Ⅱ	△	×	△	×	×	△	×	0	
2	地学ⅰ	△	○	×	×	×	×	×	1	1
	地学ⅱ	△	△	△	△	△	△	△	0	
3	基礎地学実験Ⅰ	×	○	○	○	○	×	×	4	6
	基礎地学実験Ⅱ	○	×	×	○	○	×	×	3	
4	地学ⅲ	○	○	○	×	○	×	△	3	3
	地学ⅳ	○	○	○	×	×	×	×	3	
5	地学ⅴ	○	○	○	×	×	×	×	0	0

<事項No.>	1	2	3	4	5	6	7	科目毎
<事項>	大地の変化・流水の作用と地殻変動	生物の進化と地球環境の変遷	火山の噴火と地震	気象観測と日本付近の天気の変化	地球の熱収支と海水の運動	太陽系の惑星・衛星の運動やその見え方	恒星の進化と銀河系および銀河、現代の宇宙観	大 学 全 体
<キーワード>	風化・侵食・運搬・堆積・隆起・沈降・地層の重なり方・地層の広がり・日本列島の成り立ち・身近な地層の観察	化石・進化・地質年代・環境変化	火山・地震・地球の内部構造・自然災害	気象観測・湿度と気温・水蒸気量・高気圧・低気圧・台風・梅雨・雪のでき方・日本の天気	大気・構造・大気の運動・海水の構造・海水の運動・熱収支・海流	地球・太陽・月・衛星・惑星の性質・進化・銀河系		
6 地学概論	○	×	○	×	○	△	×	3
地学実験	○	○	×	△	×	△	×	2
基礎の地球科学	○	○	×	×	×	△	△	2
7 (地球科学)	△	×	○	×	×	△	△	1
基礎地学実験	△	○	×	△	×	○	×	2
(火山学)	×	×	○	×	×	×	×	1
(気象学)	×	×	×	○	○	×	×	2
地学実験A	×	×	△	○	×	△	×	1
地学	×	×	○	×	△	○	○	3
地学演習	×	△	○	×	×	○	○	3
地学実験	○	△	△	△	×	○	○	3
基礎地学Ⅰ	○	△	○	×	○	△	△	3
基礎地学Ⅱ	○	△	×	×	×	△	×	2
地学概説Ⅰ	△	×	△	×	×	×	×	1
地学概説Ⅱ	×	×	×	○	×	×	×	0
地学実験Ⅰ	○	×	×	○	△	×	×	1
地学実験Ⅱ	○	×	×	○	△	×	×	1
地学実験Ⅲ	○	×	×	○	×	×	×	3
地学実験Ⅳ	○	×	×	○	×	△	×	1
(基礎地学Ⅰ)	×	○	×	×	△	△	△	1
(基礎地学Ⅱ)	○	○	×	×	△	△	△	1
地学基礎実習	○	×	×	×	○	△	×	3
地球素履実習	○	×	○	×	○	△	×	2
基礎地球学実験	○	○	×	×	×	×	×	2
理科内容基礎D(地学)	×	×	×	×	×	○	○	2
理科内容基礎D(地学)	○	×	○	×	×	×	×	1
理科実験D(地学)	○	×	×	×	×	×	×	1
基礎地学	○	○	△	×	×	×	×	2
基礎地学実験(コンピュータ活用を含む)	×	×	○	×	○	△	×	3
地学一般	△	○	×	×	×	△	×	1
(地球環境学)	△	○	○	×	×	×	×	1
(地球変動学)	△	×	△	×	×	×	×	0
地学実験Ⅰ(コンピュータ活用を含む。)	○	○	×	×	×	×	×	2
地学基礎	△	○	○	△	×	△	△	2
地学基礎実験	○	×	×	○	×	△	×	2
理科Ⅳ(地学)	×	△	×	×	○	△	×	1
地学実験及びコンピュータ処理	○	×	△	○	×	△	×	2
基礎地学	○	○	○	○	△	○	△	5
地学実験	○	○	△	○	×	△	×	3
基礎地学A	×	△	○	×	×	×	×	0
基礎地学B	○	○	○	×	×	×	×	1
理科実験(地学)	×	○	×	×	×	○	○	4
(基礎地学Ⅰ)	△	○	△	△	△	○	×	2
(基礎地学Ⅱ)	○	△	×	△	△	×	×	1
地学実験Ⅰ	○	○	×	○	×	△	×	3
地学実験Ⅱ	○	×	×	○	○	△	×	3
(地学概説A)	○	○	○	×	×	×	×	3
(地学概説B)	×	×	×	○	×	○	○	4
地学実験	×	△	△	○	○	○	×	3
(地学Ⅰ)	△	×	△	△	×	×	×	2
(地学Ⅱ)	○	○	×	×	×	×	×	2
地学基礎実験Ⅰ	○	○	×	×	×	×	×	2
(地学基礎実験Ⅱ)	×	○	×	×	×	×	×	1

<事項No>	<事項>	1 大地の変化・流水の作用と 地殻変動 風化・侵食・運搬・堆積・ 隆起・沈降・地層の重なり 方・地層の広がり・日本列 島の成り立ち・身近な地層 の観察	2 生物の進化と地球環境の変 遷 化石・進化・地質年代・環 境変化	3 火山の噴火と地震 火山・地震・地球の内部構 造・自然災害	4 気象観測と日本付近の天気 の変化 気象観測・温度と気温・水 蒸気量・高気圧・低気圧・ 台風・梅雨・雪のでき方・ 日本の天気	5 地球の熱収支と海水の運動 大気・海洋・大気・大気・水 の循環・海水の運動・ 熱収支・海流	6 太陽系の惑星・衛星の運動 やその見え方 地球・太陽・月・衛星・惑 星の性質・進化・銀河系	7 恒星の進化と銀河系および 銀河・現代の宇宙観	科目 毎	大 学 全 体
24	(地学概論(1)・(2)) (中等理科内容編(地学)(1)・(2))	△	×	○	○	○	×	○	4	6
	地学実験(コンピュータ活用を含む)(1)	○	×	△	○	○	×	×	4	
	地学実験(コンピュータ活用を含む)(2)	○	×	×	○	○	×	×	2	
25	自然システムの理解(地学)	○	×	○	×	×	×	×	3	
	自然システム理解実験(地学)	○	×	×	○	×	×	×	2	
26	地学概論	×	×	×	○	○	○	○	4	5
	地学実験(コンピュータ活用を含む)	○	×	×	×	△	×	×	1	
	地学概論I	×	×	△	○	○	×	×	2	
27	地学概論II	△	×	×	×	×	○	○	2	4
	基礎地学実験	△	×	△	△	×	△	×	0	
	地学基礎	○	○	△	×	×	×	×	2	
28	理科実験1	○	○	×	×	×	×	×	2	
	地学概論A	×	×	○	×	×	×	×	1	
29	地学概論B	×	○	×	×	○	×	×	2	7
	地学実験	○	×	△	○	○	○	○	5	
30	地学概論	○	×	×	○	○	×	×	3	5
	地学実験I	○	×	×	○	○	○	○	5	
	基礎地学	○	○	○	×	×	×	×	3	
31	基礎地学演習	○	○	○	×	×	×	×	0	3
	地学実験	○	○	○	×	×	×	×	3	
32	地学概論	△	△	○	△	△	○	○	3	5
	地学実験(コンピュータ活用を含む)	○	×	×	○	×	×	×	3	
33	地学概論I(コンピュータ活用を含む)	○	○	×	×	×	×	×	2	
	地学基礎実験I(コンピュータ活用を含む)	○	○	×	×	×	×	×	2	
	地学概論I	×	×	○	○	○	×	×	3	
34	地学概論II	○	○	○	×	×	×	×	3	5
	(地学実験I)	×	×	△	△	×	×	×	0	
	(地学実験II)	○	○	△	△	×	△	×	2	
	地学II	×	×	×	○	○	○	○	4	
	地学実験I	○	○	×	○	×	△	×	3	6
35	地学実験II	○	×	×	×	△	×	×	1	

一覧表の要約

国語	事項数	最頻値	最稀値	半分以上の大学が含む事項数（34 大学）
国語学	7	文法 (55/82)	文体 (22/82)	5
国文学	7	国文学全般 (56/129)	近代文学③ (8/129)	4
漢文学	7	漢詩 (38/76)	漢字そのものに関する知識 (9/76)	4
書写	6	楷書、漢字・仮名 (52/68)	書くことの生活化 (17/68)	4

社会	事項数	最頻値	最稀値	半分以上の大学が含む事項数（35-6 大学）
地理学	18	人口・都市・村落 (57/122)	民族・宗教 (7/122)	8
歴史 （日本史）	15 (KW)	歴史学の基礎と方法論 (58/58)	日本の現代的課題 (10/57)	8
歴史 （東洋史）	16 (KW) + 12 (KW)	歴史学の基礎と方法論 (30/47)	現代の地球的課題 (KY) (0/50)	9
歴史 （西洋史）	12 (KW)	歴史学の基礎と方法論 (43/54)	現代の地球的課題 (KY) (2/54)	
「法学、政治学」	8	日本の議会制民主主義と政治 (31/50)	地方自治 (12/49)	3
「社会学・政治学」	8	社会学の基礎理論 (35/46)	社会政策・社会保障 (5/49)	4
「哲学、倫理学、宗教学」	8	西洋哲学史 (46/88)	イスラーム (2/88)	2

数学	事項数	最頻値	最稀値	半分以上の大学が含む事項数（35 大学）
代数学	4	行列/方程式 (49/95)	集合 (4/95)	1
幾何学	5	平面図形 (30/88)	位相幾何学 (13/88)	1
解析学	6	関数 (60/93)	リーマン積分 (15/93)	4
「確率論、統計学」	7	確率変数 (53/70)	データの整理 (28/70)	5
コンピュータ	5	基本機能・環境設定 (43/53)	データ表現 (26/53)	3

理科	事項数	最頻値	最稀値	半分以上の大学が含む事項数（35 大学）
物理	5	力学 (90/127)	現代物理 (30/127)	4
化学	6	化学反応 (107/127)	環境と化学 (14/124)	5
生物	6	生命現象と物質 (84/112)	生殖と発生 (37/112)	5
地学	7	大地の変化－流水の作用と地殻変動 (64/122)	恒星の進化と銀河系および銀河、現代の宇宙観 (24/122)	3

2. 教職課程に係るアンケート調査

1. アンケート調査の目的と方法

(1) 教員養成のための教育組織の設置状況、学士課程の教育目標と教職課程の教育目標との関係、「一般的・包括的内容を含む科目」とそれ以外の科目の関係、校種・教科ごとの専門的事項のあり方について意見等を知るために、それらを問うアンケート調査を実施した。

(2) 対象としたのは、教職大学院を有する国立大学（46 大学）。

(3) 調査方法は、まず、平成 30 年 11 月 1 日付で対象大学の教育担当副学長あるいは教員養成系学部長宛に文書にて協力を依頼した後、事務局宛にメールにて回答フォームを送信、平成 30 年 11 月 22 日を期限としてメールでの回答票提出を依頼した。この項末に送付鑑及びメールで送信した回答様式を示した。

(4) 回答があったのは、32 大学であった。回収率は 69.6%。

2. 結果と考察

(1) 設問1 教員養成のための教育組織の設置状況

設問及び回答様式は以下のようであった。

< 設問 1 >

貴大学(学部)では、教員養成のための学生組織（例：学校教育教員養成課程など）あるいは教職課程を履修する学生の指導のために、講座等の教員組織とは別個の教育上の組織を設置していますか。

下記の「設置している」または「設置していない」のいずれかに☒を入れ、「設置している」場合は、組織について①～③の中から該当するものを選択してください。

回 答

☐ 設置している

☐ ①教科別

☐ ②教科を中心としながら非教科（環境教育、国際教育等）のものも含んでいる。
 ※②について、具体的にご記入ください。
 （）

☐ ③上記①②のどちらでもない。
 ※③について、具体的にご記入ください。
 （）

☐ 設置していない

回答を集計した結果が下表である。回答は、4つの選択肢にほぼ均等にばらつくというものであった。②には、学校教育や心理等の他、教科を大括り化したようなものが含まれているもの（言語、理数、科学教育等）があった。③には、学校種によるもの（初等、中等等）クラスによるもの、教

科に拠らない教職員組織を置くもの等があった。教科中心とは言えるが、新しい組織を置くところ及び置かないところも少なくなく約半数程度となっている。

設問 1 の回答集計

	大学数	%
①教科別に設置している	7	21.9%
②教科を中心に非教科（環境・国際等）も含めて設置している	8	25.0%
③上記①②以外の方法で設置している	9	28.1%
設置していない	8	25.0%
回答大学数	32	

(2) 設問 2 学士課程の教育目標と教職課程の教育目標との関係

設問及び回答様式は以下に示すとおりである。

< 設問 2 >
貴大学(学部)では、学士課程の教育目標と中学校教諭・高等学校教諭養成のための教職課程の教育目標との関係をどのようにお考えですか。
(記入例)
本学部の学士課程の教育目標である「〇〇〇〇……………〇〇〇」を身に付けることによって、中学校(あるいは高等学校)△△科の教員として必要な教科指導の基礎的力量も身に付けられる。さらに、教職課程に開設する「教職に関する科目」を学ぶことで、教師としての多様な力が身に付くと考えている。

回答を、教職課程の教育目標と学士課程の教育目標の包含関係で整理したところ、学士課程の教育目標に教職課程の目標が含まれるという回答が半数（16/32）、両者は一致しているという回答が 40%（13/32）、教職課程の教育目標に学士課程の目標が含まれるという回答はそれほど多くなかった（4/32）。教員養成大学・学部が調査対象であったため、両者は一致している、あるいは、教職課程の教育目標に学士課程の目標が含まれるというものが多いかと思われたが、教職課程の教育目標より広い教育目標を学士課程では置いているという大学が半数にのぼった。その例を挙げると、グローバルな視野と高度なコミュニケーション力を含む幅広い教養、よりよい人間関係の構築、主体的で豊かな人間性等である。

(3) 設問3 「一般的・包括的内容を含む科目」とそれ以外の科目の関係

設問及び回答様式は以下に示すとおりである。

<設問3>
貴大学(学部)の教職課程に開設している「教科に関する科目」についてお伺いします。免許法施行規則で定める「一般的・包括的内容を含む」こととなる科目以外の科目は、どのような狙いで開設されているのでしょうか。「一般的・包括的内容を含む科目」とそれ以外の「教科に関する科目」との関係を踏まえて御回答ください。
(記入例)
「一般的・包括的内容を含む科目」において当該領域の基礎的かつ概括的な知識や理論を踏まえていることを前提に、「教科に関する科目」(あるいは「教科に関する専門的事項」)においてより専門的な事項を学ぶように、科目を配列し、あわせて学生への履修指導も行っている。

回答のあった大学・学部のほとんどすべてが、記入例にあったように、「一般的・包括的内容を含む科目」で、基礎的・概括的な事柄を学び、それらを前提に、より専門的で深い内容を学ぶためにそれ以外の科目を置いているという回答であった。

(4) 設問4 校種・教科ごとの専門的事項のあり方

設問及び回答様式は以下に示すとおりである。

<設問4>	
免許法施行規則には、それぞれの校種・教科ごとに、1単位以上の授業を学生に修得させるべき専門的事項(例えば、中学校社会科でいえば、日本史及び外国史、地理(地誌を含む)、「経済学、社会学」等々)の内容が定められています。この専門的事項のあり方について、貴大学(学部)ではどのようにお考えでしょうか。 下記の各校種・教科ごとに、①～③のいずれかに☑を入れ、①または②を選択された場合は、選択理由をあわせて御回答ください。(計9教科)	
<table border="1"><tr><td>中学校・国語</td></tr></table> ☐ ①妥当である ☐ ②妥当でない ☐ ③認定課程を有していない 「①妥当である」または「②妥当でない」を選択した理由	中学校・国語
中学校・国語	

①～③のいずれの選択肢を選択したか、及び意見があった場合にはその意見についても分類し、学校種と教科から整理した結果が下の表である。総じて、妥当であるとする回答が多かったが、妥当でないとする回答は、理数系教科に比して、文科系教科で多かった。文科系教科で妥当でないとする意見としては、含まれるべき内容にかかわるものが共通しており、社会科に関しては、単位数に係る意見も見られている。理数系教科は、妥当でないとする場合の意見としては、単位数に係るものが見られた。

設問 4 への回答分類

	中 学				高 校				
	国語	社会	数学	理科	国語	地歴	公民	数学	理科
妥当である	22	23	27	27	23	23	24	28	25
意見有(内数)	2	2	3	3	4	5	5	3	4
妥当でない	8	9	5	4	7	8	7	4	6
単位数(内数)	1	4	3	3	1	4	4	3	3
内容(内数)	5	5	2	1	4	4	3	1	3
課程なし	1	0	0	0	1	1	1	0	1
回答大学数	31	32	32	31	31	32	32	32	32

3. まとめ

- (1) 教員養成のための教育組織の設置状況については、教科中心とは言えるが、新しい組織を置くところ及び置かないところも少なくなく約半数程度見られた。
- (2) 学士課程の教育目標と教職課程の教育目標との関係については、教職課程の教育目標より広い教育目標を学士課程では置いているという大学も半数にのぼった。
- (3) 「一般的・包括的内容」の科目とそれ以外の科目の関係については、前者で基礎的・概括的な事柄を学び、より専門的で深い内容を後者に置くというものであった。
- (4) 校種・教科ごとの専門的事項のあり方については、妥当とするものが多かったが、妥当でないという回答の場合、文科系教科では含まれるべき内容にかかわる意見が、理数系教科は単位数に係る意見が見られた。

(國分 充 記)

平成 30 年 11 月 1 日

国立大学教員養成系学部長・学類長殿

東京学芸大学理事・副学長（戦略・評価担当）

東京学芸大学教育内容構成学開発研究機構長

國 分 充

（公 印 省 略）

国立教員養成系大学・学部における教職課程に係るアンケート調査への
御協力の御願い

謹啓

錦秋の候、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、弊学の教育研究活動に御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、平成 30 年 9 月 6 日付けの依頼状にて御願ひいたしました貴学（教員養成系学部）の履修便覧、履修の手引き等の冊子の御提供につきましては、快く御協力を賜りましたこと、あわせて衷心より御礼申し上げる次第です。

さて、先日の御依頼の際にもお知らせいたしました、本学の事業として文部科学省に採択されました「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」（実施テーマ「教科教育コアカリキュラム」）でございますが、現在、鋭意調査分析を進めているところでございます。

この事業は、貴学をはじめとする国立の教員養成大学・学部の教職課程における「教科に関する科目」を調査対象とさせていただき、そのカリキュラム構造、指導体制、授業内容等の実態にかかる情報を収集整理することを通して、教職課程における「教科に関する専門的事項」のコアカリキュラム策定に必要となる基礎資料を作成することを目的とするものです。

そこで、このたび、調査分析の一環といたしまして、全国の国立教員養成系大学・学部を対象にアンケート調査を実施させていただくことといたしました。

なお、アンケートは電子データでご回答いただく形式のため、後ほど、貴学代表メールアドレス宛にファイルを送信の上、ご担当者様への転送を依頼予定です。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、メールが届きましたら、調査に御協力くださいますよう、お願い申し上げます。調査への御回答につきましては、11 月 22 日（金）を目途に送信元メールアドレス（planning@u-gakugei.ac.jp）へ御返信いただければ幸甚です。

末筆ではございますが、貴学の益々の御発展を祈念申し上げまして、失礼いたします。

敬具

【本件担当事務】

東京学芸大学学長室 佐藤・中濱

Tel 042(329)7734

e-mail planning@u-gakugei.ac.jp

国立教員養成系大学・学部における教職課程に係るアンケート調査 (東京学芸大学)

依頼メールにも記載させていただきましたとおり、本調査は、文部科学省の平成30年度「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」（実施テーマ「教科教育コアカリキュラム」）の調査分析の一環として、国立教員養成系・学部の現状及びご意見を伺いたく、実施するものです。

ご多用中、大変恐縮ではございますが、本ファイルの「設問1」から「設問4」及び「フェイスシート」をご確認の上、ご協力いただけましたら幸いです。

なお、本アンケートで得た情報については、上記推進事業にのみ使用し、その他の目的には使用いたしません。

<回答の際にご留意いただきたい事項>

- ご回答いただきたいシート及び項目を黄色で表示しております。
項目数の関係上、1頁に表示されずスクロールが必要な設問もございますので、ご注意ください。
- 回答欄に収まらない場合は、適宜行の幅を調整してください。
ただし、集計の関係上、列幅の調整及びセルの結合については行わないよう、お願いいたします。

本調査への回答における御担当者様について、御回答ください。

御回答内容について、詳細をお伺いしたい場合等には、こちらにご記入いただいた方へ御連絡させていただきます。

大学・学部名

ご所属（課・係等）

ご氏名

電話番号

メールアドレス

<設問 1 >

貴大学(学部)では、教員養成のための学生組織（例：学校教育教員養成課程など）あるいは教職課程を履修する学生の指導のために、講座等の教員組織とは別個の教育上の組織を設置していますか。

下記の「設置している」または「設置していない」のいずれかに☑を入れ、「設置している」場合は、組織について①～③の中から該当するものを選択してください。

回 答

☐ 設置している

☐ ①教科別

☐ ②教科を中心としながら非教科（環境教育、国際教育等）のものも含んでいる。

※②について、具体的にご記入ください。

（ ）

☐ ③上記①②のどちらでもない。

※③について、具体的にご記入ください。

（ ）

☐ 設置していない

< 設問 2 >

貴大学(学部)では、学士課程の教育目標と中学校教諭・高等学校教諭養成のための教職課程の教育目標との関係をどのようにお考えですか。

(記入例)

本学部の学士課程の教育目標である「〇〇〇〇……………〇〇〇」を身に付けることによって、中学校(あるいは高等学校)△△科の教員として必要な教科指導の基礎的力量も身に付けられる。さらに、教職課程に開設する「教職に関する科目」を学ぶことで、教師としての多様な力が身に付くと考えている。

回 答

< 設問 3 >

貴大学(学部)の教職課程に開設している「教科に関する科目」についてお伺いします。
免許法施行規則で定める「一般的・包括的内容を含む」こととなる科目以外の科目は、どのような狙いで開設されているのでしょうか。「一般的・包括的内容を含む科目」とそれ以外の「教科に関する科目」との関係を踏まえて御回答ください。

(記入例)

「一般的・包括的内容を含む科目」において当該領域の基礎的かつ概括的な知識や理論を踏まえていることを前提に、「教科に関する科目」(あるいは「教科に関する専門的事項」)においてより専門的な事項を学ぶように、科目を配列し、あわせて学生への履修指導も行っている。

回 答

< 設問 4 >

免許法施行規則には、それぞれの校種・教科ごとに、1単位以上の授業を学生に修得させるべき専門的事項(例えば、中学校社会科でいえば、日本史及び外国史、地理(地誌を含む)、「経済学、社会学」等々)の内容が定められています。この専門的事項のあり方について、貴大学(学部)ではどのようにお考えでしょうか。

下記の各校種・教科ごとに、①～③のいずれかに☑を入れ、①または②を選択された場合は、選択理由をあわせて御回答ください。(計9教科)

中学校・国語

- ☐ ①妥当である ☐ ②妥当でない ☐ ③認定課程を有していない

「①妥当である」または「②妥当でない」を選択した理由

中学校・社会

- ☐ ①妥当である ☐ ②妥当でない ☐ ③認定課程を有していない

「①妥当である」または「②妥当でない」を選択した理由

中学校・数学

- ☐ ①妥当である ☐ ②妥当でない ☐ ③認定課程を有していない

「①妥当である」または「②妥当でない」を選択した理由

中学校・理科

- ☐ ①妥当である ☐ ②妥当でない ☐ ③認定課程を有していない

「①妥当である」または「②妥当でない」を選択した理由

高等学校・国語

- ☐ ①妥当である ☐ ②妥当でない ☐ ③認定課程を有していない

「①妥当である」または「②妥当でない」を選択した理由

高等学校・地理歴史

- ☐ ①妥当である ☐ ②妥当でない ☐ ③認定課程を有していない

「①妥当である」または「②妥当でない」を選択した理由

高等学校・公民

- ☐ ①妥当である ☐ ②妥当でない ☐ ③認定課程を有していない

「①妥当である」または「②妥当でない」を選択した理由

高等学校・数学

- ☐ ①妥当である ☐ ②妥当でない ☐ ③認定課程を有していない

「①妥当である」または「②妥当でない」を選択した理由

高等学校・理科

- ☐ ①妥当である ☐ ②妥当でない ☐ ③認定課程を有していない

「①妥当である」または「②妥当でない」を選択した理由

3. カリキュラム分析

1. 目的・対象等

教職大学院を有する国立大学（46 大学、北海道教育大学は3つとカウント）が置かれているカリキュラム等の実態を知るために、Ⅱの最初に記したように集めた『履修の手引き』等から（一部は各大学・学部のHP）、学生組織、卒業に必須の教育職員免許状の有無及び種類、中学校の教科及び指導法の単位数、自由選択科目の必要単位数について調べた。本項末には、それらについて各大学のデータを一覧にしたものを付した。適宜参照されたい。一覧表の大学番号が①～⑬は教員養成系単科大学、1～36は教員養成系単科大学以外の調査対象大学（教職大学院を設置する国立大学における教育学部等）である。

2. 調査結果

(1) 学生組織について

回答を集計した結果が下表である（一覧表の「分類」欄の◎は課程を置く大学・学部、○はコース等を置く大学・学部を表している）。

- ・全体：課程を置く大学は少なくなっているが（6/49）、しかし、コース等の学生組織を置いているところがほとんどである（39/49）。
- ・単科大学：中学校の課程を設置している大学は3割にとどまるものの、コースを設置する等、専門的な養成を行っている。
- ・教育学部：約8割の大学が教育学部内に専門の課程またはコース等を設置して教員養成を行っているが、コース設置大学の半数は教科ごとのコースであり、中学校としてのコースではない。

学生組織について

	全体		単科11大学		国立教育学部	
	数	%	数	%	数	%
課程設置	6	12%	4	31%	2	6%
コース等設置	39	80%	9	69%	30	83%
教科の設置無	4	8%	0	0%	4	11%
計	49		13		36	

(2) 必須としている免許状について

回答を集計した結果が下表である。

- ・全体：中一種のみでなく、他の校種等の免許の取得を求める大学・学部が半数近くになっている（20/49）。
- ・単科大学：卒業要件が中一種免のみの大学が3/4。副免許は任意となっている大学が大半であ

る。

・教育学部：中一種免のみ取得は4割程度。残りの6割の大学は中一種免に加えて1種類以上の副免許の取得を卒業要件としている。

ここでの結果をふまえて、以下の分析の対象は、中免取得を必須としている45大学とする。

必須としている免許状について

	全体		単科11大学		国立教育学部	
	数	%	数	%	数	%
中一種のみ	25	51%	10	77%	15	42%
中一種＋小一種	14	29%	3	23%	11	31%
中一種＋1種類	6	12%	0	0%	6	17%
中免を必須としない	4	8%	0	0%	4	11%
計	49		13		36	

(3) 中学校の教科に関する科目の単位数について

回答を集計した結果が下表である。

- ・全体：31単位以上課しているところがおよそ半分（21/45）で、まだ多い。
- ・単科大学：ほとんどの大学が31単位以上の「教科に関する科目」を取得させている。
- ・教育学部：免許状取得最低要件の20単位に抑えている大学も少なくない（16%）。また、31単位以上は30%程度であり、単科大学との差が顕著な項目であると言える。（中一種免が副免扱いになっている大学が多いことが影響している）

中学校の教科に関する科目の単位数について

	全体		単科11大学		国立教育学部	
	数	%	数	%	数	%
20単位	6	13%	1	8%	5	16%
21～30単位	18	40%	1	8%	17	53%
31単位以上	21	47%	11	85%	10	31%
計	45		13		32	

(4) 中学校の教科の指導法に関する科目の単位数について

回答を集計した結果が下表である。単科大学、教育学部ともに6単位ないし8単位設定している大学が多かったが、単科大学では、4単位設定のところも少なからずみられた(4/13)。

中学校の教科の指導法に関する科目の単位数について

	全体		単科11大学		国立教育学部	
	数	%	数	%	数	%
4単位	5	11%	4	31%	1	3%
6単位	17	38%	4	31%	13	41%
8単位	23	51%	5	38%	18	56%
計	45		13		32	

(5) 自由選択科目の必要単位数について

回答を集計した結果が下表である。

- ・全体：0単位の大学がかなりある(9/45)。教員養成大学・学部のカリキュラムの窮屈さを表している。
- ・単科大学：約半数の大学が自由選択科目を6～10単位に設定している。
- ・教育学部：21単位以上の大学も比較的に見られるが(7/32、22%)、これは教科間で違いが見られた場合に最大の単位数を置いているコース等の単位数をとったことが影響している(「代表値の効果」とでも言うべきもの、7大学中3大学)。10単位以下の大学が最多数(17/32)で、一般にカリキュラムが窮屈になっている状況がうかがえた。

自由選択科目の必要単位数について

	全体		単科11大学		国立教育学部	
	数	%	数	%	数	%
0	9	20%	2	15%	7	22%
1～5単位	7	16%	1	8%	6	19%
6～10単位	10	22%	6	46%	4	13%
11～15単位	5	11%	2	15%	3	9%
16～20単位	5	11%	0	0%	5	16%
21単位以上	9	20%	2	15%	7	22%
計	45		13		32	

(6) カリキュラムの諸特徴間の関係

1) 各大学の学生組織と卒業要件免許状の関係

- ・下図は、各大学の学生組織と卒業要件となっている免許状との関係を見たものである。図から以下のことがわかる。
- ・課程を置く大学では（6/49）、1 大学を除き中免のみ卒業要件となっている。
- ・コース等の学生組織を置いているところが大多数である（39/49）、そこでは、中免のみでなく、他の免許の取得も求めているところが過半数（20/39）。
- ・各大学の学生組織と卒業要件となっている免許状との関係からは、図中に書き入れたようにⅠからⅥの 6 つの類型が区別された（以下、「組織・免許状類型」とする）。以下の分析では、コース等の設置もなく、また免許状取得も任意であったⅥ類型を除く 5 つの類型と、種々の指標との関係を見ていく。

各大学の学生組織×卒業要件免許状

(組織) ◎ 課程 ○ コース等 × コース等無	単科・・・4 学部・・・1 (Ⅰ)		学部・・・1 (Ⅱ)	
	単科・・・6 学部・・・13 (Ⅲ)	単科・・・3 学部・・・11 (Ⅳ)	学部・・・6 (Ⅴ)	
				学部・・・4 (Ⅵ)
	中免のみ	中免+小免	中免以外+その他1種類	任意 (免許状)

2) 組織・免許状類型と教科に関する科目単位数の関係

- ・下図は、組織・免許状類型と教科に関する科目単位数の関係を見たものである。図から以下のことがわかる。
- ・基本的には、中免のみを卒業要件としている大学・学部（Ⅰ，Ⅲ）では 31 単位以上を課している（16/24）。
- ・2 つ以上の免許取得を卒業要件としているところ（Ⅱ，Ⅳ，Ⅴ）は、免許法上の最低単位 20 単位と抑えているところもあるが（5/21）、31 単位以上を課しているところもある（5/45）。

組織・免許状類型×教科に関する科目単位数

(組織・免許)				
I (◎中のみ)				単科・・・4 学部・・・1
II (◎中+1)				学部・・・1
III (○中のみ)		学部・・・1	学部・・・7	単科・・・6 学部・・・5
IV (○中+小)		単科・・・1 学部・・・3	単科・・・1 学部・・・7	単科・・・1 学部・・・1
V (○中+1)		学部・・・1	学部・・・3	学部・・・2
	0単位	20単位	21～30単位	31単位以上 (単位数)

3) 組織・免許状類型と教科の指導法に関する科目単位数の関係

- ・下図は、組織・免許状類型と教科の指導法に関する科目単位数の関係を見たものである。教科の指導法に関する科目単位数を6ないし8単位課している大学・学部は、組織・免許類型にひろく及んでおり、両者の関係ははっきりしない。

組織・免許状類型×指導法に関する科目単位数

(組織・免許)				
I (◎中のみ)		単科・・・1	学部・・・1	単科・・・3
II (◎中+1)				学部・・・1
III (○中のみ)		学部・・・1	単科・・・4 学部・・・4	単科・・・2 学部・・・8
IV (○中+小)		単科・・・3	学部・・・6	学部・・・5
V (○中+1)			学部・・・2	学部・・・4
	0単位	4単位	6単位	8単位 (単位数)

4) 組織・免許状類型と自由選択科目の必要単位数の関係

- ・下図は、組織・免許状類型と自由選択科目の必要単位数の関係を見たものである。図から以下の

ことがわかる。

- ・ 11 単位以上を置けているのは、中免のみがほとんど（15/19）。
- ・ 2 種の免許取得が卒業要件となっている大学・学部（Ⅱ，Ⅳ，Ⅴ）では 10 単位以下がほとんどで（17/26）、当然のことながらカリキュラムの自由度は制限されている。

組織・免許状類型×自由選択科目単位数

(組織・免許)							
		0 単位	1～5 単位	6～10 単位	11～15 単位	16～20 単位	21 単位以上 (単位数)
	Ⅰ (◎中のみ)			単科・・・2	単科・・・1 学部・・・1		単科・・・1
	Ⅱ (◎中+1)				学部・・・1		
	Ⅲ (○中のみ)	学部・・・1	単科・・・1	単科・・・3 学部・・・2	単科・・・1 学部・・・1	学部・・・4	単科・・・1 学部・・・5
	Ⅳ (○中+小)	単科・・・2 学部・・・5	学部・・・4	単科・・・1 学部・・・1		学部・・・1	
	Ⅴ (○中+1)	学部・・・1	学部・・・2	学部・・・1			学部・・・2

5) 教科に関する科目の単位数と自由選択科目単位数の関係

- ・ 下図は、教科に関する科目の単位数と自由選択科目単位数の関係を見たものである。教科に関する科目の単位数も自由選択科目の単位数の両方とも少ないところが見られるが（図の左隅の方）、これは、2 種以上の免許状を卒業要件として求めているような大学・学部である。また、一方では、教科に関する科目の単位数と、自由選択科目の単位数のいずれも多く設定できている大学・学部も見られており（図の右隅の方）、この中には、先に述べた「代表値の効果」と言うべきものも含まれているのだが、しかし、そうでないところも確かにあり、これらの大学・学部では、教育職員免許法に沿った基本的な科目のみを配置するようなカリキュラムとなっており、その中で、教科に関する科目については 30 単位をやや超える程度、自由選択科目については 20 単位を越える程度を設定していた。

教科に関する科目の単位数×自由選択科目単位数

(教科)								
31単位以上	単科・・・1 学部・・・1	単科・・・1	単科・・・5	単科・・・2 学部・・・3		単科・・・2 学部・・・6		
	21～30単位	学部・・・5	学部・・・5	単科・・・1 学部・・・3	学部・・・2	学部・・・1	学部・・・1	
		20単位	単科・・・1 学部・・・1	学部・・・1	学部・・・1		学部・・・2	
		0単位	1～5単位	6～10単位	11～15単位	16～20単位	21単位以上	(自由)

3. まとめ

中学校の課程は置かないまでも、教科に関係する学生組織を置いている大学・学部が多いが、卒業要件としては複数の教員免許状取得を課している大学・学部が少ない。そうしたところでは、教科に関する科目の単位数及び自由選択科目の単位も少なく、カリキュラムが窮屈になっている状況がうかがえた。卒業要件として中学校の免許のみを課している大学・学部では、一般的に、比較的多くの単位数を教科に関する科目に置くことができていた。また、一方では、教科に関する科目の単位数と、自由選択科目の単位数のいずれも多く設定できている大学・学部もあり、カリキュラムの工夫によってそうしたことも可能であると見られた。

(國分 充 記)

【単科大学】

No.	入学定員	教員数	中学教員養成課程の有無	実質的な教科（中）対応の有無	履修基準 (総単位数)	分類	必須 免許	教科に関する科目単位数 (コースによって異なる場合は 最大値を参照)	指導法単位（コースによって 異なる場合は最大値）	自由選択 (最大値)
①	270	81	×	○ 教員養成課程	○ 3専攻（教科系4専攻、言語・社会、理数、生活、芸術スポ）	○	中のみ	34	6	8
②	270	75	×	○ 教員養成課程	○ 3専攻（地域学校教育、地域・環境教育、学校カリ（教科対応あり））	○	中のみ	34	6	8
③	180	53	×	○ 教員養成課程	○ 8専攻（国、英、社、数、理、生活、芸術スポ）	○	中のみ	50	6	8
④	345	100	○	①初等教育教員養成課程 ②中等教育教員養成課程 ③特別支援教育教員養成課程	①4系 ○ ②10専攻（10教科） ③2系	◎	中のみ	40	4	10
⑤	825	320	○	①初等教育教員養成課程 ②中等教育教員養成課程 ③特別支援教育教員養成課程 ④養護教育教員養成課程 ⑤教育支援課程		◎	中のみ	50	8	6
⑥	160	155	×	○ 初等教育教員養成課程	①学校教育専修（4コース） ○ ②教科・領域教育専修（5コース10教科対応）	○	中＋小	32	4	0
⑦	735	209	○	①初等教育教員養成課程 ②中等教育教員養成課程 ③特別支援教育教員養成課程 ④養護教諭養成課程 ⑤教育支援専門職養成課程	①14専攻（10教科＋幼児、教育科学、日本語、情報） ②12専攻（10教科＋教育科学、情報教育）	◎	中のみ	34	8	21
⑧	300	119	×	－	○ 13専攻（10教科＋書道＋教育学＋幼児）	○	中のみ	42	6	15

No.	入学定員	教員数	中学教員養成課程の有無	実質的な教科（中）対応の有無	履修基準 (総単位数)	分類	必須 免許	教科に関する科目単位数 (コースによって異なる場合は 最大値を参照)	指導法単位（コースによって 異なる場合は最大値）	自由選択 (最大値)
⑨	550	262	× ①初等教育教員養成課程 ②学校教育教員養成課程 ③養護教諭養成課程	○ ①3専攻（幼児教育、小学校教育（昼）、 小学校教育（夜）） ②3専攻（特別支援教育、小中教育（10 コース、9教科（技術なし）+ 学校教育 育）） 小中教育（10コース、10教科） 中等教育（10コース）	128	○	中のみ	48	8	4
⑩	255	97	× 学校教育教員養成課程	○ ①教育発達専攻（4専修） ②教科教育専攻（10教科、それぞれ初等と 中等教育履修分野に分かれる） ③伝統文化教育専攻（2専修）	134	○	中のみ	40	8	23
⑪	171	157	× 初等教育教員養成課程	○ ①学校教育専修（3コース） ②教科・領域教育専修（6コース10教科 対応（総合学習系含む））	132	○	中+小	20	4	0
⑫	100	138	× 学校教育教員養成課程	○ ①幼児教育専修 ②小学校教育専修（11コース、10教科+ 学校教育） ③中学校教育専修（10コース、10教科）	132	○	中+小	30	4	7
⑬	630	172	○ ①初等教育教員養成課程 ②中等教育教員養成課程 ③特別支援教育教員養成課程	○ ①1選修（幼児教育） ②11専攻（10教科+書道） ③初等教育・中等教育部	128	◎	中のみ	48	8	15

【教員養成学部】

大学No.	入学定員	教員数	中学教員養成課程の有無	実質的な教科（中）対応の有無	履修基準 (総単位数)	分類	必須 免許	教科に関する科目単位数 (コースによって異なる場合は 最大値を参照)	指導法単位 (コースによって 異なる場合は最大値)	自由選択 (最大値)
1	170	88	× 学校教育教員養成課程 (専攻、コース分け)	○ 初等中等教育専攻 (小学校コース、中学 校コース) 特別支援教育専攻 (小学校コース、中学 校コース) ※養護教諭養成課程	132	○	中のみ	32	8	14
2	160	64	× 学校教育教員養成課程 (コース分け)	○ 小学校教育コース 中学校教育コース (国社技家英音美体) 理数教育コース (数理) 特別支援教育コース	134	○	中のみ	30	8	16
3	210	92	× 学校教育課程 (コース分け)	△ 教育実践コース (小中高) 英語教育コース (中高) 理数教育コース (中高) 特別支援教育コース (小中特) こども発達コース (幼小) ※地域文化学科でも中高 (社) 免取得可	140	○	中 + 1	24	6	2
4	175	78	×	? 児童教育コース 文化創生コース	130	×	×	0	0	0
5	270	64	× 希望者のみ免許状取得可	? 人間発達専攻 文化探究専攻 スポーツ・芸術創造専攻	124	×	×	0	0	0
6	275	104	× 学校教育教員養成課程 (コース分け)	○ 教育実践科学コース (小) 教科教育コース (小中高) 特別支援教育コース (小特) ※養護教諭養成課程 (養)	124	○	中 + 小	20	6	16
7	170	73	× 学校教育教員養成課程	? 小1・中2コース 中1・小2コース 特1・小2コース 特1・中2コース 教育、教育心理・小1コース	128	○	中 + 小	32	8	0
8	220	84	× 学校教育教員養成課程 (コース分け)	○ 小1・中2コース 中1・小2コース 特1・小2コース 特1・中2コース 教育、教育心理・小1コース	139	○	中 + 小	30	6	1

大学No.	入学定員	教員数	中学教員養成課程の有無	実質的な教科（中）対応の有無	履修基準 （総単位数）	分類	必須 免許	教科に関する科目単位分類 （コースによって異なる場合は 最大値を参照）	指導法単位（コースによって 異なる場合は最大値）	自由選択 （最大値）
9	380	105	× 学校教育教員養成課程 （コース分け）	○ 小学校コース 中学校コース 乳幼児教育コース 特別支援教育コース ※養護教諭養成課程	124	○	中のみ	32	8	26
10	413	99	○ 小学校教員養成課程 中学校教員養成課程 特別支援教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程 養護教諭養成課程		126	◎	中 + 1	34	8	15
11	230	105	× 学校教育課程	? 人間形成コース 教科教育コース 特別支援コース	130	○	中 + 小	20	8	10
12	220	93	× 学校教員養成課程 （コース分け）	○ 学校教育コース 教科教育コース	124	○	中のみ	30	8	17
13	170	65	× 学校教育コース	× 発達教育学科（教育心理コース、学校教育 育コース、発達福祉コース） 人間環境システム学科（地域スポーツ コース環境社会デザインコース、人間情 報コミュニケーションコース）		×	×	0	0	0
14	100	57	× 教科教育学コース	○ 教育学コース（教育基礎専修、特別支 援教育専修） 教科教育学コース（国社数理音楽家保 英）	140	○	中 + 1	20	8	0
15	100	72	× 学校教育課程 （コース分け）	○ 初等教育コース 中等教育コース	136	○	中のみ	30	6	0
16	125	94	× 学校教育課程 （コース分け）	○ 幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 生活社会教育コース 科学教育コース 芸術身体教育コース	136	○	中 + 小	26	6	4

大学No.	入学定員	教員数	中学教員養成課程の有無	実質的な教科（中）対応の有無	履修基準 (総単位数)	分類	必須 免許	教科に関する科目単位数分類 (コースによって異なる場合は 最大値を参照)	指導法単位（コースによって 異なる場合は最大値)	自由選択 (最大値)
17	240	92	×	現代教育コース 野外教育コース 国語教育コース 英語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 音楽教育コース 図画工作・美術教育コース 保健体育コース ものづくり・技術教育コース 家庭科教育コース 特別支援教育コース 心理支援教育コース	135	○	中＋小	30	6	0
				○ 学校教員養成課程 (コース分け)						
18	250	95	×	○ 学校教員養成課程	135	○	中＋小	20	8	2
19	300	118	×	発達教育学専攻 初等学習開発学専攻 看護教育学専攻 特別支援専攻 教科教育学専攻（教科ごとに選修あり）	124	○	中のみ	28	6	10
				○ 学校教員養成課程 (選修・専攻)						
20	200	82	×	○ 学校教員養成課程 (コース分け)	130	○	中のみ	34	4	28
21	230	87	×	○ 学校教員養成課程 (コース分け)	132	○	中のみ	32	8	21
22	165	78	×	○ 学校教員養成課程 (コース分け)	132	○	中のみ	24	6	10

大学No.	入学定員	教員数	中学教員養成課程の有無	実質的な教科（中）対応の有無	履修基準 （総単位数）	分類	必須 免許	教科に関する科目単位分類 （コースによって異なる場合は 最大値を参照）	指導法単位（コースによって 異なる場合は最大値）	自由選択 （最大値）
23	130	75	× 学校教育課程	？	初等教育開発専攻 特別支援教育専攻 言語教育専攻（国語教育コース、英語教育コース）	○	中＋小	24	8	0
					共生社会教育専攻 数理基礎教育専攻 自然環境教育専攻 健康・スポーツ教育専攻 音楽教育専攻、美術教育専攻					
24	270	106	× 学校教育教員養成課程 （コース分け）	○	小学校教育コース 中学校教育コース 特別支援教育コース 幼児教育コース ※看護教諭養成課程	○	中＋1	30	6	4
					第一類（学校教育系） 第二類（科学文化教育系） 第三類（言語文化教育系） 第四類（生涯活動教育系） 第五類（人間形成基礎系）					
25	445	172	×	？	小学校教育コース 幼児教育コース 特別支援教育コース 情報教育コース 教科教育コース	○	中のみ	30	8	20
					幼児教育コース 小学校教育コース 中学校教育コース					
26	180	93	× 学校教育教員養成課程 （コース分け）	○	初等教育コース 中等教育コース	○	中＋1	32	8	35
					幼児教育コース 教育科学コース各教科10コース 科学技術教育コース 特別支援教育コース					
27	160	83	× 学校教育教員養成課程 （コース分け）	○	初等教育コース 中等教育コース	○	中＋1	26	8	6
					幼児教育コース 教育科学コース各教科10コース 科学技術教育コース 特別支援教育コース					
28	160	88	× 学校教育教員養成課程 （コース分け）	○	初等教育コース 中等教育コース	○	中＋1	32	8	35
					幼児教育コース 教育科学コース各教科10コース 科学技術教育コース 特別支援教育コース					
29	130	77	× 学校教育教員養成課程 （コース分け）	○	初等教育コース 中等教育コース	○	中＋1	26	6	0
					幼児教育コース 教育科学コース各教科10コース 科学技術教育コース 特別支援教育コース					

大学No.	入学定員	教員数	中学教員養成課程の有無	実質的な教科（中）対応の有無	履修基準 （総単位数）	分類	必須 免許	教科に関する科目単位数 （コースによって異なる場合は 最大値を参照）	指導法単位（コースによって 異なる場合は最大値）	自由選択 （最大値）
30	120	61	× 学校教育課程 （コース分け）	○ 幼小連携教育コース（幼小発達教育専攻、特別支援教育専攻） 小中連携教育コース（初等教育主専攻、中等教育主専攻）	134	○	中＋小	26	6	4
31	240	78	× 学校教育教員養成課程 （コース分け）	○ 小学校教育コース 中学校教育コース（各教科専攻） 幼稚園教育コース 特別支援教育コース	124	○	中のみ	20	8	17
32	230	87	○ 小学校教員養成課程 中学校教員養成課程 特別支援教育教員養成課程 養護教諭養成課程 地域共生社会課程 生涯スポーツ福祉課程	○ 小学校教員養成課程 中学校教員養成課程 特別支援教育教員養成課程 養護教諭養成課程 地域共生社会課程 生涯スポーツ福祉課程	125	◎	中のみ	39	6	14
33	135	69	× 学校教育教員養成課程 （コース分け）	? 小学校教育コース 特別支援教育コース ※中1種免許は両コースの副免で取得可	124	×	×	0	0	0
34	120	72	× 学校教育課程（コース・専攻分 け）	○ 小中一貫教育コース（小学校主専攻、中学校主専攻） 教職実践基礎コース（教職実践基礎専攻） 発達支援教育コース（子ども理解専攻、特別支援教育専攻）	136	○	中＋小	30	8	0
35	215	85	× 学校教育教員養成課程 （コース分け）	○ 初等教育コース 中等教育コース 実技系初等中等教育コース ※特別支援教育教員養成課程	124	○	中のみ	28	6	28
36	190	99	× 学校教育教員養成課程 （コース分け）	○ 小学校教育コース（学校教育専攻、教科教育専攻） 中学校教育コース（教科教育専攻） 特別支援教育コース	124	○	中のみ	52	8	28

平成 30 年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業
「教科教育コアカリキュラムの研究」報告書

平成 31 年 3 月発行

編集 東京学芸大学教育内容構成学開発研究機構

発行 国立大学法人東京学芸大学

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

電話 (042) 329-7734 (学長室 担当 中濱沙也花)